目　次

あいさつ …… 1

祝辞 …… 3

市Ｐ協の誕生 …… 9

１５年間のあゆみ …… 11

各区連・各校ＰＴＡ　紹介 …… 19

教育委員会　紹介 …… 93

市Ｐ協を支えた方々 …… 97

創立１５周年記念事業実行委員会　組織図 …… 100



創立十五周年を迎えて

さいたま市ＰＴＡ協議会 会長　青羽 章仁

さいたま市ＰＴＡ協議会は、今年創立十五周年を迎える事が出来ました。これもひとえに歴代役員、会員の皆様、そしてさいたま市教育委員会をはじめとする関係諸団体の皆様のご理解ご協力の賜物であり、改めて感謝申し上げます。

さて、私達協議会は平成十三年五月の創立以来、一貫して子ども達の健全育成の為に活動してまいりました。そうした中で子ども達を取り巻く環境は目まぐるしく変化をしています。創立当初普及しはじめていた携帯電話は、スマートフォンになり、新しい取り組むべき課題となっています。こうした変化に対し、より柔軟にそして素早く対応出来る事が、私達に求められる課題と考えています。また、それと同時に熊本での震災等に見られる様に、非常時に備えていく事も継続して行かなければならない課題と考えています。

昨今ＰＴＡの活動に対しては、メディア等を通じて様々な議論がなされています。しかし、保護者が子どもを思う気持ちは時代が変化しても変わるものではありません。

こうして、時代の変化が早い今こそ私達は、軸足をしっかりとさせて活動していくべきだと考えています。

この十五周年をきっかけとして、先人諸先輩方が培ってきた経験や仕組みをしっかりと継承して、会員の皆様が子ども達の為に何をすべきか、自ら考え行動していく一歩に繋がる様に、研修会の開催、関係各所への要望や連携をより充実させていく事を目指し、そしてより開かれた運営を行い、円滑に素早く情報が循環していける様に取り組んで行く所存です。そうした活動の積み重ねが、各区Ｐ連の様々な課題に対し、それが各校ＰＴＡへ、そして保護者の皆様を通して子ども達の育成へ繋がるのです。

私達協議会は、さいたま市の宝である子ども達の健全育成を目指し、共に学び、共に成長できるＰＴＡ活動を目指し、次代に繋がるＰＴＡ活動をサポート出来る環境づくりに邁進していきます。

同じ地域で同世代の子育てをしていく私達が、保護者としてしっかりと学校・地域と連携させて頂き、活動して参りますので、今後とも皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。



ご挨拶

創立十五周年記念事業実行委員会 実行委員長　岩田哲也

さいたま市ＰＴＡ協議会が創立十五周年を迎え、皆様とお祝いできますことに感謝を申し上げます。

今日までさいたま市ＰＴＡ協議会の活動に、ご理解、ご支援いただきました、行政、教育委員会、小学校校長会、中学校長会をはじめとする学校関係者の皆様、各区ＰＴＡ連合会会長、各校ＰＴＡ会長をはじめとする会員の皆様、その他多くの関係団体の皆様におかれましては、さいたま市ＰＴＡ協議会十五周年を迎えるにあたり、多大なるご協力を賜りましたこと、重ねて感謝申し上げます。また、さいたま市ＰＴＡ協議会創立よりご尽力いただいた、多くの諸先輩の皆様、これまで、さいたま市ＰＴＡ協議会を築き上げてこられた歴代会長をはじめとする理事の皆様に、敬意を表すとともに深く感謝申し上げます。

さて、平成十三年五月一日の創立から十五年が経ち、当時を知る方は僅かとなりましたが、諸先輩の熱い情熱があったからこそ市Ｐ協の誕生が成し遂げられ、その後の多くの議論が重ねられたお蔭で、現在、政令市の中でもトップレベルを誇る教育都市となりＰＴＡ協議会へと発展させてこられました。子どもたちを取り巻く環境は変化しており、私たちはその変化に対応していかなければなりません。そのためにも、この十五年の歴史を改めて振り返り、教育に対する熱い思いを脈々と受け継ぎ、伝承していくとともに、大海を知るべく、本記念誌が各区Ｐ連合会、各校ＰＴＡの特色や活動を知り、ＰＴＡ活動を活性させるための参考にしていただければと思います。

それにより、変化に対応できる、より昇華された運動展開がおこなわれ、市Ｐ協の更なる発展と各校ＰＴＡの発展、そして、さいたま市の子どもたちの健やかな成長に繋がる事をご期待申し上げます。

結びに、創立十五周年記念事業を行うにあたり、ご支援、ご協力いただきました全ての方に感謝を申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



創立十五周年を祝して

さいたま市長　清水勇人

このたび、さいたま市ＰＴＡ協議会が創立十五周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

また、会員の皆様方におかれましては、日頃から、家庭・学校・地域を結ぶ重要な役割を担っていただいておりますとともに、子どもたちの健全育成のため、様々な活動に献身的に取り組まれていることに、深く敬意を表するとともに、心から感謝を申し上げます。

さて、さいたま市も誕生から十五年の節目の年を迎え、東日本を代表する大都市となってまいりました。

これまでの本市の取組を振り返りますと、教育においては積極的な取組の積み重ねがあり、他の都市に負けない強みとなっています。市長就任以来、その強みを更に磨き伸ばせるよう教育にとりわけ力を入れて取り組んでまいりました。

さいたま市ＰＴＡ協議会の皆様におかれましても、創立以来、充実した活動を積み重ねておられるとともに、各区の特色を活かした活動を精力的に展開しておられます。皆様のこの活動が、さいたま市の教育の発展に多大な御貢献をいただいておりますことに対し、改めて感謝申し上げます。

子どもや家庭を取り巻く環境の大きな変化に対し、社会全体で子どもたちを育んでいくことが、今後ますます重要となってまいります。さいたま市といたしましても、「子育て楽しいさいたま市」の実現を目指した施策を推進してまいりますので、さいたま市ＰＴＡ協議会の皆様におかれましても、引き続き変わることのない御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、さいたま市ＰＴＡ協議会の長年にわたる御功績に敬意を表するとともに、貴会のますますの御発展と、会員の皆様方の御健勝を心より祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



祝　辞

さいたま市議会 議長　桶本大輔

さいたま市ＰＴＡ協議会が創立十五周年を迎えられましたことを、心からお喜び申し上げます。

さいたま市ＰＴＡ協議会の皆様には、家庭、学校及び地域における最善の教育を目指し、ＰＴＡ活動の発展と児童・生徒の福祉を増進させることを目的とし、教育はもとより、市政各般にわたり多大なる御支援、御協力を賜り、心より御礼を申し上げます。

今や、子どもたちをとりまく環境は、情報の高度化、多量化、国際競争の激化、少子化等により、めまぐるしく変化しております。また、地域のつながりの希薄化により地域社会での教育力の低下が指摘されている今日、学校と家庭、地域社会を結ぶ懸け橋として、ＰＴＡ活動への期待はますます大きなものとなっております。皆様がその役割を果たすため、仕事や育児、介護等、多忙な時間を割いて活動いただいておりますこと、心より感謝申し上げます。

本市は、「一人ひとりが生き生きと輝く個性を育む」を教育総合ビジョンの基本構想とし、豊かな人間性と健全な社会性を身につけた次世代を担う子どもたちの育成を目指し邁進しております。その実現のためには、皆様のお力が必要でございます。

市議会といたしましても、市の宝である子どもたちが健やかに成長できる環境整備に向け、地域の皆様とともに取り組んでまいりますので、今後とも、御支援、御協力のほどよろしくお願い致します。

結びに、さいたま市ＰＴＡ協議会のますますの御発展を祈念し、十五周年に寄せる言葉といたします。



創立十五周年を祝して

さいたま市教育委員会 教育長　稲葉康久

さいたま市ＰＴＡ協議会が創立十五周年の記念すべき年を迎えられましたことを、心からお喜び申し上げます。

会員の皆様方におかれましては、日頃から、子どもたちの教育環境充実のために、本市の教育施策に御理解、御協力をいただいておりますことに対し、厚く御礼申し上げます。また、貴会の発展に御貢献されました多くの方々の御尽力と御功績に心より敬意を表します。

さて、教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われるものであり、こうした教育の使命は、今後いかに時代が変わろうとも普遍的なものです。

今日、社会は急激な少子高齢化に伴う活力の低下や、グローバル化の進展に伴う国際競争の激化など、急速に変化しています。そして、これらが相互に影響し合うことにより、将来の変化を予測することがますます困難になっています。将来を担う子どもたちには、こうした変化や予想外の事態を乗り越え、主体的に未来を切り拓いていく力をはぐくむ教育が今、求められています。

教育委員会におきましては、これまでも、「日本一の教育都市」を目指して、「知」「徳」「体」「コミュニケーション」のバランスのとれた子どもを育成する教育を推進してまいりました。今後も、様々な課題に対応するとともに、次世代を担う子どもたちの健全育成に全力で取り組んでまいりますので、さいたま市ＰＴＡ協議会の皆様におかれましては、子どもたちの健全育成に向けて、引き続き変わることのない御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、さいたま市ＰＴＡ協議会のますますの御発展と、会員の皆様方の御健勝を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



祝　辞

さいたま市立小学校校長会 会長　西川和利

さいたま市ＰＴＡ協議会が、創立十五周年を迎えられますことに、さいたま市立小学校校長会を代表しまして心よりお祝いを申し上げます。また、さいたま市における学校の教育活動及びＰＴＡ活動、地域における様々な活動の充実・発展のためにご尽力を賜りました歴代会長をはじめとする役員の皆様、そして多くの会員の皆様に心から敬意を表する次第です。

私は、管理職として旧市全てでお世話になりました。この間、ＰＴＡ会長をはじめ役員の皆様、区連合会の皆様のご尽力により充実したＰＴＡ活動に携わらせていただきました。また、学校経営を進める上での課題についても、子どもたちのために知恵を絞り、汗を流し、連携をとりながら改善を進めることができました。さらに、周年記念事業に際しましても、ＰＴＡの皆様に中心となって活動していただいたおかげで、節目を飾るに相応しい実りある成果を上げることができました。この他、学校行事をはじめ多くの教育活動でも多大なるご理解ご協力をいただきました。こうした皆様のご支援は、さいたま市立小学校の校長全てが同様に心強く受け止めております。改めまして心より感謝を申し上げます。

さて、急速な社会の変化により先を見通すことが難しい時代に生きる子どもたちには、新たな未来を切り拓く力が求められております。一方で、時代が変わろうとも大切にしていかなければならないことがあります。それは、かけがえのない自他の命を大切にする子どもを育てることであり、安全・安心な地域に根ざした信頼される学校経営を進めていくことであります。さいたま市立小学校校長会は、皆様との連携をより一層深め、子どもたちの笑顔が輝く学校づくりに取り組んでまいります。

結びに、さいたま市ＰＴＡ協議会の益々のご発展をご祈念申し上げ、祝辞とさせていただきます。



保護者・地域とともに歩む学校づくりの推進に向けて

さいたま市立中学校校長会 会長　野口　浩

さいたま市ＰＴＡ協議会が創立十五周年の節目の年を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

さいたま市ＰＴＡ協議会におかれましては、学校と家庭・地域の架け橋となる事業を精力的に展開されておりますことに厚くお礼申しあげます。また、会員の皆様方には、子ども達の笑顔あふれる環境づくり・地域づくり・未来づくりのために、ご尽力いただいておりますことに衷心より感謝申し上げます。

さて、教育は、文字通り「教え育むこと」であり、人として望ましい状態にさせるために、心と体の両面に意図的に働きかけ、変容させていく営みです。子ども達は、成長の過程で様々な人に学びながら人格を形成していきます。そのため、学校教育では、教職員による指導と支援、子ども達同士の関わりの中で、個人の価値が尊重され、一人ひとりの子ども達の能力や可能性を最大限に伸ばすことが求められています。また、惜しみなく愛情が注がれる環境に包まれた家庭の教育が欠かせません。さらに、やがて地域の力となる子ども達が地域の中で伸び伸びと育つ教育も必要です。

さいたま市中学校長会は、教育の質の向上を目指す学校経営の確立を目指し、確かな学力・豊かな心・健やかな身体を育む教育の充実、教職員の資質・能力と指導力の向上などを基本方針として活動しております。今後とも、教育改革の動向を見極め、将来に確かな展望をもち、会員相互並びに関係各機関との密接な連携を図り、英知を結集して「社会を生き抜く力と希望をはぐくむ教育」を実践し、『日本一の教育都市さいたま市』にふさわしい中学校教育の実現に迫ってまいります。さいたま市ＰＴＡ協議会の一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びにあたり、さいたま市ＰＴＡ協議会の活動が一層充実し、発展されますことを祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。



「少年自然の家」への思い

さいたま市ＰＴＡ協議会 初代会長　橋本正晴

さいたま市ＰＴＡ協議会が、創立十五周年を迎えましたことを心からお祝い申し上げます。そして、今日まで市Ｐ協の発展にご尽力いただきました歴代役員・事務局の皆様、会員ならびに関係各位のご理解ご協力に感謝を申し上げます。

市Ｐ協は、平成十三年五月一日のさいたま市誕生と同時に合併して設立されました。一つの協議会として、新市と共に生涯学習と学校教育の充実を目指すことが目的でした。合併後、旧市の方針によってさまざまな分野に違いがあることが判ってまいりました。その中でも特に少年自然の教室の実施状況が大きく違っていました。舘岩・赤城・六日町と、開催地は素より実施日数・体験内容・交通手段など全てに渡っていました。私は、平成十三年十月に始まった「少年自然の家運営審議会」の委員として協議に参加しました。そして、市Ｐ協合併当初の事業計画には無かった「少年自然の家視察研修会」を同じく十月末に開催しました。市Ｐ協の役員を中心に赤城・舘岩の宿泊視察を行い、参加した全員が舘岩少年自然の家の施設やカリキュラムの素晴らしさを実感しました。それを受け、市に対して速やかに舘岩施設の増築を実施し、市内全域の子どもたちがより等しい環境で自然の教室体験が行えるよう要望しました。しかしながら諸事情により、旧施設や市民保養施設・民間施設を利用しての教室が開催され具体的な改善が進みませんでした。そして漸く今年に入り、舘岩施設の増築工事が着手され、平成三十一年度から全市域の学校での使用が可能になると伺い安堵したところです。

結びに、さいたま市と市Ｐ協が更に発展する事をお祈り申し上げ祝辞といたします。



創立十五周年を祝して

さいたま市ＰＴＡ協議会 二代会長　向江正晃

さいたま市ＰＴＡ協議会が創立十五周年を迎えられたことを心よりお喜び申し上げますとともに、日ごろから子ども達の健全育成に多大なるご尽力をいただき、心より感謝申し上げます。

私は二代目会長として平成十六年より三年間、皆様とともに活動させていただきました。

私の目標は、組織としての市Ｐ協ではなく、子ども達のために何をすべきか自ら考え行動する人材の集まりとしての市Ｐ協を構築することでした。そして、その目標は一歩一歩着実に実現していきました。一番に思いだされるのは「子ども達を取り巻く環境を改善したい」「犯罪から子ども達を守りたい」という私たちの声を、さいたま市と教育委員会へ届けようと行動を起こしたことです。各連合会の要望を把握し区で取りまとめ、そしてその結果を市で集約し、最終的に要望書としてさいたま市と教育委員会へ提出しました。そして、それを機に市内全小学校に警備員の配置が決定したのです。私たち自らが情報や要望を発信した結果、子ども達の安全を守る環境づくりができ、会員の皆様と共に喜び合いました。この活動を通して実感したことは、「さいたま市」「教育委員会」「さいたま市ＰＴＡ協議会」と組織こそ異なりますが、「子ども達のため」という一点では、誰もが同じ思いであるということです。次の世代を担う子ども達のためには、同じ目的を共有する私たちの協働が必要です。そして、家庭・学校・地域を結ぶ要として「さいたま市ＰＴＡ協議会」は大きな役割を担っています。これからも子ども達のために、一層のご尽力をいただけるものとご期待申し上げますとともに、さいたま市ＰＴＡ協議会のご発展と皆様方のご健康ご多幸を心より申し上げまして、お祝いの言葉といたします。



創立十五周年を迎えて

さいたま市ＰＴＡ協議会 三代会長　天野雅裕

さいたま市ＰＴＡ協議会が創立十五周年を迎えますこと、心よりお慶び申し上げます。

振り返ると旧三市ＰＴＡ協議会の合併や岩槻市の編入、政令指定都市になり埼玉県ＰＴＡ連合会からの独立等々、さいたま市ＰＴＡ協議会が今日を迎えられるのも、多忙な日々尽力された先輩方のおかげと、共に活動させて頂いた者として感じております。また、任期中は指定都市ＰＴＡ連絡協議会研究大会さいたま市大会の開催や、保険業法の改正によりＰＴＡ活動総合補償制度の立ち上げなど大きな事業が続きましたが、無事やり遂げられたのも、さいたま市ＰＴＡ協議会に関わる多くの方々のご協力によるものと感謝の念に堪えません。

さて、初めてＰＴＡ会長を拝命した年に、さいたま市ＰＴＡ協議会の設立総会が行われ、私がさいたま市ＰＴＡ協議会会長を拝命した年から約十年経ち、時の流れの早さを感じます。当時は携帯電話が子ども達にも普及し始め、ネットやメールが子ども達に与える影響が問題になっていましたが、今はスマートフォンの普及と共にＬＩＮＥなど新しい問題が起きています。時代と共に問題も様々変わりますが、子育ての基本は変わらないと思います。

さいたま市では基本的に保護者と先生方が各校ＰＴＡに所属し、同様に各校ＰＴＡがさいたま市ＰＴＡ協議会に所属しています。今後もそれぞれが切磋琢磨し、親と子の成長をサポートする各校ＰＴＡ、そして各校ＰＴＡをサポートする各区連合会・さいたま市ＰＴＡ協議会、それぞれが足並みを揃え協力し合い、子ども達の未来のために益々発展されますことを祈念しております。



創立十五周年を祝して

さいたま市ＰＴＡ協議会 四代会長　渡辺紀子

さいたま市ＰＴＡ協議会が、創立十五周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。また、今日まで日々協議会の活動にご尽力いただいております役員、事務局の皆さま、そして子どもたちの健全育成のために活動し、ご協力いただいている会員の皆さまに敬意を表します。

私が会長として務めさせていただいた平成二十、二十一年度の二年間は、さいたま市ＰＴＡ協議会が設立して以降、橋本会長、向江会長、天野会長と受け継がれてきた協議会としての活動を継承しつつ、役員、理事の皆さんと活動の幅を広げていきました。

平成二十年度は、約二年の準備期間を経て、さいたま市ＰＴＡ協議会のＰＴＡ活動補償制度を開始しました。また、平成十七年度からの「子どもたちと同じ活動体験をする」舘岩少年自然の家の視察研修に、新たな取り組みとして「環境整備活動」を加え、登山道の木段作りや側溝清掃・花壇の除草作業など自然の家の職員の皆さんと共に力を合わせて汗を流し、子どもたちが安全に楽しい活動体験ができる裏での、これまで見えなかった職員の皆さんのご苦労や配慮を改めて知る有意義な研修となりました。

平成二十一年度は、「家庭教育の向上について学ぶとともに、各区連の活動の情報交換と活動の活性化を図る」を目的に、第二回市Ｐ協研究大会を開催しました。市Ｐ協設立十周年を次年度に控え、市Ｐ協としてさらなる成長のために広い視野の中で継続的に、各単位ＰＴＡに問題提起や情報発信を続け、共に学び、共有する場を持つことが必要ではないかとの思いを強く感じました。

十五年といえば「義務教育」卒業の年です。さいたま市ＰＴＡ協議会として、この十五年で培った土台を基にして、子どもたちの輝く未来のために新たな第一歩を踏み出し、更なる活動の充実と健全なる発展をお祈り申し上げます。



祝　辞

さいたま市ＰＴＡ協議会 五代会長　磯田和男

さいたま市ＰＴＡ協議会が創立十五周年を迎えられることを心からお祝いを申し上げます。政令都市さいたま市の誕生に伴い三市ＰＴＡが合併し、さいたま市ＰＴＡ協議会となり、その後、岩槻市ＰＴＡが加わり現在に至っております。初代橋本会長、役員の皆さんの多大なるご尽力により、三市ＰＴＡ合併、県ＰＴＡからの独立、日本ＰＴＡ単独加入、現大宮区役所内事務局設置等、進めていただきました。歴代会長、役員、会員の皆さんが、さいたま市の子どもに何ができるかの思いを引き継ぎ育て今があります。

二〇一〇年より五代目会長を務めさせていただきました。山田副会長、鵜沢副会長、高島副会長、加藤副会長、船木副会長、区連会長の皆さん、理事の皆さん、会員の皆さん、事務局の皆さんに支えられての三年間でした。

さいたま市ＰＴＡ会員の皆さんの意見が反映され、開かれた市Ｐ協運営を目指し、区連会長さんに常任理事をお願いし、月一回の常任理事会にて協議し、総意で意思決定に努めてまいりました。

二〇一一年三月十一日、東日本大震災がおこりました。日本ＰＴＡ副会長を務めさせていただいた時期と重なり、さいたま市はもとより、震災で親を亡くした遺児孤児の皆さんへの就学支援のため、募金活動で全国に協力をお願いして回りました。全国からご協力いただきました募金は、遺児孤児の皆さんへお渡しすることができました。

今は、地域からさいたま市の子どもを見守り、ＰＴＡの応援団として現役ＰＴＡ会長、役員の皆さんにエールを送っております。

結びに、設立十五周年を重ねてお祝い申し上げますとともに、さいたま市ＰＴＡ協議会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝を祈念申し上げまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



創立十五周年を祝して

さいたま市ＰＴＡ協議会 六代会長　鵜沢　勇

さいたま市ＰＴＡ協議会が、創立十五周年を迎えられたこと、心よりお祝い申し上げます。また、日々ＰＴＡ協議会活動にご尽力いただいております理事役員の皆様、そしてご協力いただいております会員の皆様に敬意を申し上げます。私は、六代目会長を平成二十五、二十六、二十七年、三年間務めさせていただきました。この三年間は、歴代会長をはじめとする理事役員の皆様の歴史、功績を会員皆様と改めて検証し、考える時代でした。特に平成二十六年度にさいたま市として初めての主管関東ブロック大会ということで理事役員の皆様、各単会の皆様と共に大会をつくりあげたことを今でも思い出します。さいたま市ＰＴＡ協議会は設立から十三年、初めて主管する大きな大会ということで討議を重ね、子どもたちを取り巻く環境が厳しい状況の中、「ささえ合い　いのち尊び　たくましく　まごころつなぐ　子どもたちに　五つのことだま　～子は親の鏡、生き抜く力を子どもたちに～」をキーワードに「絆」「命」「体」「心」「未来」、子どもたちの健やかな成長を応援し、その課題について考えるＰＴＡの役割、そして未来を生きる子どもたちの「生きる力を育む」ため、家庭・学校・地域が手を携え、心をつなぎ、地域全体の「絆」のもと、「子育て日本一のまちづくり」「日本一の教育都市」をつくるため、関東ブロック会員のみなさまに活発で前向きな熱い研究討議して頂き、成功のもと終了することができました。これからも、さいたま市の子どもたちの未来の為、より一層のご尽力いただけるようお願い申し上げます。結びにさいたま市ＰＴＡ協議会の益々の発展と会員皆様のご健勝を祈念致しまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

市Ｐ協の誕生

設立までの経緯

平成十二年五月より、浦和・大宮・与野市ＰＴＡ連合会間の情報交換会を開始。各市Ｐ連より代表二名ずつが出席して毎月一～二回会議を行った。同年十一月、三市ＰＴＡ連合会合併協議会が発足。各市Ｐ連より代表七名ずつ、毎月一回会議を行った。会議を通して、三市ＰＴＡ連合会のお互いがそれぞれに培ってきた活動の共通理解を深め、合併する組織の運営方法などを話し合った。

平成十三年一月からは設立総会の準備と広報紙発行について更に協議を重ねた。同年一月二十五日に大宮市ＰＴＡ連合会事務局（当時）において、三市ＰＴＡ連合会会長（浦和市・高橋政雄氏、大宮市・橋本正晴氏、与野市・望月三之氏）が出席し、五月一日付けで合併し、「さいたま市ＰＴＡ協議会」を発足させる事を盛り込んだ合併決議書に調印した。



話し合いの記録

三市ＰＴＡ連合会正副会長会
＊後に「六人会議」とする。

平成十二年

第１回　五月三十日
・合併についての確認（名称、事務所、資金、上部組織との関係など）

第２回　八月七日
・三市共同事業、ビジョン、会則など

第３回　九月二十五日
・事務所位置、安全互助会、児童生徒ワイド補償制度など

第４回　九月二十九日
・児童生徒ワイド補償制度について

第５回　十月十日
・児童生徒ワイド補償制度、資金、会則、事務所位置、事務員、設立総会など

第６回　十月二十三日
・会則、設立総会、書き損じ葉書回収、児童生徒ワイド補償制度など

第７回　十月二十五日
・合併決議書、合併協定書、会則、児童生徒ワイド補償制度など

第８回　十一月十六日
・合併決議書案、合併協定書案、会則案、児童生徒ワイド補償制度案の決定
設立総会日程案、三市臨時総会など

ここまでの協議案を各市より七名が参加する「浦和・大宮・与野市ＰＴＡ合併協議会」（二十一人会議）を立ち上げ、協議決定を行うこととなった。

浦和市	会　長	高橋　政雄（東浦和中）
	副会長	前田美恵子（田島中）
	〃	萩原　章弘（内谷中）
	〃	杉浦小百合（原山中）
	〃	小泉　修一（三室中）
	広報委員長	飛田　悦子（沼影小）
	保体委員長	玉井　哲夫（上木崎小）
大宮市	会　長	橋本　正晴（連合会専任）
	副会長	古田富美子（連合会専任）
	〃	茂木　芳英（東小）
	〃	鵜篭　雅之（三橋中）
	〃	見川　和明（馬宮中）
	〃	斎藤　千絵（見沼小）
	〃	島村　道宏（校長会）
与野市	会　長	望月　三之（与野西中）
	副会長	徳永　茂（与野東中）
	〃	金子　文江（大戸小）
	〃	大竹　一十（校長会）
	常任理事	赤岩真理子（与野西北小）
	〃	芳賀　義宣（与野南中）
	事務局	新藤　和順（社会教育指導員）

平成十二年

第1回　十一月十二日

①開会の後、自己紹介
②各市Ｐ連の紹介
　会員数、学校数、組織、事業など
③これまでの経過説明
④「六人会議」の報告と質疑応答
⑤合併協議書、合併協定書案、会則案について説明と意見交換
⑥「二十一人会議」の今後の進め方について
　協議

＊事務局についての違い

	事務局	事務員
浦和市	生涯学習課内	市職員
大宮市	小学校の一室	パート職員雇用
与野市	生涯学習課内	社会教育指導員

第2回　十二月二十日

・児童生徒ワイド補償制度の説明
　（幹事保険会社）
・合併協議書、合併協定書について

平成十三年

第3回　一月二十日

・委員会の設置及び担当、設立総会、祝賀会について
・三市ＰＴＡ共同事業について
・広報紙「創立記念号」について

第4回　一月三十日

・会則、細則の協議

第5回　二月二十六日

・会則、細則の協議、承認
・広報委員会報告と協議
・総会・祝賀会準備委員会報告と協議
・児童生徒ワイド補償制度の進捗状況について
・組織図案の説明、討議
・三市ＰＴＡ既存事業の説明

第6回　三月二十九日

・各委員会報告を協議
・事務局の設置場所について
・事務局員の雇用について
・会長人事について

第7回　四月十一日

・各委員会報告を協議
・事務局を現大宮区役所内と決定
・会長人事を決定
　（立候補者を確認後選挙にて）

＊この間「六人会議」は第九回から第十七回まで開かれた。

平成十三年

四月三十日　事務局移転
五月一日　さいたま市ＰＴＡ協議会設立
　広報紙「創立記念号」発行
　８５，０００部
五月十二日　第一回理事会
　総会準備
五月三十一日　第二回理事会
六月十三日　第三回理事会
　総会準備
六月二十七日　設立総会



平成13年（2001年）

さいたま市ＰＴＡ協議会 誕　生

一月二十五日
合併決議書に調印
浦和市Ｐ連…高橋政雄会長
大宮市Ｐ連…橋本正晴会長
与野市Ｐ連…望月三之会長

名称
さいたま市ＰＴＡ協議会

設立総会　六月二十七日(水)

組織　当面、浦和ブロック・大宮ブロック・与野ブロックによって組織

役員　会長一名、副会長若干名、理事若干名、会計若干名、監事二名

上部組織との関係　当面はそのまま(政令指定都市移行時再編)

会計　一本化

資金　設立当面の運営費は繰越金より支出

ブロック事業　当面それぞれ整理の上、継承

事務局　大宮総合行政センターＢ棟一階に開設

○広報紙創立記念号　発行



左から、高橋会長、橋本会長、望月会長

設立総会・祝賀会

六月二十七日　アルーサ清水園にて開催される

さいたま市教育委員会教育委員石川正夫氏、埼玉県ＰＴＡ連合会会長新井裕史氏ほか多数のご来賓をお迎えして、設立総会並びに祝賀会が盛大に行われた。

開かれたＰＴＡを目指し設置された傍聴席では、多くの会員が真剣なまなざしで総会の様子を見守った。





祝賀会では市内各校のＰＴＡ会長・校長など三百名を超える出席を得て、終始和やかに催された。中でも旧三市Ｐ連から選出された二十一名の合併協議会委員の方々には参加者から熱い拍手が寄せられた。

平成14年（2002年）

新たなるステージへ

平成十五年四月にさいたま市が政令指定都市へ移行するに伴い、旧三市のブロック体制から新しく誕生する区ごとに九つの連合会に再編することになった。政令指定都市発足と同時期に区連を発足するための準備の年となった。

○第五十回日本ＰＴＡ全国研究大会
埼玉大会協力

大会スローガン
『育もうゆとりの中で〝生きる力を〟』

埼玉県内の九つの会場において開かれ、さいたま市内では「ソニックシティ」(大宮ブロック担当)「埼玉会館」(与野ブロック担当)「さいたま文化センター」(浦和ブロック担当)で分科会、「さいたまスーパーアリーナ」(大宮ブロック担当)で全体会が催された。

この年より新学習指導要領、学校完全週五日制が導入されることにより、教育現場は大きく変わろうとしていた中で、ＰＴＡとしての課題は何か、また、その役割は何か、ということが見える大会となった。



[埼玉大会 全体会]
長嶋茂雄氏、徳光和夫氏による記念講演「夢」

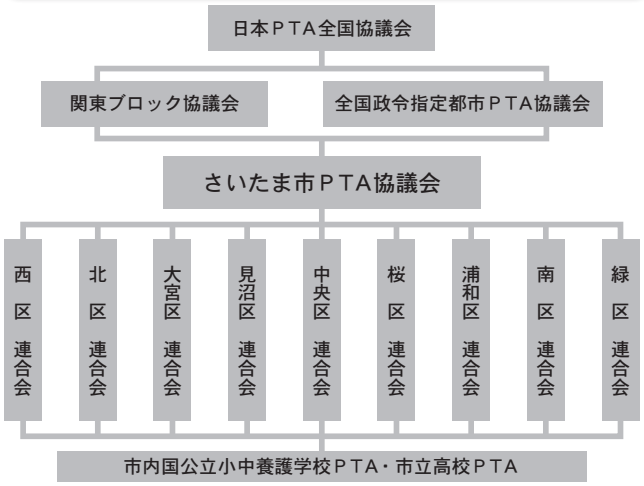
○市Ｐ協ホームページ立ち上げ



平成15年（2003年）

四月の政令指定都市移行にともない、埼玉県ＰＴＡ連合会より独立し、日本ＰＴＡ全国協議会の正会員として活動を始めることとなった。これにより、関東ブロックや政令指定都市などの地方協議会ともダイレクトに情報交換が行えるようになった。内部組織としては、区制施行に合わせたそれぞれ九つの連合会を立ち上げ、特色ある活動が可能になる体制を整えた。また、本会全体の運営は、各区から三名の理事を選出し、理事会での協議決定に基づき進めていくこととなった。

さいたま市が政令指定都市に！ ９つの区連合会がスタート！



平成16年（2004年）

岩槻市ＰＴＡ連合会と合併協定を結ぶ

平成十七年四月一日にさいたま市が岩槻市と合併することに合わせてＰＴＡ連合会も合併する運びとなり、臼杵教育長と両会役員が見守る中、岩槻市Ｐ連小島会長と市Ｐ協向江会長は合併協定書に調印した。





○役員セミナー

橋本会長から向江会長にバトンタッチをしたこの年、役員セミナーが初めて開催された。初めて役員を受けた人にもＰＴＡを十分理解できるようにと、教育委員会や市Ｐ協の運営のことなどについて、わかりやすく説明し、役員が日々勉強していくきっかけづくりとした。





橋本顧問、事務局による市Ｐ協についての説明

○広報紙の名前とロゴが決定！

市Ｐ協 さいたま

平成17年（2005年）

岩槻区が加わり10区で新たなスタート

岩槻区小島信昭会長より「区の色と同じ鮮やかなやまぶき色のような運営を目指していきます。」



岩槻区Ｐ連の事業を拡大してのビーチボール大会

○教育委員会との懇話会

市Ｐ協設立当初から開催してきた教育委員会との交流会とは別に、より情報交換を密にするため、この年より新たに懇話会を開催することになった。

初回は、「良い学校とは」をテーマに、市Ｐ協副会長で城西大学助教授の伊関友伸氏をファシリテーターとしてワークショップ形式で行い、活発な意見交換が行われた。





○赤城・舘岩少年自然の家 視察研修

「子どもたちが宿泊体験する施設に実際に肌で触れ、保護者の立場で施設のあり方や整備・充実について考えてみよう」と始まった。



平成18年（2006年）

第1回市Ｐ協研究大会開催

例年行っている役員等研修会の代わりに、市Ｐ協として初めての研究大会を開催。

［研究主題］様々なコミュニケーションの手法を体験を通して学ぶ
［主催］さいたま市ＰＴＡ協議会
［後援］さいたま市教育委員会
［開催日］平成十九年一月二十三日
［会場］シーノ大宮（センタープラザ）
［参加者］各校ＰＴＡ代表者一名
　教職員十二名程度

〔第一分科会〕インプロ入門
　▽感じるままに動いてみよう
〔第二分科会〕ファシリテーション入門
　▽活性化したＰＴＡをつくるには
〔第三分科会〕親と子のコーチング入門
　▽子どもと接するためのヒント
〔第四分科会〕アサーティブ・トレーニング入門
　▽さわやかな自己表現を学ぶ
〔第五分科会〕これからの特別支援教育入門
　▽教育的特別支援が必要なこどもたちとのよい関係作りを学ぶ
〔第六分科会〕広報の技術入門
　▽人に考えを伝えるには





分科会の様子

平成19年（2007年）

第63回指定都市ＰＴＡ連絡協議会研究大会をさいたま市で開催

豊かな人間関係に基づいた社会に結びつくことを目的に研究大会を開催。一日目は研究主題について四つの分科会を行い、二日目はさいたま市協力のもと体験講座を行った。

［研究主題］様々なコミュニケーションの手法を体験を通して学ぶ
［主催］指定都市ＰＴＡ連絡協議会
　さいたま市ＰＴＡ協議会
［後援］さいたま市・さいたま市教育委員会
［開催日］平成十九年九月二十七日・二十八日
［会場］大宮ソニックシティ
［参加者］十三指定都市より約百三十名

一日目
〔第一分科会〕インプロ入門
〔第二分科会〕ファシリテーション入門
〔第三分科会〕親と子のコーチング入門
〔第四分科会〕アサーティブ・トレーニング入門
二日目
「潤いの時間」体験講座
〔第一・二分科会〕
　小中一貫英会話
〔第三・四分科会〕
　人間関係プログラム





大宮駅構内の案内板と向江実行委員長

平成20年（2008年）

さいたま市ＰＴＡ協議会 ＰＴＡ活動総合補償制度始まる

平成十五年に政令指定都市となると同時に埼玉県ＰＴＡ連合会より独立したが、ＰＴＡ活動時の補償制度は引き続き埼玉県ＰＴＡ安全互助会に加入させていただいていた。平成十七年に保険業法が一部改正され、それがＰＴＡの行う互助会制度にも適用されることになり、これまでの互助会制度の見直しを余儀なくされた。独立時に懸案事項でもあったことから、約二年間の準備期間を経て、市Ｐ協独自に設計した補償制度を保険会社に委託することとなった。

○舘岩少年自然の家　視察研修

平成十七年度に始まった視察研修の流れを汲むもので、平成二十年度の新たな取り組みとして、子どもたちと同じ活動を体験するだけではなく、ボランティアとして「環境整備活動」が新たに加えられた。

裏山に登下山するための木段づくり、施設周辺の側溝清掃、花壇の除草作業などの作業を所員の方たちと参加者たちが一緒になって、大汗をかきながら行った。

○市Ｐ協ホームページ　リニューアル





平成21年（2009年）

第2回市P協研究大会開催

約三年ぶり二回目の市P協主催の研究大会が開催された。

［目的］「家庭教育の向上」について学ぶとともに、各区連の活動について情報交換を行い、活動の活性化を図る。

［開催日］
平成二十一年十一月十二日

［会場］シーノ大宮

［参加者］
全体会：各校ＰＴＡ会長
分科会：各区連合会代表五名

［講演会］家庭教育について
講師 東京聖栄大学教授 岡田弘氏
「人間関係プログラム」
作成委員会の委員長を務めた講師により、参加者をペアにした意見交換を交えた参加型で行われた。



［第一分科会］区連情報交換
出席者全員が各区連の事業内容を説明後、「会長・校長会のあり方」や「会議内容のあり方」について情報交換がなされた。

［第二分科会］家庭教育力について意見交換
「ＰＴＡ活動が本来の家庭教育学級の目的から会員の趣味的なものに偏っていないか。生涯学習という視点からすると否定できないが、親としてどうあるべきか」という視点から意見交換が活発に行われた。

平成22年（2010年）

市P協創立10周年

全国のＰＴＡ協議会として、六十一番目に発足したさいたま市ＰＴＡ協議会は、保護者並びに教職員の皆様のご協力のもと、教育委員会や地域の皆様のご支援をいただき、十周年を迎えることとなった。

記念式典・祝賀会
平成二十二年十一月四日
大宮ソニックシティ市民ホール



市Ｐ協主な事業
○定期総会・懇談会
○役員セミナー
○役員研修会
○少年自然の家視察研修
○教育委員会交流会
○教育委員会懇話会
○広報紙づくり講習会
○広報紙コンクール
○広報紙発行・ホームページ運営
○日本ＰＴＡ全国研究大会
○指定都市ＰＴＡ情報交換会
○関東ブロック研究大会
○サークル活動の後援
バドミントン大会・卓球大会
ビーチボール大会・コーラス祭



定期総会



役員セミナー

常任理事会をつくり組織再編

会則を変更し、新たに常任理事会を設けることとなった。正副会長会と常任理事会の役割を明文化した。

（常任理事会）
第20条　常任理事会は、正副会長及び常任理事をもって構成する。
2　常任理事会は、必要に応じて会長が招集し、議長を務める。

（正副会長会）
第21条　正副会長会は、会長及び副会長をもって構成する。
2　正副会長会は、必要に応じて会長が招集し、議長を務める。
3　正副会長会は、次の事項を審議する。
①　常任理事会に付議する事項
②　その他、会長が必要と認めた事項


高島副会長
鵜沢副会長
磯田会長
山田副会長

平成23年（2011年）

東日本大震災における児童生徒の安全確保等検証委員会　参画

平成二十三年四月さいたま市は東日本大震災で明らかになった、児童生徒の安全確保等の諸問題を解決するために「東日本大震災における児童生徒の安全確保等検証委員会」を設立。市Ｐ協もこれに参画し、検証結果をまとめた「災害時における児童生徒の安全確保等の暫定指針」の策定や、あらかじめ想定された状況で地震が発生した場合の、児童生徒及び教職員の行動マニュアルの作成に協力した。

平成24年（2012年）

東日本大震災　復興支援活動始まる

平成二十四年度、市Ｐ協の活動目的に新たに取り入れた「東日本大震災で被災した子どもたちへの支援に努める」活動の一環として各区の催事に各区連合会が来場者に被災地の子どもたちへの支援を呼びかけながら募金活動や物品販売をおこなった。

日本ＰＴＡ全国協議会では、「心のきずな61キャンペーン」として、全国に六十一あるＰＴＡ協議会の心をひとつにして、東日本大震災により孤児・遺児となった子どもたちのために、公益信託を設立し月額一万円の就学支援をするための募金活動を展開した。この時集まった一八五、六九九円はこのキャンペーンに募金した。



復興支援の様子

新設校できる

緑区　美園小学校　さくら草特別支援学校が新設された。

平成25年（2013年）

会長バトンタッチ

任期満了に伴い総会にて磯田和男会長から鵜沢勇新会長にバトンタッチされた。



磯田会長から鵜沢新会長へ

平成二十六年度　関ブロ研究大会概要決まる

第四十六回　公益社団法人日本ＰＴＡ関東ブロック研究大会さいたま大会

大会スローガン

ささえ合い　いのち尊び　たくましく
まごころつなぐ　子どもたちに
～五つのことだま　子は親の鏡
生き抜く力を子どもたちに～

分科会テーマ「地域連携」「安心・安全」「健康」「家庭教育」「人権」「組織・運営」「伝統文化」

全体会　記念講演　沢田知可子氏

といった内容及び開催日時や主催、主管、後援等も決められた。

市Ｐ協では二十六年度の大会に備え二十五年度に準備委員会を立ち上げ、各区連合会を通じ各校ＰＴＡの皆様に大会スローガンや研究テーマについて公募した。いただいた声をもとにスローガン、テーマ、記念講演を決定し、総会にて全会一致で承認された。

平成26年（2014年）

第四十六回　関東ブロックＰＴＡ研究大会さいたま市大会　開催

平成二十六年十月二十五日（土）～二十六日（日）さいたま市内において第四十六回　関東ブロックＰＴＡ研究大会　さいたま市大会が開催された。「ささえあい　いのち尊び　たくましく　まごころつなぐ　子どもたちに　～五つのことだま　子は親の鏡　生き抜く力を子どもたちに～」を大会スローガンに、五つの「ことだま」（絆・命・体・心・未来）の意味を問い、子どもたちと私たち大人が、笑顔で日々を元気に生きる未来につなげる大会となった。

つぼみの日　実施開始

十月二十八日さいたま市内小学六年生が早い時期に自分の進学先の中学校を訪問することで、中学校生活の良さを知り、希望や見通しをもって生活を送ることや、学力の向上、いわゆる「中一ギャップ」の緩和を目指して、市内の小・中学校が一斉に交流を「つぼみの日」として行なった。

市Ｐ協ホームページ　再リニューアル

さいたま市ＰＴＡ協議会の情報提供の顔であるホームページが生まれ変わった。初めて見る方にもアクセスがしやすく、より直感的に情報がとりやすいよう以下のように工夫された。

・会長から皆様へのメッセージをはじめ、市Ｐ協で活動するメンバーや組織が見える。
・市Ｐ協が主催する講演会や研修会等の活動の様子が見える。
・市Ｐ協ホームページから各区連合会が作成、管理するサイトが見える。また、各区連合会のホームページより、近隣小中学校ＰＴＡ情報を見ることも可能になった。



新ホームページ

平成27年（2015年）

市Ｐ協　広報紙「市Ｐ協　さいたま」カラー化

平成二十七年三月発行

「市Ｐ協　さいたま　No 28」より

・より会員がわかりやすいように

・より会員が興味を持つように

・より会員に有益な情報を届けられるように

広報紙をカラー化を図った。

いじめ防止スローガン　採択

市Ｐ協では、子どもたちのいじめ撲滅を願い、いじめ防止スローガンを採択。

さいたま市主催「いじめ防止シンポジウム」において「いじめ防止スローガン」を発表後、いじめ防止ポスターの作成・配布等いじめの撲滅に務める。



いじめ防止ポスター

舘岩少年自然の家、改修・増設工事開始

さいたま市は、現在二つある赤城少年自然の家、舘岩少年自然の家を平成三十年度に舘岩少年自然の家への一本化に向けて、改修・増設工事を開始。市Ｐ協では平成二十七年度をもって閉所する赤城少年自然の家を改めて見学し、長い歴史を感じるとともに、今後の舘岩少年自然の家が素晴らしい体験学習施設となるよう視察研修・環境整備を行った。


舘岩 環境整備の様子




舘岩少年自然の家

平成28年（2016年）

会長バトンタッチ

任期満了に伴い総会にて鵜沢勇会長から青羽章仁新会長にバトンタッチされた。


鵜沢前会長から
青羽新会長へ

さよなら赤城少年自然の家

さいたま市は、平成三十年度に舘岩少年自然の家への一本化に向けて、赤城少年自然の家を平成二十七年度をもって閉鎖した。赤城少年自然の家は旧浦和市が昭和四十八年に開所し四十二年間にわたり多くの子どもたちに思い出を与え続けてきた。


赤城少年自然の家

役員研修会

四月十九日、市民会館おおみやにおいて役員研修会が行われた。この役員研修会は、各校ＰＴＡ本部の会長及び新年度の会長・副会長・会計を対象としたもので役員セミナーとは別に新規に行われた事業で、研修内容として「役員としての心構え」「会計について」「事業・地域連携」「組織運営」の四部構成にて行われた。


役員研修会

創立十五周年記念　市教委との交流祝賀会　開催

十月十四日、浦和ワシントンホテルにおいて創立十五周年記念交流祝賀会をさいたま市長 清水勇人氏、市議会議員 桶本大輔氏、教育長 稲葉康久氏をはじめとする歴代市Ｐ協会長を含む多くの来賓にお越しいただき、盛大に開催した。







交流祝賀会

平成26年度
第46回関東ブロックPTA研究大会
さいたま市大会開催



ささえ合い　いのち尊び　たくましく
まごころつなぐ　子どもたちに
～五つのことだま　子は親の鏡　生き抜く力を子どもたちに～

10月25・26日に、さいたま市ＰＴＡ協議会主管のもと、関東ブロックＰＴＡ研究大会が開催されました。

皆様の多大なご協力とご支援のお蔭　をもちまして、大成功をおさめましたことに、心より感謝申し上げます。





全体会記念講演会
「ココロとカラダに優しい歌薬」

南区連合会

［歌手］沢田（さわだ）　知可子（ちかこ）　氏

さいたま市文化センターにて、開会式が行われた。その中で、さいたま市ＰＴＡ協議会を代表し、鵜沢会長が挨拶に立ち、歓迎と感謝の気持ちを伝えた。

記念講演では、沢田知可子氏の音楽を通じて「人生の時間旅行へ導かれ、過去を振り返り自分を許しに行く」歌セラピーを体験した。会場内を包む澄んだ歌声と、ココロに響くお話に参加者の目から感動の涙があふれた。

続いて、閉会式にて、次回開催地の横浜市へ大会旗を引き継ぎ、大会の幕が閉じられた。

第１分科会　地域連携

大宮区連合会
桜区連合会

『絆』つながっていますか？
家庭・学校・地域をつなぐ親の役割

菊原氏の講演では、子どもたちが生きていくための能力を養うための環境を整えることが親の役割であるということが示された。続く茨城県・静岡県内小おやじの会の発表からは、父親の果たす役割として、家庭・地域・学校をつなぐ役割を担いながら、子どもたちを守り、育てていくための環境作りの重要性が共通して示された。親の子育てに関する様々な悩みを解く共通のカギが見つかった。

第２分科会　安心・安全

見沼区連合会

『命』大切にしていますか？
自分と他人の命のたいせつさについて

山梨県Ｐ協発表「特色ある見守り活動・防災対策・ＰＴＡ活動」等の紹介を通して、ＰＴＡとして子どもたちに何ができるかを考え、長野県内小Ｐ発表「子どもたちの防災への意識向上をめざして」では、家庭での話し合いと子どもと向き合うことの大切さを知った。続く講演、大谷貴子氏「生きてるってシアワセ！」では社会全体で困っていることに立ち向かう勇気をもらった。

第３分科会　健康

浦和区連合会

『体』健康ですか？
元気な毎日を送るために

地域ぐるみで駅伝に取り組む横浜市内中Ｐによる活動から体力作りの工夫を考えた。辻氏の講演では、成長期における間食の役割を考えた。香川氏の日本人の食事摂取基準とされる時間栄養学についての講演では、命・体・心の健康にはバランスの良い食事、十分な運動と睡眠が必要であり、学力が高く思いやり・体力のある子どもを育てるためには品目の多い朝食が大事であるということを学んだ。

第４分科会　家庭教育

緑区連合会

『心』清らかですか？
明るい家庭は素直な心から

新潟県内小Ｐの研究発表から同学年異学年が交流し情報を共有する心地よい場を提供することは大事だと感じた。川崎市Ｐ協発表からは、インターネットの知識をまず保護者が会得し、子どもの気持ちを理解した上で、リスク回避できる賢い利用者への育み方を学んだ。また、高濱正伸氏によるユーモアたっぷりの講演から子どもたちに自分自身の希望（ゆめ）を育む家庭環境の作り方、母親の役割を学んだ。

第５分科会　人権

西区連合会

『命』大切にしていますか？
生まれてきてくれてありがとう
～知ること知らせること共に生きる～

張替氏の講演では、特別支援教育の様々な事例紹介の中で『命の大切さ』を考えた。宇都宮市Ｐ連研究発表は、発表者３人が掛け合うスタイルで「いじめ対策」が説明され、子どもを注意深く見守ることの大切さや、明るく立ち向かうことを学んだ。その後、体験ワークショップでは、参加者がアイマスク等を実際に着用して、普段感じることのない「不自由さ」を体験した。

第６分科会　組織・運営

中央区連合会

『未来』輝いていますか？
親の笑顔は子どもの未来
～楽しくなければＰＴＡじゃない！～

研究発表では、伊奈町内小Ｐが「善意の広がり」を感じられる「防災キャンプ」を地域・行政と取り組む価値あるものとして紹介した。続いて千葉県内小Ｐからは、これまでのＰＴＡ活動の見直しの中でスクラップ＆ビルドを断行し、見事に成功をおさめたことがわかる発表がなされた。山本シュウ氏の講演では、優れた話術と情熱で、愛と絆の尊さを改めて考えさせられた。

第７分科会　伝統文化Ａ

北区連合会

『未来』輝いていますか？
大切なものを未来へ受け継ごう

地域の伝統文化と子どもたち・地域・学校・ＰＴＡの関わり合いについて、伊勢原市Ｐ連・植竹小学校Ｐが研究発表。また盆栽教室・日進七夕・宮原御輿の様子を展示。日進餅つき踊りは、実演を通じて、郷土に根ざした伝統文化を改めて自ら感じることができたと同時に、参加者にも伝えられた。今後も子どもたちが未来に向けて地域の伝統を継承していけるような活動が大事だと感じた。

第８分科会　伝統文化Ｂ

岩槻区連合会

『未来』輝いていますか？
大切なものを未来へ受け継ごう

岩槻区の伝統文化である木目込み人形の研究発表を西原小学校Ｐが担当した。人形制作の技術、ものづくりの心を伝える活動、さらに子どもたちによる次世代への継承を目的とした活動が紹介された。続いて参加者は、木目込み『小まりストラップ』手作り体験をした。参加者から、自分たちの地域独自の文化を再度見直し、この経験を役立てたいとの声を聞いた。

西区連合会



1　指扇小学校
2　馬宮東小学校
3　馬宮西小学校
4　植水小学校
5　大宮西小学校
6　栄小学校
7　宮前小学校
8　指扇北小学校
9　指扇中学校
10　馬宮中学校
11　大宮西中学校
12　宮前中学校
13　植水中学校
14　土屋中学校
15　ひまわり特別支援学校

年度	歴代区連会長
23年度	辻　　巧
24年度	辻　　巧
25年度	荒井 清司
26年度	津田 泰史
27年度	青木 弘幸
28年度	鶴　英雄

◆区連の特徴

さいたま市北西部に位置する西区は小学校８・中学校６・特別支援学校１の１５校で連合会を構成しています。区連の活動は活発で情報交換会等会内の活動だけでなく作品展や中学生スポーツ大会といった独自事業も運営しています。

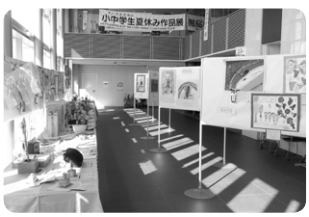
◆自慢の事業

「西区小中学生夏休み作品展」は毎年各校から作品を募集し、西区役所市民ホールをお借りして作品を展示しています。当作品展は既存の絵画展や作品展以外にも表彰の機会を増やし、子どもたちに表彰の喜びの経験を増やすこと、意欲を引き出すことを目的としています。当初は絵画だけでしたが現在は工作・書道と対象を増やしています。表彰式には区長・市Ｐ協会長・各校校長にご出席を頂き、子どもたちの心に残るような格調高い式になるよう心がけています。最近の作品は西区Ｐ連のホームページでも公開しています。是非ご覧ください。

「西区中学生スポーツ大会」は中学校の部活動を対象にして独自に開催しているスポーツ大会です。中学生部活動の年３回の大会の内、夏の大会が無くなり３年生は春の学校総合体育大会で引退となり、試合で表彰される機会が減ってしまいました。そこで作品展と同様の目的でサッカー大会を開催したのがその始まりです。年々種目が増え現在はサッカー、ソフトボール、女子バレーボール、バスケットボール、野球、剣道、ソフトテニスと男女併せて１０種目を数えるようになっています。子どもたちに「本物」の経験をしてもらうために、競技ごとに公式審判員をお招きしています。本大会は青少年育成会、さいたま市西区スポーツ振興会、西区Ｐ連の共催事業として地域から多大な支援を受けて運営されています。規模の大きな大会となり運営は大変ですが子どもたちの清々しい笑顔をみることができ嬉しく思っています。地域の皆様及び関係諸団体に感謝をしつつ、今後も子どもたちのための活動を続けていく所存です。


西区スポーツ大会
剣道


西区スポーツ大会
ソフトボール


西区作品展
展示の様子



西区作品展
表彰式

指扇小学校

会長 中里 奈々　　校長 紺野 達郎

会員数 625　児童数 806

指扇小学校は、西区役所の近くにあり、緑豊かな中にも新宅地化による人口の増加で地域全体が活気づいている環境にあります。今年開校１４３年と歴史深い学校で、３世代「指っこ」も多く、地域の皆様の愛情に支えられております。

指扇小ＰＴＡは、本部・学年学級委員・文化教育ＥＣＯ部・広報部・バザー部・地区環境部・選挙推薦委員会・ベルマーク委員会・ビーズサークルで構成されており、例年秋に行われるバザーは、保護者、教職員、そして地域の皆様と協力して交流をはかる一大イベントです。体育館での児童作品の展示、ダンスクラブ・吹奏楽部の発表や、地域の方々によるお囃子や手作り工作と販売、模擬店においては、指小サポーターとバザー部による美味なる食品販売、会員・地域の皆様からの提供の様々なバザー品で会場全体が和みます。

今後も家庭、学校、地域との連携を深め、子供たちが安心して笑顔で学校に通えるような環境作りを目指してまいります。

年度	PTA会長	校長名
23年度	津田 泰史	石井　寛
24年度	森田 隆之	石井　寛
25年度	森田 隆之	石井　寛
26年度	岡田 有美	紺野 達郎
27年度	岡田 有美	紺野 達郎
28年度	中里 奈々	紺野 達郎



指扇小学校



バザーの様子

馬宮東小学校

会長 齋藤 雄作　　校長 湯沢 保紀

会員数 326　児童数 372

馬宮東小学校は、荒川の堤防に沿った細長い地域を学区としており、校舎西側の土手の向こうには広い馬宮の田んぼが広がり、様々な鳥類、昆虫、水中生物、魚が生息する恵まれた自然環境の中で子どもたちは学んでいます。

本校は、明治６年（１８７３年）にお寺の一部を仮校舎として借りた、「遊馬学校」として開校し、今年で創立１４３年を迎えました。祖父母世代から本校で学ぶ子どもも多く、業間休みに様々な遊びを通し地域の方々と交流する「業間遊馬学校」や放課後・土曜日のチャレンジスクール、ＳＳＮの活動など地域交流も盛んに行われています。

本校ＰＴＡは、資源回収や防犯パトロール、登校指導など多くの活動を行っていますが、中でもＰＴＡバザーは、手作り品の販売や模擬店など毎年趣向を凝らした内容で実施し好評を得ています。

学校目標である、やさしく・かしこく・たくましい馬宮っ子の育成のため、家庭・学校・地域と連携しＰＴＡ活動を行っていきます。

年度	PTA会長	校長
23年度	辻　巧	槙山 正春
24年度	辻　巧	佐々木清隆
25年度	青木 弘幸	佐々木清隆
26年度	青木 弘幸	佐々木清隆
27年度	青木 弘幸	湯沢 保紀
28年度	齋藤 雄作	湯沢 保紀



桜咲く春の校舎



バザーの様子

馬宮西小学校

会長 椿井 克昌　　校長 町田 健司

会員数 63　児童数 84

馬宮西小学校は、今年で開校１４１周年を迎え、西区の小学校としては２番目の歴史が御座います。全校の児童数は８２名と各学年ひとクラスにて、教師と児童との距離が非常に近く濃い会話を取りながら、授業を実施しております。さて日々のＰＴＡ活動と言いますと、当然児童数が少ないイコール保護者の人数も少なく、全ての行事やイベントに関し、保護者の積極的参加により人数の少なさをカバーできておりスムーズに実施できております。また近隣の皆様の協力も強く、まさに学校、ＰＴＡ、地域の連携が強い学校となっております。しかしながら馬宮西小学校の課題は、西区で唯一学童保育が無く、それが為に学校近隣に住みながら、他校に通学させ児童並び保護者には大変負担が掛かっており、ＰＴＡとしても最優先課題として、関係各位に開設まで嘆願し続けてまいります。今後とも皆様の温かいご支援の程宜しくお願いいたします。

年度	PTA会長	校長
23年度	新井 秀明	田村 史行
24年度	新井 秀明	山田 尚弘
25年度	飯田 誠司	山田 尚弘
26年度	飯田 誠司	山田 尚弘
27年度	椿井 克昌	町田 健司
28年度	椿井 克昌	町田 健司



地域と児童と盆踊り



児童、ＰＴＡ触合い行事

植水小学校

会長 渡辺 良憲　　校長 内河 水穂子

会員数 378　児童数 449

植水小学校は、西区の南側、田畑に囲まれた自然豊かな環境の中にあります。田植えの時期が終わるとカエルの大合唱を聞くことができ、天気の良い日には遠くに秩父の山々や日本最高峰の富士山を望むことができます。

植水小ＰＴＡは、学級委員長会、総務委員会、広報委員会、文化厚生委員会、校外保導委員会から構成されており、役員にならない保護者の方には、スマイルサポートという名のボランティア活動を通じて、校内清掃、学期末のカーテン洗濯、運動会の自転車整理、バザーのお手伝いを行っていただいています。

子どもとの関わりが一番大きい行事がバザーになります。バザー当日は、児童だけではなく、保護者や地域の方々が多く来場し、盛大に開催されます。毎年賑わうゲームコーナーでは、子どもたちの楽しむ声を聞くことができます。地域の活動にも積極的に参加しており、家庭、学校、地域が一致団結し、子どもたちが安全に学校生活を送れるよう見守っております。

年度	PTA会長	校 長
23年度	赤羽 友子	有賀　勝
24年度	赤羽 友子	岡　義行
25年度	島田みどり	岡　義行
26年度	渡辺 良憲	岡　義行
27年度	渡辺 良憲	内河水穂子
28年度	渡辺 良憲	内河水穂子



通学の様子



運動会恒例親子種目

大宮西小学校

会長 坂本 哲朗　　校長 関根 正佳

会員数 748　児童数 973

大宮西小学校は、校地南西にある「潤い自然園」に特長があります。西小ビオトープとして、古代ハスが生息しており、四季を通じて多くの野草を観察し、昆虫と戯れることができます。西っ子達は、自然に感動し、生命の大切さを学んでいます。その他の特長として、課外活動の吹奏楽部(ウエストブラス)の活動が活発です。マーチングバンド全国大会に５年連続出場しております。

自慢できるＰＴＡ活動としては、ボランティアワークがあります。活動内容は、年に２回児童と保護者が一緒になり、校庭やプール等の清掃を行ないます。この活動が「潤い自然園」の維持管理にも貢献しております。その他の活動は、１１月に開催するバザーがあります。活動内容は、保護者が露店の女将さんとなり、焼きそば、フランクフルト、チョコバナナ、じゃがバター、的あて、輪投げと様々な露店が並びます。西っ子達は、毎年バザーを楽しみにしております。

年度	PTA会長	校 長
23年度	飯野 貴之	野沢 康久
24年度	飯野 貴之	野沢 康久
25年度	岡部　勉	笹原 秀之
26年度	岡部　勉	笹原 秀之
27年度	岡部　勉	笹原 秀之
28年度	坂本 哲朗	関根 正佳



ボランティアワーク



バザー

栄小学校

会長 関根 邦明　　校長 桑原 啓一郎

会員数 489　児童数 595

栄小学校は、昭和４８年に佐知川地区・指扇地区及び西遊馬地区にまたがる地域に造られました。『境目・栄える小学校』の願いをこめて栄小学校と名付けられました。

また、自然に恵まれ森がある学校としても環境発信地をめざし、春にはさくら草を楽しむ会・夏にはホタルを観る夕べを開催し、学校・地域・保護者と連携し多年に渡り取り組んでいます。

栄小ＰＴＡは、執行部・総務文化部・保体補導部・広報部・学年学級部・推薦活動部・バザー企画部で構成されております。多々ある活動の１つとして、田んぼでお米を作る体験事業では、地元の農家の方に田んぼを提供していただき、田植えから稲刈りを実際に子どもたちが泥まみれになり体験する事でお米を作る事の大変さや、面白さを知る貴重な体験となり地域のボランティアの方々も多数参加していただく地域密着事業となっております。

これからも、栄小児童の裕福な成長の為、会員の親睦と教養の向上を図る活動をしてまいります。

年度	PTA会長	校 長
23年度	安田 博之	蓮見　哲
24年度	阿部 啓介	蓮見　哲
25年度	阿部 啓介	蓮見　哲
26年度	阿部 啓介	桑原啓一郎
27年度	関根 邦明	桑原啓一郎
28年度	関根 邦明	桑原啓一郎



校庭から望む栄小学校



田植えの様子

宮前小学校

会長 鶴　英雄　　校長 玉井 康仁

会員数 741　児童数 882

宮前小学校は西区と北区の境の鴨川に隣接する比較的大きな小学校です。ＰＴＡ活動は活発で、朝の交通指導や下校時のパトロールは勿論、毎月行っている資源回収は当校ＯＢの資源回収会社の支援を受け６台のトラックで使って大きな規模で行っています。また毎年バザーと各種イベントを同時に行う宮前小フェスティバルをＰＴＡ主催で開催し子どもたちや地域の皆さんに楽しんでもらっています。

ボランティア活動も活発で図書ボランティアによる子どもたちへの読み聞かせや、おやじの会による流しそうめん等各種イベントも行われています。子どもたちが遊んでいる築山も保護者の有志が作ったものですし、ウサギ小屋や図書室の本棚の一部はおやじの会が作ったものです。

今後も「宮前小、どの子もわが子」の精神で子どもたちのため、そして自らも成長するような活動をしていきたいと思っています。

年度	PTA会長	校 長
23年度	八鍬　充	加藤鉄志朗
24年度	鎌田 兼司	加藤鉄志朗
25年度	永井 武馬	矢田 明正
26年度	鶴　英雄	矢田 明正
27年度	鶴　英雄	矢田 明正
28年度	鶴　英雄	玉井 康仁



資源回収の様子


保護者で作った築山

指扇北小学校

会長 佐久間 健志　　校長 町田 隆則

会員数 416　児童数 507

指扇北小学校は西区北部に位置し、近隣には秋葉神社・清河寺温泉を有し、西区のイベントであります“駅からハイキング”の名所にもなっています。

全校児童５００名余りのアットホームな小学校で、教職員の先生方を始め、保護者、地域の方々に支えられ“指北っ子”達は元気一杯学校生活を楽しんでいるようです。

主なＰＴＡ行事はバザーで、名物のみかん詰め放題や焼きそば、ゲームなど、子どもたちはもちろん地域の方々にも好評のバザーとなっています。最近では、仮装してバザーを楽しむ保護者や子どもたちも現れ、思い思いのバザー会場となっています。

また平成２９年度には、本校創立４０周年を迎えます。平成２７年度より埼玉県みどりの基金の補助金を受けて、“四季の森再生　花いっぱいプロジェクト”と題し、学校の一区画を子どもたちの自然観察や憩いの場として活用してもらいたいという思いから、かかわり隊の皆さんのご協力を得て、整備を進めてまいりました。この機会に四季の森に西区の花“あじさい”を植栽しようと計画しています。地域の皆さんに愛される“指北”を目指してＰＴＡ一丸となって取り組んでいきたいと思っています。

年度	PTA会長	校 長
23年度	岡本 雅宏	井上　均
24年度	岡本 雅宏	井上　均
25年度	福岡 一美	井上　均
26年度	福岡一美・瀧深徹	井上　均
27年度	瀧深　徹	町田 隆則
28年度	佐久間健志	町田 隆則


運動会の様子


花いっぱいプロジェクト

指扇中学校

会長 伊原 義広　　校長 栗原 勝義

会員数 427　生徒数 433

指扇中学校は、ＪＲ川越線「西大宮駅」の北北東の高台に位置しており、西に荒川の流れを擁し、周囲には畑作地帯が広がり、遥かに秩父の山並みを望む恵まれた環境に包まれています。

主なＰＴＡ活動としては、学校行事のお手伝いを始め高校見学会、指扇小・指扇北小と情報交換をする「三校連絡協議会」、高校の先生などをお招きしての講演会、学区内の自治会にもご協力いただいての資源回収などを行っています。

また平成２６年、２７年の２回に渡り、大宮シティロータリークラブ様のご協力をいただいて創立７０周年へ向けた「芝桜大作戦」を実施。学校の外溝部に着色したペットボトルで「さしおうぎ」の文字と、色とりどりの芝桜を植える記念事業を、参加を希望する生徒と保護者で一緒に行ないました。

今後も良き伝統を守り、「何が正しいのか」を判断基準に活動していく所存です。

年度	PTA会長	校 長
23年度	吉澤 裕司	島村　暁
24年度	吉澤 裕司	島村　暁
25年度	吉澤 裕司	渡邉 祐子
26年度	吉澤 裕司	渡邉 祐子
27年度	伊原 義広	新井敬二郎・栗原 勝義
28年度	伊原 義広	栗原 勝義


芝桜大作戦作業風景①


芝桜大作戦作業風景②

馬宮中学校

会長 阿部 啓介　　校長 福島 博子

会員数 402（家庭数 367＋教員数 35）　生徒数 392

馬宮中学校は荒川を境に富士見市、川越市と隣接する緑豊かな田園環境にある昭和２２年創立の学校であり、今年度創立７０周年を迎えます。

ＰＴＡ組織は学年ＰＴＡ部、広報部、文化厚生部、環境対策部のほか、用途に応じた委員会を設置しており、各事業部の独立性を前提とした事業展開を実施しています。

今年度においては、周年記念式典を開催するにあたり、馬宮中学校ＰＴＡは事業テーマを７０周年を迎えた馬宮中学校からこれからの７０年に向けてとし、子どもたちが安心・安全に生活し、勉学に励める環境の有難さを再確認するとともに、少しでもこのような環境を未来に向かって継続していきたいと考え、学校・地域・保護者、そして子どもたちと全員で考える、「認め・支え・助け」という馬宮憲章のもと活動しています。

また、学校と連携し、全校生徒を対象にした参加型の防災研修を実施しているほか、近隣小中学校や幼稚園、他市においても防災研修を実施しており、子どもたちを守るためにどうすれば良いのか、ＰＴＡは機能するか等を一緒に考えるとともに、子どもたちを守る地域防災力の向上に貢献できるように今後も活動してまいります。

年度	PTA会長	校 長
23年度	小野寺 豊	荻田 哲男
24年度	小野寺 豊	荻田 哲男
25年度	辻　　巧	荻田 哲男
26年度	辻　　巧	荻田 哲男
27年度	阿部 啓介	福島 博子
28年度	阿部 啓介	福島 博子



全校生徒対象防災研修



安心安全マップ作成状況

大宮西中学校

会長 南　彰男　　校長 佐藤 和男

会員数 457　　生徒数 461

昭和５０年に開校した大宮西中学校は、西区の北西部に位置し、緑豊かな木立に囲まれ、初夏になると正門横の藤棚が美しく咲き誇り、西中のシンボルとなっております。

年間を通じた活動として、教職員・ＰＴＡと生徒会による「朝のあいさつ運動」を実施しており、子ども達の登校を見守るよう正門前に整列し、一人一人の顔をみながら、大きな声で「おはようございます！」と声掛けをしています。

他にも生徒達の年中行事を盛り上げるため、学校側と協力して合唱コンクール、体育祭などの学校行事のお手伝いや、ＰＴＡ会員のために不要品となった制服・ジャージ・ボタンなどを回収し制服リサイクルとしてバザーで販売を行っております。

また、地元のボランティアによって、『藤花教室』という子ども達の学習を手助けする集まりをテスト前や長期休みに開催しています。

今後も学校や地域の方々と連携し、生徒達が安心して学校生活を過ごせるよう、様々な活動に取り組んでまいります。

年度	PTA会長	校 長
23年度	永島 宏泰	大澤　敬
24年度	永島 宏泰	田代 敏生
25年度	木藤はるみ	田代 敏生
26年度	木藤はるみ	松井 育夫
27年度	南　彰男	松井 育夫
28年度	南　彰男	佐藤 和男



大宮西中の花壇の様子



熊本地震募金活動

宮前中学校

会長 吉本 博一　　校長 中村 淑人

会員数 558　　生徒数 550

宮前中学校は、昭和５４年に開校し、現在は、小・中一貫教育推進モデル校として指定されております。その中で宮前中学校ＰＴＡの基本理念として、未来をひらく子供達の健全な成長を育むため、活気に満ちた、ふれあいのあるＰＴＡ活動を推進しております。代表的な活動として、「資源回収・校内美化運動・朝のあいさつ運動・地域防犯パトロール・バザーの活動」などを行っております。

子供は、「家庭で躾けられ、学校で学び、地域で育つ」と言われる様に、学校、家庭、地域の三者がその役割を果たしながら、互いに協力・連携し合ってこそ、子供達を健全に育んでいけるものと考えております。「子供のより良い成長のため」を合言葉に、保護者・教職員・地域の皆様が三位一体となり、子供達一人ひとりが目標をしっかりと持って様々な活動に取り組める様に環境作りに努めております。

年度	PTA会長	校 長
23年度	川崎 照正	乾　光伸
24年度	荒井 清司	乾　光伸
25年度	荒井 清司	乾　光伸
26年度	岡田 光正	中村 淑人
27年度	福村　誠	中村 淑人
28年度	吉本 博一	中村 淑人



あいさつ運動



資源回収

植水中学校

会長 老川 和宏　　校長 田所 泰久

会員数 202　　生徒数 201

植水中学校は、さいたま市の西部、荒川の河川敷に位置して、目と鼻の先には水田が広がり、自然豊かな場所に建っています。そのため、春、夏、秋と稲の成長が各教室から見えます。冬には各教室の窓から富士山もよく見え、四季折々の自然を感じながら、生徒が成長していき、本当に素晴らしい場所に、学校が建っています。生徒数は他校に比べると少ないと思いますが、学校行事などは生徒、先生、保護者が一致団結し、他校に負けないエネルギーを出してくれています。生徒みんなが心豊かで、先輩達は後輩達に優しく、後輩達はそんな先輩達を目標とし、次へ、次へ、と受け継がれています。

年度	PTA会長	校 長
23年度	永田 治志	板橋 康彦
24年度	松戸 浩二	板橋 康彦
25年度	松戸 浩二	田所 泰久
26年度	松戸 浩二	田所 泰久
27年度	峯　信一	田所 泰久
28年度	老川 和宏	田所 泰久

また、植水地区は先生、保護者、地域の皆様とのコミュニケーションが良く、地域全体で生徒が登校する時、下校する時、暖かく見守っていただき、生徒も安全で保護者も安心してとても通いやすい学校です。



クリーン活動



ふれあいランチ

土屋中学校

会長 茂木 一久　　校長 加藤 りさ

会員数 437　　生徒数 475

土屋中学校は、昭和６１年４月に指扇中学校・馬宮中学校より分離独立して開校し、今年で３１年目を迎えました。夏は、蛙の合唱が聞こえ、給食にはその田んぼから地元産コシヒカリを提供していただいています。

土屋中学校ＰＴＡは、学年委員会・総務部・生涯学習部・広報部・厚生部・地区委員会・部活動委員会で構成しています。多くの活動がありますが、毎朝のあいさつ運動やバザー・環境美化活動では、子どもたちと共に活動します。保護者どうしの勉強会として、講習会、給食試食会、高校見学会などがあり、一緒に学ぶことでつながりができ、相談し合える仲間作りの場ともなっています。緑化活動や通学路パトロール、活動の様子を分りやすくまとめた広報誌の発行なども行っています。また、歓送迎会では、保護者と先生方との懇親を深められる企画も立てています。

これからも、家庭・学校・地域が連携して子どもたちの成長を見守ってまいります。

年度	PTA会長	校 長
23年度	伊藤 幹雄	遠山 信二
24年度	伊藤 幹雄	遠山 信二
25年度	津田 泰史	遠山 信二
26年度	津田 泰史	加藤 りさ
27年度	茂木 一久	加藤 りさ
28年度	茂木 一久	加藤 りさ



校内美化活動の様子



バザーの様子

ひまわり特別支援学校

会長 石綿 まゆ子　　校長 石川 信和

会員数 49　　児童数 50

ひまわり特別支援学校は西区三橋にある、肢体不自由の子ども達が通う学校で、さいたま市総合療育センター「ひまわり学園」と隣接する開校３４周年を迎えた学校です。

ひまわり特別支援学校ＰＴＡは、総務部、広報部、進路対策部、推薦委員会で構成され、児童生徒数が少ないため、ＰＴＡ活動に関わる機会がたくさんあります。

ベルマーク回収や進路学習会、イエローレシートキャンペーンや親睦会など、執行部や専門部が主催して活動しています。昨年秋には、児童生徒達が行う「ひまわり祭」に合わせて、会員より提供された手作り品の販売を行いました。

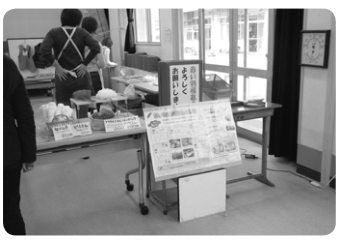
また、２，３年ごとにＡＥＤ講習会も行っています。参加した会員は、いつ来るかもしれないその時に備え、真剣に講習に参加しています。今年度はそれに加えて、関東甲信越地区特別支援学校ＰＴＡ連合会埼玉大会が、ブリランテ武蔵野で行われ、県内はもとより他県のＰＴＡとも交流も深めてまいりました。

わたしたちは、一人ひとりの障害に応じた子ども達の社会参加と自立のためにこれからも楽しくＰＴＡ活動を行ってまいります。

年度	PTA会長	校 長
23年度	柴田貴代子	永妻 恒男
24年度	門脇郁奈子	張替 克美
25年度	鈴木　淳	張替 克美
26年度	石綿まゆ子	石川 信和
27年度	石綿まゆ子	石川 信和
28年度	石綿まゆ子	石川 信和



ひまわり祭手作り品販売



ひまわり祭赤い羽根募金活動

北区連合会



1　東大成小学校
2　日進小学校
3　日進北小学校
4　宮原小学校
5　植竹小学校
6　大砂土小学校
7　大宮別所小学校
8　泰平小学校
9　つばさ小学校
10　日進中学校
11　宮原中学校
12　植竹中学校
13　泰平中学校
14　土呂中学校
15　埼玉大学教育学部附属特別支援学校

年度	歴代区連会長
23年度	都築 浩二
24年度	西山　功
25年度	小川 智幸
26年度	三牧 淳也
27年度	磯田　修
28年度	石川 広之

◆区連の特徴

さいたま市の北部に位置する北区連合会は小学校９校・中学校５校・特別支援学校１校の計１５校で構成されています。各単会の連携が重要であると考え、会長はもちろん副会長が交流できる情報共有の会を開催しています。

◆自慢の事業

【役員会・会長会】年複数回実施し、市Ｐ協からの連絡事項や連合会の事業に関する打ち合わせを行うとともに、各単会から上げられる課題の改善に向けて話し合いを行っています。また、今年度より舘岩少年自然の家へ竹串を寄贈する事業を始めました。

【校長・会長会】各学校で取り組んでいる事業について情報共有をするとともに、各校の校長先生との親睦を深めるため、年２回開催しています。

【会長・副会長会】各単会の会長・副会長が年２回集まり、各学校での子どもたちの様子や課題としていること、各学校のＰＴＡ事業についての情報共有を行い、今後のよりよいＰＴＡ活動に向けた意見交換を行っています。

【北区民まつり】秋に北区内「市民の森」にて開催される「北区民まつり」に北区Ｐ連として飲食品模擬店を出店しています。当日は各単会の会長・副会長が参加し、北区Ｐ連の連携を深める機会としています。北区の花である「なのはな」をイメージした黄色と緑の綿あめやフランクフルトなどを販売し、来店した子どもたちや保護者にも好評です。

【地区ごとの連携】北区内の各小中学校では、「中山道みやはらまつり」中学生神輿の参加や「日進七夕まつり」での七夕飾りの作成展示、小学校での盆栽づくり等に代表されるように、地域の伝統や文化との関わりを大切にしています。また、地域の方との清掃活動など地域・学校・ＰＴＡが連携した特色ある事業に各地区で取り組んでいます。


北区連合会役員会・会長会


竹串製作委員会


北区民まつり出店

東大成小学校

会長 渡邊　哲也　　校長 石山　俊之

会員数 390　児童数 467

東大成小学校は、北区の中央部に位置し、今年で創立６０周年を迎えました。児童数は４６７人と近隣の学校に比べ少ないですがアットホームな雰囲気の中で学ぶことができています。

東大成小ＰＴＡは、本部・学年学級部・広報部・環境交通部・保健厚生部で構成されており、『広げる笑顔　未来へ導くＰＴＡ』のスローガンのもと教職員や地域の方々と協力しながら子供たちが安心して過ごせる地域・学校づくりに取り組んでいます。

本校のＰＴＡ活動の中で最も大きな活動は毎年１１月に行われる「ぽんぽこまつり」です。これは、保護者と教職員が協力してバザーや模擬店・ゲームコーナーを体育館で開催するお祭りです。ステージでは児童や教職員の歌、楽器演奏・ダンスの披露もあり、子供たちはもちろん地域の方々にも楽しんでいただいています。その他、盆踊り大会など地域イベントにＰＴＡも協力しており、今後も家庭・学校・地域が連携した活動を行っていきたいとおもいます。

年度	PTA会長	校 長
23年度	日野 亮輔	石田 耕一
24年度	和久井 洋	矢部えつ子
25年度	和久井 洋	矢部えつ子
26年度	森田 知行	矢部えつ子
27年度	森田 知行	矢部えつ子
28年度	渡邊 哲也	石山 俊之



合同盆踊り



創立６０周年航空写真

日進小学校

会長 今井 健太　　校長 並木 昌和

会員数 835　児童数 982

日進小学校は、平成２５年度に１４０周年を迎えた歴史ある小学校です。

夏には、日進町の風物詩でもある「日進七夕まつり」の竹飾り制作に取り組んでいます。子供達がデザインしたものを、教職員と保護者も協力して、毎年すばらしい飾りが仕上がります。竹飾りコンクールでは、３年連続で賞をいただきました。校内には四季折々の草花や生き物と出会うことが出来るビオトープがあります。お父さんやお母さんの子供の頃の自然を残し、一緒に遊ぼうという理念のもと作られました。平成１１年の完成以来、全国のコンクールにおいて優秀賞など数々の賞を受賞しています。学校支援ボランティア活動も盛んで「七夕・図書・防犯・環境・カブトムシ・音楽」があります。

子供達を見守り、小学校生活が豊かになるよう支えて下さっています。

「子供達が学んでよかった。保護者が通わせてよかった。地域の方が在ってよかった。」と胸を張って言えるようＰＴＡも協力し、連携していきたいです。

年度	PTA会長	校 長
23年度	都築 浩二	下條　清
24年度	都築 浩二	藤野　栄
25年度	都築 浩二	藤野　栄
26年度	山中 誉之	蓮見　哲
27年度	今井 健太	蓮見　哲
28年度	今井 健太	並木 昌和



みんなで作った七夕飾り



環境デーでビオトープを美しく

日進北小学校

会長 小川 智幸　　校長 中村 勝光

会員数 699　児童数 817

北区の北西部に位置する日進北小学校は、昭和２６年に日進小学校より分離開校し、今年で６６年目を迎えました。校内では『あいさつ』が飛び交い、朝の時間には全校で「百人一首」に取り組んでいます。ＰＴＡは、総務部、安全保導部、教養保体部、広報部、児童還元部、行事委員会で構成されています。「ワーキングボランティア」という校内環境整備を年３回、保護者と教職員が協力して実施しています。毎年８月は「大宮日進七夕まつり」に、子どもがデザインを考え保護者が製作した七夕飾りで参加し、子どもの願い事が書かれた短冊が夜空にたなびきます。子どもの安全面では、日頃から保護者が、登校時の旗ふり、下校パトロールを交代で実施しています。更に、縁の下の力持ち的な存在の「にちきたおやじかい」や、「図書ボランティア」、「防犯ボランティア」の方々など、保護者、地域が一体となって、子どもたちの健やかな成長を見守っています。

年度	PTA会長	校 長
23年度	遠藤 敏雄	松本　勝
24年度	遠藤 敏雄	小林真理子
25年度	小川 智幸	小林真理子
26年度	小川 智幸	小林真理子
27年度	小川 智幸	中村 勝光
28年度	小川 智幸	中村 勝光



校庭に面する南校舎



日進七夕まつりの七夕飾り

宮原小学校

会長 宮島 和宣　　校長 新堀　栄

会員数 876　児童数 1,021

宮原小学校は、明治６年５月３０日に加茂学校として、開校以来、本年度で１４３年を迎える歴史と伝統のある学校です。そして、中山道沿いにある樹齢１４３年の「栴檀(センダン)」は、学校の歴史と伝統を象徴する木となっています。この木は昭和４３年に旧大宮市の天然記念物の指定を受けていて、子どもたちの成長を見守ってくれています。

宮原小学校ＰＴＡは、本部、総務部、文化教養部、広報部、安全保導部、環境整備部から構成されています。

８月に行われる「雑草ぬきぬき大作戦・地域パトロール」は、２学期をさわやかな環境でスタートできるよう、また、安全な登下校ができるよう、児童・保護者・教職員・防犯ボランティアの方々等が協力して校庭・校舎周辺の除草、校舎の窓ガラス拭きなどを行う取り組みです。

他にも地域のイベントにＰＴＡが参加するなど、周辺の学校とともに協力しながら、家庭・学校・地域が連携して、子どもたちが生き生きと学び、知力・徳力・体力・コミュニケーション力を培う環境づくりを今後も行ってまいります。

年度	PTA会長	校 長
23年度	清水　浩	味澤 博昭
24年度	清水　浩	味澤 博昭
25年度	三牧 淳也	味澤 博昭
26年度	三牧 淳也	髙後　仁
27年度	三牧 淳也	髙後　仁
28年度	宮島 和宣	新堀　栄



雑草ぬきぬき大作戦の様子



パトロールの様子

植竹小学校

会長 茂手木 真　　校長 鯨井 幹夫

会員数 698　児童数 810

植竹小学校は、北区の南東に位置し、学区内には区役所や図書館、盆栽美術館や漫画会館などがあり、文化的にも恵まれた環境にあります。５年生で一人一鉢の盆栽を持ち、卒業まで校内の盆栽庭園で大切に育てる盆栽教育は、本校の特色の一つです。

ＰＴＡ活動では「あったかいクラス作りのサポーター」をスローガンに、子ども達のためにどの保護者も積極的に活動してくださっております。又、年３回、校庭開放事業を開催しており、「学校のプールであそぼう」「ミニ鉄道博物館」「お餅つき＆正月遊び」には毎回大勢の子ども達が参加してくれます。その他にもボランティア活動も盛んで、全国的にも珍しい学習支援ボランティアをはじめ、７つのボランティアに延べ１２０名が登録してくださっております。

こうした活動が認められ、２７年度には全国ＰＴＡ会長賞をいただきました。

これからも、地域の方々や先生方と協力し合い、子ども達の笑顔溢れる活動を続けていきたいと思います。

年度	PTA会長	校 長
23年度	北川 靖夫	平沼　智
24年度	北川 靖夫	平沼　智
25年度	石川 賢治	松田 泰成
26年度	石川 賢治	松田 泰成
27年度	茂手木 真	鯨井 幹夫
28年度	茂手木 真	鯨井 幹夫



盆栽庭園



ミニ鉄道博物館

大砂土小学校

会長 田中 克典　　校長 引間 和彦

会員数 1,127　児童数 1,318

大砂土小学校は明治６年(１８７３年)に開校し、今年で１４３周年を迎える長い歴史を有しています。「自ら学び、考えて行動する子の育成～認め合い・学び合い・共に育つ～」を教育目標とし、学校・ＰＴＡ・地域が一丸となり教育活動を進めております。

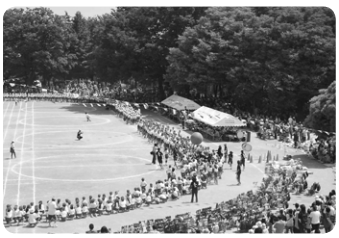
在校児童数は1,３１８人(平成２８年５月１日現在)で、さいたま市で一番の児童数を誇ります。

緑に囲まれた広い校庭では週２回朝運動が行われ、全校児童が一斉に自校体操と５分間走に取り組んでいます。その校庭の南西の一角にケヤキが林立する「けやきの森」があります。昭和５１年度の卒業生が植樹したもので、４０年を経て見事に成長し、大砂土小のシンボルとなりました。毎年秋に開かれるＰＴＡ主催の「けやきの森まつり」では、地域のボランティアの方々の協力のもと、バザーや昔遊び、ゲームなどを行っています。

また、ボランティア活動も盛んで、日々の子どもたちの登下校を見守る防犯ボランティア、保護者による読み聞かせを行う図書ボランティア、学習ボランティア、環境美化ボランティア、おやじの会があります。

このように、大砂土小学校ＰＴＡは長い歴史の中で培われた学校と地域との深い絆に支えられて活動しています。

年度	PTA会長	校 長
23年度	高松 正毅	渡邊 正道
24年度	永沼 徳之	金子　強
25年度	永沼 徳之	金子　強
26年度	中村 宏也	引間 和彦
27年度	中村 宏也	引間 和彦
28年度	田中 克典	引間 和彦



盛大な運動会とけやきの森



広い校庭に立つ校舎

大宮別所小学校

会長 石川 広之　　校長 塩原 幸代

会員数 637　児童数 772

大宮別所小学校は、さいたま市の最北端に位置しており、校章に梨の花が模られているように梨の生産が盛んな地域にある小学校です。また、宇宙飛行士の若田光一氏が卒業した小学校であり、このことは、子どもたちに夢に向かって一歩を踏みだす勇気を与えてくれています。

本校ＰＴＡは、執行部・総務部・広報部・安全保導部・環境整美部そして学年委員会で構成されており、毎年、様々な事業を行っています。その一つに「文化交流会」があり、科学実験などいろいろな体験を通して、子どもたちの好奇心を刺激する取り組みを実施しています。また、親子が力を合わせて校庭の整備を行う「親子奉仕活動」や地域の方と合同で子どもたちの安全を確保する「夏季巡回パトロール」を実施しています。このような取り組みを通して、我が「別所っ子」が頼もしく成長していくことをサポートしています。今後も家庭・学校・地域が一体となって、子どもたちが笑顔で学び、頼もしく成長していく環境作りに努めてまいります。

年度	PTA会長	校 長
23年度	飯塚 博之	小林 民司
24年度	飯塚 博之	小林 民司
25年度	飯塚 博之	小林 民司
26年度	石川 広之	塩原 幸代
27年度	石川 広之	塩原 幸代
28年度	石川 広之	塩原 幸代



親子奉仕活動



夏季巡回パトロール

泰平小学校

会長 吉田　武　　校長 玉川　徹

会員数 596　児童数 694

泰平小学校は、花と緑と野鳥に囲まれた恵まれた環境の中で、「かしこく　なかよく　たくましく　心ゆたかに」の学校教育目標の実現に向けて、教育活動が行われております。校舎には高齢者福祉施設「さいたま市大砂土デイサービスセンター」が併設されており、日常の交流を通して、思いやりの溢れた心豊かな子どもたちが育っています。

泰平小ＰＴＡは、総務部、広報部、渉外部、ベルマーク部、推薦委員会、地区安全補導部、執行部で構成し、地域の方々、先生方の協力をいただき、保護者である会員とともに、泰平小の子どもたちが安心して過ごせるよう、活動を行っています。

「夢いっぱい　笑顔いっぱい　学びいっぱい　泰平っ子」の姿を目指して、子どもたちが色々な活動に取り組み、成長している様子を身近で見ることができます。積極的に笑顔であいさつする子どもたちとともに成長していきたいＰＴＡです。

年度	PTA会長	校 長
23年度	鈴木 健司	益田 淳子
24年度	鈴木 健司	林　直紀
25年度	吉田　武	林　直紀
26年度	吉田　武	林　直紀
27年度	吉田　武	林　直紀
28年度	吉田　武	玉川　徹



旗振り講習会



デイサービスセンター見学

つばさ小学校

会長 池谷 良太郎　　校長 井原 政幸

会員数 880　児童数 1,126

つばさ小学校は、宮原駅と日進駅の間に位置し、開校８年目になります。

開校当初は、５２４人だった児童数も、今では１，１００人を超え、ＰＴＡ活動も充実しております。

全ＰＴＡ会員が、５つの部に分かれて活動しております。

総務部では、ベルマーク活動に力を入れ、毎年子どもたちのためになる物を贈っております。

文化保健部では、保護者を対象に、講演会を行っております。

広報部では、広報紙「はばたき」を毎学期作成しております。

環境整備部では、資源回収を行い、毎年図書の本を寄贈しております。

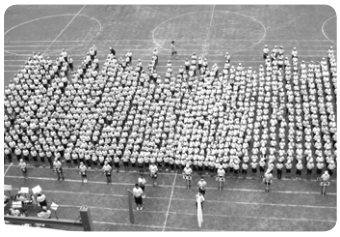
安全部では、運動会・持久走大会での安全活動とパトロールを行っております。

地域との交流も深く、授業の一環で宮原３丁目の方々にみこし体験をさせていただいております。

また、日進七夕まつりでは、子どもたちとボランティアにより、七夕飾りを毎年作成しております。

今後も会員の皆様と楽しく活動しやすいＰＴＡを目指します。

年度	PTA会長	校 長
23年度	磯田　修	近　範子
24年度	磯田　修	鯨井 幹夫
25年度	磯田　修	鯨井 幹夫
26年度	磯田　修	鯨井 幹夫
27年度	磯田　修	井原 政幸
28年度	池谷良太郎	井原 政幸



運動会の様子



２代目赤白マン

日進中学校

会長 山中 誉之　　校長 外園 倫生

会員数 967　生徒数 967

日進中学校は北区の南西に位置し、本年創立７０周年を迎えました。生徒数は９６０名を超える大規模校です。

日進中ＰＴＡは学年委員会・研修部・文化部・環境部・広報部で構成されています。各部の活動の他に、保護者の方々にさわやかモーニング(挨拶運動)やサポーターとして行事の手伝いをして頂いています。

毎年６月にはクリーン活動を行い保護者は校舎を清掃し、子供たちは地域を回ってゴミ拾いをしています。

８月にある日進七夕まつりは学校として、生徒たちが七夕飾りを作成し参加しています。保護者の方と先生方とで両日パトロールもしています。

今後も家庭・学校・地域が連帯し、３年間という限られた時間の中で毎日を大切に日々前進していきたいと思っております。

年度	PTA会長	校 長
23年度	西山　功	須田 義博
24年度	西山　功	須田 義博
25年度	千葉 三文	須田 義博
26年度	千葉 三文	須田 義博
27年度	山中 誉之	外園 倫生
28年度	山中 誉之	外園 倫生



クリーン活動



七夕まつり

宮原中学校

会長 三牧 淳也　　校長 小林 広利

会員数 878　生徒数 952

宮原中学校はさいたま市北区の最北部に位置しています。部活動が大変盛んで、運動部では昨年度男子駅伝チームがさいたま市駅伝徒競争大会で４連覇、県大会では２連覇、関東大会では初優勝、全国大会では５位という輝かしい成績を残しました。水泳部も関東大会に、その他の部活も多数が県大会に出場しました。また、文化部では吹奏楽部が全国大会、合唱部が関東大会に出場するなど生徒一人ひとりが積極的に活動しています。また、地域の方々との交流では毎年宮原まつりに担ぎ手として生徒が参加させていただき、事前に神輿の指導もしていただいております。

宮原中学校ＰＴＡは、執行部・総務部・広報部・生涯学習部・環境整備部・安全部で構成されております。教職員の方々と連携を取りながら学校行事等でのパトロールや講演会の活動など行っております。

年度	PTA会長	校 長
23年度	畔川 清和	村瀬 修一
24年度	畔川 清和	山下 誠二
25年度	畔川 清和	山下 誠二
26年度	原田 博隆	山下 誠二
27年度	原田 博隆	山下 誠二
28年度	三牧 淳也	小林 広利



宮原まつり神輿参加



駅伝関東優勝全国第５位

植竹中学校

会長 浅川 光行　　校長 蓮見　哲

会員数 977　生徒数 980

植竹中学校は、さいたま市北部の静かな住宅街にある緑豊かな学校です。最寄り駅はＪＲ宇都宮線の土呂駅で、学校の西側には「さいたま北部拠点宮原地区」として大型ショッピングセンターのほか区役所・プラザノースがあります。

植竹中ＰＴＡは、総務部・教養部・広報部で構成されており各クラスより１名ずつ選出されています。ＰＴＡ主催の高校見学会を実施し進路決定の参考にしていただいています。また、体育祭・マラソン大会・合唱祭などの学校行事手伝い係として各クラスより数名ずつ保護者の協力をお願いしています。これらの行事には多くの保護者が参加され関心の高さがうかがえます。

学区内の３小学校とスポーツ親睦会や連絡協議会を定期的に開催し、小中連携に努力しています。

家庭はもちろんのこと学校や地域の方と協力しながら日々頑張る中学生を見守り応援したいと思い活動しています。

年度	PTA会長	校 長
23年度	新井 清太	江口 秀夫
24年度	今野 成夫	江口 秀夫
25年度	今野 成夫	板橋 康彦
26年度	高松 正毅	板橋 康彦
27年度	高松 正毅	板橋 康彦
28年度	浅川 光行	蓮見　哲



高校見学会



スポーツ親睦会

泰平中学校

会長 鈴木 健司　　校長 青木　洋

会員数 433　生徒数 463

泰平中学校は芝川に面したところに位置し、泰平小学校、大宮工業高校、泰平保育園が隣接しています。そのため、文化祭、体育大会に小学６年生を招待して中学校の様子を見てもらっています。その他にも大宮工業高校からは体験講座の講師を招き、ものづくりを教えてもらったり、保育園児とのふれあい体験を行ったりと、盛んに交流が行われています。ＰＴＡは、共働き家庭の増加で役員の成り手不足が懸念されています。そこで、入学式後の体育館で、どの役員を何時やるか、３年分まとめて決めることにしました。その結果、各ご家庭での予定が立てやすくなることと、覚悟が決まるため、以前は何時間もかかっていた役員決めが３０分程で決まるようになりました。このようにＰＴＡ活動も、昔のやり方を踏襲せずに、時代に合ったやり方に変えていくように心がけています。

年度	PTA会長	校 長
23年度	若尾三麻子	川鍋 博史
24年度	若尾三麻子	川鍋 博史
25年度	宮下 慎一	甘浦　博
26年度	宮下 慎一	甘浦　博
27年度	鈴木 健司	青木　洋
28年度	鈴木 健司	青木　洋



小学生を招いて体育大会



夏休みの小中合同土チャレ

土呂中学校

会長 島村 道明　　校長 松井　聡

会員数 420　生徒数 451

土呂中学校は、さいたま市北部に位置し、「市民の森」近く自然豊かな恵まれた環境にあります。春には学校の横を流れる芝川沿いの菜の花と街路の桜に三角屋根の校舎がよく映えます。

平成２７年度、創立二十周年を迎えました。創立当初は制服も校章もないなかでのスタートでしたが、「家庭・学校・地域の連携」により今日まで歩みを進めてきました。

土呂中ＰＴＡは、本部・学年部・文化部・環境部・広報部・選考委員会から成り、はぁとふる係・集金係を置いて全会員がＰＴＡの活動に参加しています。体育祭、環境整備、文化祭といった学校行事や土曜チャレンジスクールなど地域の方々の協力をいただきながら、ＰＴＡとして参加しています。文化祭では「はぁとふるマーケット」を開催し、軽食・野菜などの販売や標準服のリサイクル販売は大変好評を得ています。

生徒たちがより広い社会へはばたくための土台作りに貢献できるよう、ＰＴＡとしてできることを着実に行っていきたいと考えています。

年度	PTA会長	校 長
23年度	宮本 英典	大熊 譲一
24年度	宮本 英典	大熊 譲一
25年度	鵜沢　勇	大澤 光子
26年度	鵜沢　勇	大澤 光子
27年度	鵜沢　勇	松井　聡
28年度	島村 道明	松井　聡



給食試食会



はぁとふるマーケット

埼玉大学教育学部附属特別支援学校

会長 堀田 清彦　　校長 尾崎 啓子

会員数 89　児童数 60

本校は、北区日進町２丁目にあり、小学部・中学部・高等部の全６０名の児童生徒が、埼玉県内から徒歩や電車・バスを利用して通う特別支援学校です。日進の商店街の皆様、近隣の皆様に見守っていただき、支援いただきながら、豊かな自立した社会生活をおくることができるように日々学んでいます。

本校ＰＴＡの特色は、父親の会「しいの木林を守る会」です。広報部や文化厚生部としいの木ＮＥＴ（地区別活動）と同じく一つの事業部であり、校内整備作業や親子レクレーションを企画運営します。毎年、日進七夕まつり実行委員会様に教えていただきながら、親子で七夕飾りを作成し、まつりに参加しています。冬のもちつき大会も、日進餅つき保存会様からお借りした臼と杵で子どもたちが餅つきを楽しみ、父親たちが作る豚汁やからみもちに舌鼓をうちます。

様々な地域から通う児童生徒・保護者ですが、学校のある日進の町の皆様に支えていただきながら、児童生徒の笑顔の為に会員が力を合わせて活動しています。

年度	PTA会長	校 長
23年度	片岡 義徳	馬場 久志
24年度	大澤 道一	馬場 久志
25年度	末永 博康	馬場 久志
26年度	大原 久生	尾崎 啓子
27年度	新井 元博	尾崎 啓子
28年度	堀田 清彦	尾崎 啓子



七夕飾り作り



もちつき大会

大宮区連合会



1	大宮小学校
2	大宮東小学校
3	大宮南小学校
4	大宮北小学校
5	桜木小学校
6	三橋小学校
7	大成小学校
8	芝川小学校
9	上小小学校
10	大宮東中学校
11	大宮南中学校
12	大宮北中学校
13	桜木中学校
14	三橋中学校
15	大成中学校
16	第二東中学校

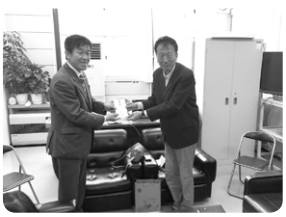
年度	歴代区連会長
23年度	山田 祐司
24年度	山田 祐司
25年度	石原 啓一
26年度	河原 友香
27年度	川田 祐弘
28年度	小川大二郎

大宮区連合会は、大宮駅を中心とした小・中１６校で構成されています。

繁華街、商業都市から氷川神社、そして多くの公園に囲まれた歴史ある大宮、ここ数年で開発された東口には巨大なマンションが立ち並び新しい世帯が急速に増えました。各校の会長も若返りが進み３０代も多く在籍しております。大宮区連合会の特徴としては、３・１１以降に始まった「絆缶プロジェクト」毎月アルミ缶を各校で回収しリサイクル業者様に買い取ってもらい、被災した岩手県大槌学園への義援金を届ける活動を行っております。また、大宮区ふれあい祭りでは子供達の笑顔が見えるプロジェクトとして、模擬店を出店し、各校の副会長をはじめ多くの保護者の方々に協力して頂き、綿あめやフランクフルト、カキ氷販売、駄菓子釣り等で毎年賑わっております。

年２回「校長会長会」各校の校長・会長が親睦を深めるために、６月１２月に開催されます。第１回目は大宮区長を講師として招き、第２回目は各分野で活躍されている講師を招いて講演会、普段なかなか話すことが出来ない、他校の校長先生と交流を深めることで大宮区全体の問題や、教育委員会との関わり、これからの学校教育等、私どもＰＴＡ会長も多くの事を学ぶ大切な機会となっております。また、氷川神社が学区内にあり十日町や初詣、夏祭りで大変賑わう場所だからこそ、青少年育成会とタッグを組み防犯パトロールにも力を入れています。


大宮区連合会


大槌学園訪問



大宮区民ふれあいフェア


会長校長会

大宮小学校

会長 平山 健介　　校長 西川 和利

会員数 443　児童数 541

大宮小学校は、ＪＲ大宮駅に近く市の中心街に位置しておりますが、校庭も広く、氷川神社の参道にも面しており、都市と緑が融合した環境にあります。

大宮小ＰＴＡは、学級学年部・広報部・文化安全指導部・総務部で構成されています。子供たちのよりよい学校生活の実現の為に、学校・地域・ＰＴＡが三位一体となって活動しております。特に地域の方々の協力的な姿勢が当校の特色かと思います。地域全体で子供たちを見守って頂いており、都心部でありながら安全で暖かい雰囲気の中で学校生活ができております。

夏には父親たちが主催するパパスクラブのイベントがあり、毎年１５０名前後が参加します。特に夜の校舎を使って実施されるお化け屋敷は大好評です。その他、各自治会の子供会活動や、社会福祉協議会主催のふれあいのつどい、中部地区運動会等、地域の行事に積極的に子供たちも参加しており、３世代交流と地域交流が実現しております。

年度	PTA会長	校 長 名
23年度	佐藤　実	石塚 清司
24年度	横山千恵子	今村 信哉
25年度	横山千恵子	今村 信哉
26年度	横山千恵子	今村 信哉
27年度	横山千恵子	西川 和利
28年度	平山 健介	西川 和利



パパスイベントの様子



缶積をする子供たち

大宮東小学校

会長 星野 政治　　校長 星 美千也

会員数 587　児童数 762

大宮東小学校は、近隣に大宮公園・第二公園・第三公園と緑が多く、大宮図書館や市立博物館など学習の場にも恵まれております。

大宮東小学校ＰＴＡは、執行部・総務部・広報部・校外保導部・選考委員会で活動しており、年５回の広報紙「ひがし」の発行・東っ子リサイクルデー・地区懇談会・ＰＴＡ文化活動・親子で行う東小クリーンデー・安全懇談会などを行っています。今年度は学区内の「子どもひなん所１１０番の家」や安全に注意が必要な箇所が記載された「東小あんぜんマップ」を一新しました。

防犯パトロールを行い、学校・家庭・地域のみなさんと協力しながら、子ども達が安心して通える学校を目指しています。安全をより一層守りつつ、楽しく伸びやかな環境づくりを行ってまいります。

年度	PTA会長	校 長
23年度	岩田 尚明	佐藤 博志
24年度	岩田 尚明	中山 正一
25年度	岩田 尚明	中山 正一
26年度	鈴木 隆之	星 美千也
27年度	鈴木 隆之	星 美千也
28年度	星野 政治	星 美千也



大宮東小校舎



防犯活動（登校時）

大宮南小学校

会長 横田 松博　　校長 駒宮 寿夫

会員数 523　児童数 651

大宮南小学校は、大宮区の南に位置し、近くにはさいたま新都心や氷川参道があり、開発が進みながらも近傍に緑もある環境に位置します。

大宮南小学校ＰＴＡは、学年部・文化教養部・広報部・環境部・校外指導部・選考・執行本部から構成されています。活動内容としては、通常ＰＴＡ活動・地域事業との連携のほか、ＰＴＡ会員のコミュニケーションの充実を目的とした様々な講師による講習会、手話や書道などの勉強会なども盛んです。

また委員以外の方にも「お手伝い係」として、各行事への参加のほか年３回学校内の水回りや体育館などを徹底的に清掃する「ピカピカ隊」活動など全員参加のＰＴＡを目指しています。ほか子どもへの活動として、将来への夢を育む授業「夢育」という講演会を開催しております。近年ではＥＣＯ実験パフォーマー「らんま先生」、児童書作家「杉山亮先生」など著名な講師をお呼びし、子ども達や学校とともに楽しみながら一緒に勉強し活動しています。

年度	PTA会長	校 長
23年度	河原 友香	鈴木　薫
24年度	大塚 康宏	鈴木　薫
25年度	大塚 康宏	新井 英人
26年度	藤井 健志	新井 英人
27年度	横田 松博	新井 英人
28年度	横田 松博	駒宮 寿夫



夢育授業



ピカピカ隊

大宮北小学校

会長 米山 昌利　　校長 髙村 達夫

会員数 223　児童数 276

大宮北小学校は大正４年に大宮尋常高等小学校北分教場として開設、昭和４年に大宮北小学校として独立し、平成３０年には創立９０周年を迎える歴史ある学校です。

本校は現在、市内で唯一ヘルメット着用での登下校をしており、これは登校時の交通事故を機に昭和４８年から始まりました。その後、交通事故は発生しておりませんが、今後は地震災害にも備えられるようにと、防災ずきんよりも頑丈なヘルメットの使用を続けていく事となりました。

また、本校児童数は２７６名と少ないため、ＰＴＡ単独での活動は非常に難しい状況なのですが、北地区体育振興会様、青少年氷川地区会様等、地域の皆様からの絶大なるご支援・ご協力のお陰様で子ども達が安心・安全・楽しく学校生活を過ごせております。学校―ＰＴＡ―地域と、三位一体となって子ども達を支えていく。これが本校一番の自慢であり、今後も大切にしていきたい伝統です。

年度	PTA会長	校 長
23年度	押田 昌敏	名倉 稔夫
24年度	波多野 裕	名倉 稔夫
25年度	波多野 裕	山元誠一郎
26年度	波多野 裕	山元誠一郎
27年度	米山 昌利	山元誠一郎
28年度	米山 昌利	髙村 達夫



登校時の様子



夏休み子どもの集い

桜木小学校

会長 清水目 修一　　校長 小林 幹也

会員数 418　児童数 485

桜木小学校は、大宮駅西口の商業ビル一帯を含む学区を有し、今年開校１１４年を迎えた歴史と伝統のある学校です。

桜木小ＰＴＡには、保護者全員に何かしら１つの協力をしていただく『わくわくワーク』と呼ぶボランティア活動があります。

この活動で、学年学級ＰＴＡ・環境安全部・保健文化部の役員が主導で、草取り、落ち葉はき、ベルマーク収集活動、各教室のカーテン洗濯を実施しています。

そして桜木小ＰＴＡ活動の中で最も大きな行事が『Ｅｎｊｏｙさくらぎ』と同時開催の『親善競技インディアカ大会』です。

これは、子どもたちが大縄跳び大会をやったり用意した催し物で過ごしている間、インディアカ大会では先生方にも参加していただき、保護者の親睦を深める場ともなり大変盛り上がります。

他にも『サクパパ』と呼ばれる父親の組織もあり、ＰＴＡと連携して運動会や地域のイベントに協力しております。

年度	PTA会長	校 長
23年度	川田 祐弘	宮田 正己
24年度	川田 祐弘	宮田 正己
25年度	遠藤 孝明	宮田 正己
26年度	遠藤 孝明	小林 幹也
27年度	松本 健一	小林 幹也
28年度	清水目修一	小林 幹也



ＰＴＡ親善競技インディアカ大会



わくわくワーク・草取り

三橋小学校

会長 松本 清孝　　校長 宮原　孝

会員数 893　児童数 1,071

三橋小学校は明治２２年に開校し、１２８年間で卒業生の総数は１９，７９５名に達しています。今年度の児童数は１，０７０余名で、長い伝統に培われた温かい雰囲気に包まれ地域の方々に見守られています。

学校では、教育目標に『コミュニケーション』を加えるとともに『ていねいに字を書く・ていねいに話を聴く』ことに重点を置き学力向上の成果を上げています。

三橋小ＰＴＡは昭和３年に保護者会として設立し、昭和２３年にＰＴＡに改称し今に至っています。昭和６３年には文部大臣賞を受賞しました。

現在は学年・総務・文化保健・広報・環境安全の各委員会と本部で広範に活動しています。特徴を挙げれば全家庭による登校時の見守り、年６回の校内美化、芸術鑑賞会(昨年度は雅楽、本年度は弦楽四重奏)などがあります。

今後は１３０周年を経て一層、校歌の如く「照る日も雨も元気で」「学んできたえて」「あらたな日本に光そえる」児童の成長を応援してまいります。

年度	PTA会長	校 長
23年度	吉田 淑子	小谷野正嗣
24年度	吉田 淑子	松本　勝
25年度	吉田 淑子	松本　勝
26年度	松本 清孝	松本　勝
27年度	松本 清孝	宮原　孝
28年度	松本 清孝	宮原　孝



桜と青空の美しい学校



児童のために校内美化

大成小学校

会長 廣澤 宣明　　校長 石田 耕一

会員数 770　児童数 963

大成小学校は鉄道博物館のほど近く、中山道(国道１７号)傍にある、地域と共に歩んできた歴史ある学校です。ニューシャトルの駅には鉄道博物館(大成)と以前の駅名が副称で表記されているのをご存知でしょうか。

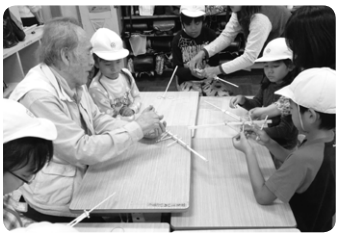
大成小ＰＴＡは、執行部・総務部・成人教育部・広報部・保健衛生部・交通安全対策部・防犯対策部・各学年委員会で構成されています。学校・家庭・地域が一体となって取り組む「いきいき・ときめき・ふれあい祭り」が毎年秋に行われ、割りばし鉄砲やブーメラン、ティーバッティングなど数多くの種目を通じて、学年を超えた子どもたち同士の関わりや、地域の皆さまとの絆を強めています。

年度	PTA会長	校 長
23年度	上原　真	菊池 悦男
24年度	加藤 剛健	菊池 悦男
25年度	加藤 剛健	菊池 悦男
26年度	野瀬加代子	石田 耕一
27年度	野瀬加代子	石田 耕一
28年度	廣澤 宣明	石田 耕一

さいたま市では数少ない、いわゆる一小一中の中学校区となっていることから、大成中ＰＴＡとの連携も重視しています。学校とベクトルを合わせ、地域の皆さまと協力しながら、子どもたちが楽しく生き生きと学べる環境づくりを目指して、明るいＰＴＡ活動を引き続き進めて参ります。



昨年のふれあい祭りの様子


人気の割り箸鉄砲

芝川小学校

会長 小川 大二郎　　校長 石川 顕一

会員数 585　児童数 684

本校はさいたま市のほぼ中心にあります。大宮駅を中心とする人が多く集まる地区の東側周辺に位置する閑静な住宅街が学区です。また、近くには大宮公園や氷川参道、見沼田んぼ、その中央を流れる芝川など自然環境に恵まれています。

この自然環境を生かし、昭和５４年、ホタルの飼育活動を取り入れた教育活動を開始しました。それから３５年以上の月日が経ちますが、ホタルの飼育開始に当たり、お力添え頂いた関係者の皆様の思いが、今日まで受け継がれています。

お蔭様で、「ホタル」が、本校の誇りとして、また、シンボルとして根付いています。６月上旬の「夜のホタル観賞会」には毎年１，０００人を超える方々が来校し、癒しの輝きを楽しんでいます。また、今年度より「おやじの会」が主催で、夏休みの登校日を設け校庭でキャンプファイヤーを行いました。

年度	PTA会長	校 長
23年度	石原 啓一	大澤　毅
24年度	石原 啓一	大澤　毅
25年度	小川大二郎	藤澤美智子
26年度	小川大二郎	藤澤美智子
27年度	小川大二郎	藤澤美智子
28年度	小川大二郎	石川 顕一


キャンプファイヤー



ホタル観賞会

上小小学校

会長 工藤 威人　　校長 小林 真理子

会員数 411　児童数 476

大宮区の南西部にある上小小学校は、今年で創立４２周年を迎えます。ＰＴＡも学校開校当初から活動しています。ＰＴＡの活動は子供たちの登下校の見守り登校班編成、校門立哨での声掛け運動、広報紙の発行、学校内の清掃環境整備など多岐に渡ります。子供たちの笑顔の為に、保護者と教職員のより良い関係の為に、子供たちが学ぶ学校の環境を少しでも過ごし易くするため、日々保護者と教職員の皆さんとで活動しています。

ＰＴＡ最大のイベントが、１１月に行われます「フェスタかみこ」です。いつもは何かを学んだり頑張っている学校で、子供たちにゲームコーナーや体験コーナーで楽しんでもらおうと、ＰＴＡが地域の皆様の協力のもと、開催しています。保護者にとっても子供たちの学校での様子を知る良い機会になっています。

地域のイベントにもＰＴＡとして協力していて、学校・家庭・地域が連携して子供たちが健やかに成長していけるような環境を作っています。

年度	PTA会長	校 長
23年度	小川 浩一	矢部 一夫
24年度	工藤 威人	矢部 一夫
25年度	工藤 威人	矢部 一夫
26年度	工藤 威人	矢部 一夫
27年度	工藤 威人	小林真理子
28年度	工藤 威人	小林真理子


下校の見守り


フェスタかみこ

大宮東中学校

会長 千野 博規　　校長 上亟 啓介

会員数 412　生徒数 410

大宮東中学は、大宮駅東口から中仙道、氷川参道を中心とする市街地に位置し、最近では駅前を中心にマンションの建築も多く生徒数が増加傾向にあります。

また、本年は創立７０周年を迎え、秋には地域の関係者、歴代の先生やＰＴＡ役員、保護者の方々を招待して記念式典を開催しました。

東中ＰＴＡは、総務部・広報部・厚生部・育成部の４組織で構成され、生徒の学校生活をサポートするため、地域・保護者・教職員と一体となり密接な関係を築き活動を継続しています。特に、青少年育成会議、社会福祉協議会、体育振興会等の組織との協力関係も強く、教育意識だけでなく地域への参加意識が高い保護者も数多くいらっしゃいます。

年度	PTA会長	校 長 名
23年度	堀田 敏広	金子 有哲
24年度	堀田 敏広	山田 健一
25年度	佐藤　実	山田 健一
26年度	佐藤　実	山田 健一
27年度	千野 博規	上亟 啓介
28年度	千野 博規	上亟 啓介

「土曜チャレンジスクール」では、校長・教頭・コーディネーターの先生、ＰＴＡのＯＢ・ＯＧ、卒業生の大学生等が中心に、勉強だけでなく陶芸教室・茶道教室・そば打ち等多種多様なプログラムを実施しています。

そして、最も頼りになる先生方の気合は写真でご確認ください。



チャレンジスクール茶道教室



先生方の気合いです

大宮南中学校

会長 藤井 健志　　校長 永妻 恒男

会員数 283　生徒数 274

さいたま新都心駅の東側徒歩約８分に位置する大宮南中学校。大型ショッピングモールをはじめとした、利便性、回遊性が高い地域を徒歩圏内に包括する一方で、学校は閑静な住宅街に囲まれ、温かい地域の方々に恵まれた、生活にも教育にも素晴らしい環境が整っています。

潤いある心の成長や、防犯、不法投棄抑止のため、環境整備や美化活動に力を入れており、花と緑にあふれた環境を、保護者、教職員、地域の方々、そして子供達が一緒になって育んでいます。作業には大変な手間がかかりますが、皆で楽しみながら達成する喜びを共有できる大変有意義な活動で、現在は県の「みどりの活動支援補助事業」にも採択されております。

年度	PTA会長	校 長 名
23年度	岩戸 一郎	井上　馨
24年度	岩戸 一郎	井上　馨
25年度	河原 友香	中村 秀男
26年度	河原 友香	中村 秀男
27年度	駒林 千春	永妻 恒男
28年度	藤井 健志	永妻 恒男

高校見学会や地域の方々に主催していただく部活動体験など、この他にも多くの特徴ある活動がありますが、一番の自慢は「絆」です。今を生きる私たち、将来を担う子供達の笑顔のために、これからも「絆」を大切にしてまいります。



環境整備活動の様子



ＰＴＡ主催高校見学会

大宮北中学校

会長 押田 昌敏　　校長 荻田　哲男

会員数 370　生徒数 353

本校は昭和２４年に開校し、「歴史を紡ぐ歌声ひびく大宮北中」として合唱が大変盛んな、伝統ある学校です。県立大宮公園に隣接し、周辺には、氷川神社、県立歴史と民族の博物館、市立博物館、大宮図書館、漫画会館や、県営大宮球場、ＮＡＣＫ５スタジアム大宮等、自然や学習に恵まれた環境にあります。

大宮北中ＰＴＡは、執行部・学年学級部・事業部・広報部・推薦委員会・協力員で構成されております。生徒の部活動は同好会という組織で運営し、ＰＴＡ正副会長が同好会監事、同好会正副会長がＰＴＡ相談役として協力しあっております。例年、ＰＴＡ主催で保護者の高校見学会を開催し、アンケートに基づき計画し、バス２台で３校を見学しております。また、秋から冬にかけ落ち葉が大量に舞い散りますので、生徒会や地域の方と協力し、学校内外の落ち葉掃きを実施しております。今後も、先生方・地域の方・同好会・生徒会等と協力しながら、今までの伝統を超えられるような素晴らしい学校づくりに貢献できればと思います。

年度	PTA会長	校 長
23年度	風間 裕子	佐藤　薫
24年度	風間 裕子	脇田 茂雄
25年度	押田 昌敏	脇田 茂雄
26年度	押田 昌敏	脇田 茂雄
27年度	押田 昌敏	荻田 哲男
28年度	押田 昌敏	荻田 哲男



高校見学で頂いた給食



落ち葉掃きの様子

桜木中学校

会長 遠藤 孝明　　校長 田代 敏生

会員数 437　　生徒数 436

桜木中学校は、創立から７０年を迎える歴史ある学校です。今年はそのメモリアルで、県内はもちろん関東でも指折りの音楽イベントの聖地・大宮ソニックシティで合唱祭を敢行します。子どもたちはもちろん、保護者も熱の入る桜木中学校の合唱祭は、元々注目度が高い行事ですが、今年は更に熱が入りそうです。

また、桜木中学校は、県内でも随一の商業集積地である大宮駅西口地区に位置しており、前出の大宮ソニックシティも学区内にあります。ＰＴＡとしても、中心市街地に立地しているという特性から、校外での活動は、地域で子どもたちを守るためのパトロール活動への協力が多くなっています。

年度	PTA会長	校 長
23年度	千葉 直樹	大越 一廣
24年度	千葉 直樹	大越 一廣
25年度	千葉 直樹	大越 一廣
26年度	川田 祐弘	田代 敏生
27年度	川田 祐弘	田代 敏生
28年度	遠藤 孝明	田代 敏生

現在、学区内では、大宮駅の西口で区画整理事業が進められており、まちの様子も日々刻々と変化していますが、そうした変化の中でも、子どもたちに与える様々な影響に注意して活動に取り組んでいこうと考えています。



合唱祭



校内を巡回

三橋中学校

会長 吉田 淑子　　校長 渡部 隆男

会員数 495　　生徒数 512

昭和２２年創立の歴史ある学校です。鉄道の要「大宮駅」から西に約２ｋｍ、閑静な住宅地に位置し、学校教育目標「ゆたかに　たくましく　かしこく」の達成に向け、教職員・生徒・保護者・地域が手を取り合い、教育活動を展開しています。今年度は、創立７０周年を迎えました。

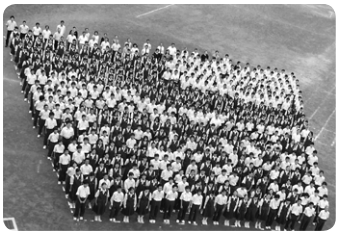
標準服リサイクル活動は、三橋中ＰＴＡの中でも活発な活動のひとつです。年に４～５回行われ、毎回開場前から行列ができるほどです。

三橋中ＰＴＡの今後の目標は、時代の流れに沿った、コンパクトでより充実した活動にすることです。生徒の安心安全を第一に考え、地域に支えられているということを常に念頭に置いて活動しなければいけない、ということを呼びかけていきます。

年度	PTA会長	校 長
23年度	柳田 英樹	根岸 次郎
24年度	柳田 英樹	根岸 次郎
25年度	武笠 辰彦	根岸 次郎
26年度	武笠 辰彦	渡部 隆男
27年度	武笠 辰彦	渡部 隆男
28年度	吉田 淑子	渡部 隆男



標準服リサイクルは、毎回大好評



７０周年記航空写真

大成中学校

会長 佐藤　　修　　校長 千葉 和博

会員数 444　　生徒数 475

大成中学校は開校から７０年あまりの歴史のある中学校です。さらにずっと遡ると普門院の歴史と重なり陣屋跡であったようです。現在は大成小学校と共に小中一貫モデル校となっており、両校の教壇に立つ先生もいらっしゃいますし、父親倶楽部と小中学校の先生方でのソフトボール大会や、保健委員会・講習会など小中合同のＰＴＡ活動も活発に行われています。また中学生が小学校に本の読み聞かせや授業を、小学６年生が中学校の部活動体験を、小中学生が一緒に大成ビクスを楽しむなど交流イベントも多数あります。これらのことは中学生にとっては先生方の大変さが多少なりとも感じられたり将来の夢に繋がる子もいるようでとても良い体験になっていると思います。小学生にとっては中学生との交流が中一ギャップの軽減に繋がるのではと期待しています。私たちＰＴＡも大成中学校のことをもっと知ってもらいたいと数年前から大成小学校の５～６年生に広報紙「ＯＮＡＲＩ」を届けています。

夏休み中には恒例の登校日があり、先生・生徒・ＰＴＡ・父親倶楽部の皆で「除草作業」を行い、心も校内もクリーンにして２学期を迎えます。

年度	PTA会長	校 長
23年度	丹野 雅巳	小島 健司
24年度	御手洗 輝	小島 健司
25年度	佐藤　修	小林 俊雄
26年度	佐藤　修	小林 俊雄
27年度	佐藤　修	小林 俊雄
28年度	佐藤　修	千葉 和博



大成ビクス



除草作業

第二東中学校

会長 佐藤 佳苗　　校長 味澤 博昭

会員数 551　　生徒数 549

第二東中学校は、昭和６０年４月に大宮市立東中学校、片柳中学校、大谷中学校より分離して開校。今年度創立３２年目となります。当時は千人を超える生徒が通うことが想定され、県内最大級のゆとりを持った校庭と施設が整備されました。この環境が、子どもたちの大らかで穏やかな性格に繋がっていると思われます。

ＰＴＡは中学校らしく、保護者に過度の負担とならぬよう時代に合わせて、組織や活動内容が改善されてきました。現在の主な事業内容は、給食試食会・高校訪問・広報紙発行・除草活動・あいさつ運動・部活の後援活動・選考活動などです。またここ数年は制服リサイクル活動が特に盛況です。

年度	PTA会長	校 長
23年度	中村 信市	會田 洋一
24年度	中村 信市	會田 洋一
25年度	石原 啓一	會田 洋一
26年度	石原 啓一	味澤 博昭
27年度	石原 啓一	味澤 博昭
28年度	佐藤 佳苗	味澤 博昭

中学は思春期を迎え、子どもの口数が少なくなりがちな年頃。親同士や先生との情報交換は学校に足を運んだからこそ得られる貴重な機会と捉える前向きな保護者も増えています。今後も皆で知恵を出し合いながら、より良い学校教育のサポートに努めていきたいと思っております。



レッツジョインクリーン活動の様子



アルミ缶回収も生徒会と協力して




















さいたま市ＰＴＡ協議会大宮区連合会






さいたま市ＰＴＡ協議会大宮区連合会










さいたま市ＰＴＡ協議会 創立15周年記念
教育委員会との交流祝賀会


第48回 日本ＰＴＡ
関東ブロック研究大会
茨城大会 第１分科会 会場





見沼区連合会



1	大砂土東小学校	10	海老沼小学校
2	見沼小学校	11	春野小学校
3	片柳小学校	12	大砂土中学校
4	七里小学校	13	片柳中学校
5	春岡小学校	14	春里中学校
6	蓮沼小学校	15	七里中学校
7	大谷小学校	16	大谷中学校
8	島小学校	17	大宮八幡中学校
9	東宮下小学校	18	春野中学校

年度	歴代区連会長
23年度	船木まさこ
24年度	船木まさこ
25年度	平田 昭臣
26年度	平田 昭臣
27年度	岩田 哲也
28年度	鈴木二美子

◆区連の特徴

見沼区連合会は小学校１１校・中学校７校、計１８校で「絆」をテーマに年間を通して活動しております。会長どうしの絆はもちろん、校長先生との絆や各単会の副会長との絆についても大切にし、多くの人と情報交換が出来る環境づくりを心掛けております。

◆自慢の事業

【会長会】 市Ｐ協からの伝達事項や各単会の問題について情報共有し、また、先輩会長からの問題解決に向けたアドバイスをもらえる場となっております。

【校長・会長会】 教育委員会などより講師をお招きして、学校での子どもたちの問題などについて学び、校長先生と親睦を深め情報交換を行っております。

【正・副会長会】 区連の正副ではなく、１８校それぞれの会長・副会長が一堂に会し、成人教育を行うとともに、それぞれが抱えている問題について情報交換を行う機会となっております。

【ふるさと見沼絵画展＆ウルトラクイズ】 子どもたちが描いた見沼区をテーマにした絵画を区民まつりで区役所に展示します。また、ステージでは見沼区に関わるクイズをおこない、子どもたちの笑顔に直接触れる機会となっております。

【コーラス祭】 毎年１２月に開催される市Ｐ協も後援しているコーラス祭に見沼区は１８校の会長・校長でチームとなり参加しております。恥ずかしくないコーラスを発表できるよう、３～４回の練習会を行います。

【親善ビーチボールバレー大会】 各単会で１チームずつ出し合い単会対抗のビーチボールバレー大会です。メンバーは役員のみならず、先生やお父さん、経験者もＯ.Ｋなので、思わず夢中になってしまう大変盛り上がる親善大会となっております。


ビーチボールバレー大会


コーラス祭


ふるさと見沼絵画展

大砂土東小学校

会長 伊藤 一久　　校長 小堺 新一

会員数 966　児童数 1,147

大砂土東小学校は、学校のシンボルでもある松の木や桜の木をはじめ、多くの木々があります。そして四季折々に花々に囲まれた環境の中で、１，０００名を超える子どもたちが、日々学校生活を送っております。

大砂土東小ＰＴＡは、専門委員会(環境美化・成人教育・広報・保健厚生・保導・松の子まつり)と学年委員会を設置し、各分野がそれぞれの視点に立って子どもたちのための活動を行っております。なかでも毎年１０月に開催している「松の子まつり」は、保護者や教職員はもちろん、地域のスポーツ団体や青少年育成大砂土東地区会等の地域の方々とも連携してバザーやゲームコーナー、食品販売を行い、普段の生活では味わうことのできない場を提供することで、毎年子どもたちの笑顔が学校全体に広がっています。

今後も、「心ひとつに力を合わせて子どもたちの未来を創ろう」の活動方針の下、子どもたちのための活動を行ってまいります。

年度	PTA会長	校 長
23年度	山岸 公昭	高後　仁
24年度	新田 芳万	高後　仁
25年度	新田 芳万	高後　仁
26年度	小林　誠	杉山浩一郎
27年度	小林　誠	杉山浩一郎
28年度	伊藤 一久	小堺 新一



松の子まつりの様子



バザーの様子

見沼小学校

会長 川名 恵子　　校長 大澤　淳

会員数 366世帯　児童数 434

多様な樹木と芝生のグラウンド、緑豊かな見沼小学校は子どもたちの元気な「あいさつ」と、「地域の連携」が自慢です。

地域の方々とは、秋の青少年育成大砂土東地区会との事業の際、焼きいもを行い、心もお腹も温まる一日を過ごさせていただいています。“みぬまっ子”たちは自治会対抗の運動会で恩返しとばかりに自治会のために力を発揮します！

ＰＴＡでは特に安全面に力を入れており、保護者全員輪番で毎日下校パトロールを行い防犯に努めています。パトロールを行うことで自分が知らない道や、子どもの遊び場情報を知ることに繋がっています。

毎年行うＡＥＤ講習会は、多くの方々が受講されています。保護者が講習を受けることで他人を思いやる意識や社会の役に立つという姿勢を子どもたちに伝えられていると感じています。これからも地域の担い手として熱い期待を寄せられている“みぬまっ子”たちが健やかに成長していけるよう力を尽くします。

年度	PTA会長	校 長
23年度	鵜沢　勇	木村富美代
24年度	鵜沢　勇	井出 了一
25年度	峯岸　浩	井出 了一
26年度	前原　徹	井出 了一
27年度	前原　徹	大澤　淳
28年度	川名 恵子	大澤　淳



レッツ・ジョインクリーン活動



ＡＥＤ講習会

片柳小学校

会長 坂東　敦　　校長 佐々木 清隆

会員数 446　児童数 572

片柳小学校は、明治６年５月創立し１４３年の歴史を持つ、見沼区で２番目に古い学校です。校区には、見沼田んぼもあり自然豊かで四季を肌で感じることのできるところです。また校区が非常に広いため一部地域の子供たちは、路線バスを使用し登下校しております。片柳小学校ＰＴＡは、昭和２２年１２月に結成されこれも歴史のあるＰＴＡになっております。組織は、地区委員会・保健教養委員会・広報委員会・総務委員会・学年委員会で運営委員会を構成し運営しております。ＰＴＡ活動のイベントは片小バザーがあります。総務委員会が中心となり、すべての委員会・教職員が協力し体育館・グランド・片小ホールに模擬店やゲームコーナーつくり、をまた、老人会の協力でグランドゴルフの体験・指導を行っていただいております。大勢の保護者・子供・地域の方が集まるイベントなので地域の交流の場となっております。その他でも天王様の夏祭り・ふるさと発見祭りなど地域のイベントにもＰＴＡが協力しております。今後も片柳を愛する「やなぎっ子」がよりよい環境で育つよう活動していきます。

年度	PTA会長	校 長
23年度	原　賢治	関根 敏博
24年度	原　賢治	関根 敏博
25年度	佐々木雅治	若林　茂
26年度	佐々木雅治	若林　茂
27年度	坂東　敦	佐々木清隆
28年度	坂東　敦	佐々木清隆



やなぎっ子銅像



片小バザー

七里小学校

会長 平田 昭臣　　校長 丸山 雅夫

会員数 354　児童数 420

七里小学校は、明治５年に風渡野学校として開校し今年で創立１４５周年を迎えました。

七里小学校ＰＴＡは、本部・文化部・広報部・環境保健部・全学年部で構成し【子どものために】をスローガンに明るく楽しい活動を行っています。

またおやじの会（ＮＯＡ）を７年前に立ち上げ、女性では大変な力仕事やＰＴＡ活動のサポートをお父さん方にご協力していただいています。今では３０人ほどのお父さんに加入していただき、活動を面白く・楽しくサポートをしています。

ＰＴＡ行事のメイン活動である七里小バザーでは、先生・本部・各部・おやじの会・地域の方々が中心となり、模擬店・提供品販売・ゲームコーナーなどを出店して、保護者、子どもたちが楽しく過ごせる場を提供しています。

他にも春に開催するクリーン活動、秋に開催するさつまいも収穫祭をはじめ年間を通して家庭・学校・地域が連携して子どもの健全育成を見守る活動を行っています。

年度	PTA会長	校 長
23年度	平田 昭臣	眞嶋 廣久
24年度	平田 昭臣	永井 利昭
25年度	平田 昭臣	永井 利昭
26年度	平田 昭臣	丸山 雅夫
27年度	平田 昭臣	丸山 雅夫
28年度	平田 昭臣	丸山 雅夫



提供品・遊びコーナーの様子



模擬店の様子

春岡小学校

会長 中吉 由貴　　校長 藤田 昌一

会員数 870　児童数 1,057

春岡小学校は今年創立１２７周年を迎える歴史と伝統ある学校です。「学校大好き。学校に行くのが待ち遠しい。」と思う児童で溢れるような学校になるようにとご尽力くださる先生方と地域の皆様に支えられながら、私たちＰＴＡは「Ｅｎｊｏｙ！ＰＴＡ～後ろ姿で育てよう！笑顔の春っ子～」をスローガンに、子どもたちの周りで笑顔と汗の輝く活動をしています。

ここ数年で特に力を入れているのが「安心・安全」に関わる活動です。児童数１０００人を超える大規模校であることをいかし、たくさんの目で子どもたちを見守ろうと、全家庭への防犯ベスト配布を２０１４年度から始めました。旗振りやパトロールの時だけでなく、行事等で来校する際にも着用をお願いしています。学校周辺のみならず、いろいろな場所・時間帯にベストを着用して地域内を移動することで、より安全で安心な街づくりに貢献しながら子どもたちを犯罪から守ってゆく強い意志をアピールしています。

あいさつの響く春岡、花咲く春岡で、これからも知恵と力を出し合って子どもたちが明るくのびのび育つのを応援していきます。

年度	PTA会長	校 長
23年度	相澤 秀行	五十嵐友一
24年度	中吉 由貴	渡邊 朋久
25年度	中吉 由貴	渡邊 朋久
26年度	中吉 由貴	渡邊 朋久
27年度	中吉 由貴	渡邊 朋久
28年度	中吉 由貴	藤田 昌一



引取り訓練ベスト着用



ボランティア本の種まきさん

蓮沼小学校

会長 宮澤 隆仁　　校長 星野 好男

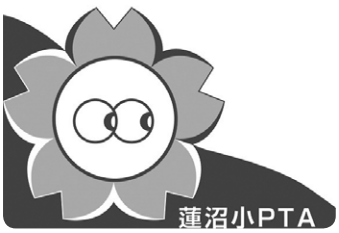
会員数 661　児童数 778

本年度開校４３周年の蓮沼小学校は、周辺に区役所や武道館がある見沼区の文教地区に位置します。『ふくろうの巣箱』と桜の花が迎えてくれる学校です。児童は《蓮沼しぐさ》と《３つの合言葉》を胸に、優しく、笑顔と元気なあいさつが飛び交う学校です。学年をこえた交流活動も盛んです。ファンタジーバンドは、開校当時からあり、学校行事・地域行事等で活発に活動し、地域に親しまれています。全国大会では金賞（２２年度）を頂きました。駅伝や硬筆など様々なことに真剣に取り組んでいます。３７回を数える『地域のつどい』は、ＰＴＡが、関係自治会・区役所・警察他諸団体とともに子供たちの、より良い環境に向け、協議・連携しています。他に保護者が校舎内外のパトロール、懇談会時の児童預かり、図書・ソーイング・防犯ボランティア、ゴジラの会などに取り組んでいます。２２年度には、優良ＰＴＡ文部科学大臣表彰を頂きました。教職員、保護者、地域の絆を深め、一体となり、子供たちが、安心安全、楽しい蓮沼小学校を目指しています。

年度	PTA会長	校 長 名
23年度	宮澤 隆仁	須郷 恵子
24年度	宮澤 隆仁	須郷 恵子
25年度	宮澤 隆仁	須郷 恵子
26年度	宮澤 隆仁	星野 好男
27年度	宮澤 隆仁	星野 好男
28年度	宮澤 隆仁	星野 好男



40周年記念モニュメントふくろうの巣箱



ふれあいパネル

大谷小学校

会長 小松　晋　　校長 冨澤 秀行

会員数 861　児童数 1,131

大谷小学校は見沼区のほぼ中央に位置し、緑豊かな地に開校しました。

昨年創立４０周年を迎え、航空写真を記念に撮りましたが１０周年記念の航空写真と比べると学校の周りの緑は減り、近年住宅が急激に増えてきました。

大谷小保護者と教職員の会（ＰＴＡ）は、本部・総務部・文化部・広報部・地区環境部の５つの専門部から構成されており、他にも親父の会などたくさんの会員の方々と～子どもたちの笑顔があふれる学校生活のために～を目的に楽しく活動しています。

大谷小ＰＴＡでは毎年「ＰＴＡ大谷小ふれあいフェスタ」を開催しており、保護者、地域の方にもクラブ発表を通して日ごろの子どもたちの練習の成果を見ていただいております。また、今年は近隣の中学校・高校の演劇部・吹奏楽部・ソングリーディング部をお招きし、中・高との連携を図りました。

会員のみなさんとも親睦を図り、元気で笑顔あふれる「ニョッキーズ」のため、協力して活動していきます。

年度	PTA会長	校 長
23年度	昼間 由修	小林 幹也
24年度	丸山 文隆	小林 幹也
25年度	丸山 文隆	小林 幹也
26年度	高橋 秀明	冨澤 秀行
27年度	高橋 秀明	冨澤 秀行
28年度	小松　晋	冨澤 秀行



４０周年記念航空写真



大谷小ふれあいフェスタ

島小学校

会長 太田 幸代　　校長 仲澤 政行

会員数 716　児童数 842

島小学校は、平成２８年度で創立４０周年を迎えます。今年度は近隣の区画整理事業等で島小学校そして地域も歴史の移り変わりも感じることでしょう。島小ＰＴＡは、学年委員・保導委員・総務委員・広報委員・文化厚生委員・島小まつり委員・役員選考委員で構成されており、「子どもたちが笑顔のために」と活動しております。毎年恒例の島小まつりでは、ゲームや模擬店など保護者が中心となり、教職員・地域の方々にご協力いただいて、毎年大盛況です。中でも島小給食で大人気の揚げパンは、その日だけ保護者も食べられるとあって、アッという間に完売してしまう程です。

島小ＰＴＡが考えていることは、人との繋がりが地域を元気にする源と考え、子どもたちも、たくさんの人との関わりの中で、たくさんの経験をし、たくさんの思い出をつくって、生きていく中で、大切なものを見つけられるよう、保護者、教職員そして地域のみなさんで、これからも力を合わせて活動していけたらと思います。

年度	PTA会長	校 長
23年度	中山 大造	柳　紳一
24年度	渋谷 純子	柳　紳一
25年度	吉田 光司	柳　紳一
26年度	吉田 光司	柳　紳一
27年度	太田 幸代	柳　紳一
28年度	太田 幸代	仲澤 政行



島小学校



島小まつり

東宮下小学校

会長 小島 照雄　　校長 長谷川 和俊

会員数 140　児童数 173

東宮下小学校は、見沼区の東に位置し、加田屋川、七里総合公園に隣接しています。また、校庭には、なかよし広場があり、野菜を育て、草花を眺め、小山を駆け上り、心身の成長を育む環境があります。

東宮下小ＰＴＡは、学年委員、総務委員、広報委員、地区委員、宮下まつり委員で、構成しており、学校行事のサポートをしております。

各学年１学級という少人数校ならでは、毎年恒例、全校生徒で、田植え、稲刈り、宮下まつりの中で、お餅つきを行っております。地域ボランティアさんのご協力の下、自分達で作ったもち米は、格別に美味しいものです。

他にも、春夏には、緑豊かな校庭の親子除草や環境整備を行い、お楽しみで、流しそうめんを行ったり、冬には、学校、ＰＴＡ、地域ボランティアさんで、防災・安全について考え、体験をする防災デイキャンプを行い、子供達の、明るい笑顔を求め、努めてまいります。

年度	PTA会長	校 長
23年度	鈴木二美子	原田 守康
24年度	鈴木二美子	原田 守康
25年度	鈴木二美子	林　春枝
26年度	小島 照雄	林　春枝
27年度	小島 照雄	林　春枝
28年度	小島 照雄	長谷川和俊



田植えの様子

海老沼小学校

会長 石田 勝彦　　校長 原田 守康

会員数 477　児童数 616

海老沼小学校は、住宅街が広がる閑静なエリアにある、昭和５５年４月に開校した小学校です。学校の周辺には公園など緑も多く点在しています。また、校内にはビオトープが設置され、自然の美しさ、不思議さ、命の大切さ学ぶ場となっています。

海老沼小ＰＴＡでは、「えびっ子ランド」を年に３回開催しています。学年委員会の方々が２学年毎に交代で当番となり企画し、先生や保護者との親睦を深めるとともに、多くの子どもたちが楽しみにしています。

この他にも、広報委員会、文化教養委員会、環境保全委員会、地区委員会、選考委員会の方々が、学校や子どもたちのことを第一に考え、それぞれ積極的に活動を行っています。

これからも、「えびっ子」が安心して楽しく学校生活が送れるよう、先生方や地域の方々と連携し、活動してまいります。

年度	PTA会長	校 長
23年度	森　大樹	関根 俊幸
24年度	荒井 太郎	関根 俊幸
25年度	荒井 太郎	原田 守康
26年度	戸田 靖隆	原田 守康
27年度	戸田 靖隆	原田 守康
28年度	石田 勝彦	原田 守康



正門からのけやき広場と校舎



平成２７年度大宮支部駅伝大会男女優勝

春野小学校

会長 合谷 竜一　　校長 峯岸 洋行

会員数 579　児童数 773

春野小学校は、見沼区の北東部に位置し、遊水池に隣接しているため、野鳥や植物の観察が四季折々できる自然にあふれた環境にあります。

春野小ＰＴＡは、学級学年部・広報部・保健部・はるのまつり部・地区委員会・役員推薦委員会で構成されており、１番子どもたちと関わるのは、２学期に行われる「はるのまつり」です。これは、保護者と教職員が協力して、学校全体を模擬店やゲームコーナーにし、遊びを通じて班行動やルールを守る事、お金の使い方(「はる～の」という架空金銭を使用)を学んでもらうとともに、保護者にも子どもたちの普段の学校の様子を知っていただく良い機会になっております。また、先生方にもステージで合唱や演芸を披露していただき、子どもたちも毎年楽しみにしている行事となっております。

他にも地域のイベントにＰＴＡが協力しており、今後も家庭・学校・地域が連携し、笑顔あふれる「春野っ子」が育つ環境づくりを行ってまいります。

年度	PTA会長	校 長
23年度	吹田　充	星 美千也
24年度	吹田　充	大木 裕史
25年度	岩田 哲也	大木 裕史
26年度	岩田 哲也	大木 裕史
27年度	岩田 哲也	峯岸 洋行
28年度	合谷 竜一	峯岸 洋行



はるのまつりの様子



お化け屋敷の様子

大砂土中学校

会長 加藤 友明　　校長 清水 一司

会員数 684　生徒数 645

大砂土中学校は、開校６８年を迎え、西側には見沼田圃と芝川が流れ、冬晴れの日には校舎の四階から富士山を眺めることができます。

大砂土中学校ＰＴＡは、学年委員会・総務部・環境対策部・文化部・広報部の５つの専門部と「溌剌ボランティア」で構成されています。「溌剌ボランティア」とは、在学中に一度もＰＴＡ理事を受けない保護者に、学校行事受付や校区内パトロール、あいさつ運動等から１年に１回ずつ参加していただくものです。専門部の活動や「溌剌ボランティア」を通して、「溌剌と」の校訓のもと元気に挨拶してくれる子ども達と触れ合える良い機会となっています。

今後も家庭・学校・地域との連携・交流をはかり、子ども達が安心して学習できる環境と安全で充実した生活を送れる環境づくりの為に、保護者と教職員とともに心を合わせて活動してまいります。

年度	PTA会長	校 長
23年度	新里 広美	矢内　洋
24年度	新里 広美	矢内　洋
25年度	新里 広美	竹居 秀子
26年度	榎原 健一	竹居 秀子
27年度	山﨑 弘美	清水 一司
28年度	加藤 友明	清水 一司



あいさつ運動



講習会

片柳中学校

会長 佐々木 雅治　　校長 島村　暁

会員数 310　生徒数 309

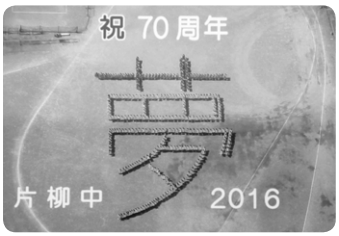
片柳中学校は、見沼区東部の広範囲な学区で、学区内には見沼区の花シンボルマークであるクマガイソウ自生地もあり、緑豊かな自然環境に恵まれています。

本校は今年度学校創立７０周年の節目を迎え、我がＰＴＡも伝統校の名に恥じぬよう活動しております。主な活動としては、学校バザー、高校訪問、広報紙作成、防犯パトロール、校内花植えとなっています。また、おやじの会も設立され、７０周年記念事業として生徒と共に老朽化した教室の床のワックス塗りを実施しました。

地域活動では片柳伝統文化保存会により八雲神社天王様夏祭りが６０年ぶりに３年前から復活し、毎年約１００名以上の生徒が参加しています。教職員や保護者も含め、伝統文化を継承する良い機会となっております。この行事がさいたま市にも認められ、今年度日本ＰＴＡ関東ブロック研究大会で発表させて頂く事になりました。

今後も地域を含めたＰＴＣＡ活動推進し、伝統校として未来を担う生徒達へバトンタッチ出来るよう楽しみながら活動して参ります。

年度	PTA会長	校 長
23年度	髙橋 慶治	佐々木恭一
24年度	髙橋 慶治	大澤　敬
25年度	森　大樹	大澤　敬
26年度	牛木 忠久	汐満　猛
27年度	牛木 忠久	汐満　猛
28年度	佐々木雅治	島村　暁



７０周年航空写真の様子


天皇様祭り集合写真

春里中学校

会長 西部 洋二　　校長 松井 秀史

会員数 715　生徒数 735

春里中学校は、当時の春岡中学校と七里中学校を統合して、昭和２６年２月に創立されました。昭和５２年に七里中学校と、平成１４年に春野中学校と分離して今日に至っています。東武野田線七里駅北側の住宅地の一角に位置しており、周囲は年々市街化が進んでいますが、まだまだ自然の残る環境にあります。

現在、創立６６年目を迎え、全校生徒７３５名(１学年６クラス、２学年７クラス、３学年７クラス、特別支援学級２クラス)が、学校教育目標の「生きる力」の育成のもとに、生徒が自ら考え、学習に運動にと元気に学校生活を過ごしています。

春里中ＰＴＡは、執行部・総務部・進路対策部・広報部・環境対策部と選考委員会・卒業準備委員会で構成されており、「明るく、楽しく」を合言葉にＰＴＡ活動を行っています。今後も、学校・保護者・地域の皆様と連携をとって、生徒の健全な育成を図るために活動して参ります。

年度	PTA会長	校 長
23年度	竹内 雅人	桑原　昇
24年度	杉本 孝夫	宍倉 和雄
25年度	杉本 孝夫	宍倉 和雄
26年度	杉本 孝夫	田邉　泰
27年度	杉本 孝夫	田邉　泰
28年度	西部 洋二	松井 秀史


杉本前会長掲額式


給食試食会の様子

七里中学校

会長 鈴木 二美子　　校長 長島 庸夫

会員数 298　生徒数 275

今年度は七里中学校にとって四十周年という記念の年です。七里中学校のＰＴＡは昭和五十二年六月六日にその第一歩を歩み始めました。

七里中学校ＰＴＡは主に学年部、総務部、広報部、環境補導部で構成されており日々活動しています。中でも力を入れて取り組んでいるのは生徒の安心安全です。学校と協力し地域清掃の行事の中での通学路点検や夏休みの夜間パトロールなど保護者・生徒・地域からの情報を集め各種関係機関と連携し情報交換を行い防犯や通学路についての課題や問題点を共有し安全確保に努めています。またその情報から『安全マップ』を作成しライト付反射材を添えて全校生徒に配布するなど安心安全を守る活動をしています。

これからも様々な活動を『木になる会』(おやじの会)とも連携し～出来るときに出来ることを楽しんで～よりよい環境つくりを繋いで行きたいと思います。

年度	PTA会長	校 長
23年度	船木まさ子	小林 成行
24年度	船木まさ子	小林 成行
25年度	木村　勇	長島 庸夫
26年度	鈴木二美子	長島 庸夫
27年度	鈴木二美子	長島 庸夫
28年度	鈴木二美子	長島 庸夫


バルーンリリース


安全マップ

大谷中学校

会長 石橋　進　　校長 石川 賢一

会員数 297　生徒数 322

大谷中学校は田畑の広がる地域にありましたが、近年宅地造成が進んで若い家族が沢山学区域に増え、これからの生徒数増加が楽しみな学校です。

現在は生徒が約３００名とコンパクトではありますが、それゆえ先生方と生徒の意思疎通は大変すばらしく、先生と生徒の信頼関係はさいたま市では随一と自負しております。

ＰＴＡ役員は「生徒のため、職員のため、そして大谷中のため」を合言葉に、日々忙しい中裏方としての務めを喜々として取り組んでいます。

大谷中の特色ある行事として、毎年６月に開催される文化祭があります。

この中で吹奏楽や演劇の発表の他に行われているものとして出前体験講座というものがあります。これは授業や部活動では体験できない、茶道や和太鼓フラダンスやカメラの取扱などを、地域から講師をお招きし生徒たちが体験するという非常に珍しい取り組みで、毎年高い評価を得ています。

これからも、生徒たちが大谷中の出身を誇りに思い、伸び伸びと成長して行けるよう全力で取り組んでまいります。

年度	PTA会長	校 長
23年度	内堀 稔浩	五十嵐圭一
24年度	内堀 稔浩	五十嵐圭一
25年度	田島 一枝	落合　優
26年度	丸山 文隆	落合　優
27年度	宮原　巧	落合　優
28年度	石橋　進	石川 賢一



茶道



和太鼓

大宮八幡中学校

会長 吉原 友美　　校長 茅根 浩一

会員数 329　生徒数 325

大宮八幡中学校は、学区内に小学校がなく、近隣の小学校数校から子ども達が集まる珍しい学校です。全生徒数は約３００人の小規模校ですが、先生方の細やかな指導が行き届き、子ども達にとってはとても良い環境です。部活動も盛んに行われており、たくさんの子ども達が活躍しています。

大宮八幡中ＰＴＡは、学年部・総務部・広報部・環境部で構成されています。役員以外の保護者には「お手伝い係」として集金、あいさつ運動、美化活動、夜間パトロールに参加していただいています。ＰＴＡ活動のひとつに、使わなくなった制服を随時回収し、必要な在校生に無料で譲る「制服リユース活動」があり、多くの方に利用していただいています。

毎年継続されてきたＰＴＡ活動の中には、保護者の負担の大きいものや、時代に合わないものもあります。今後は保護者の負担は軽く、内容は充実したものになるよう変えていきながら、全員参加がしやすいＰＴＡ活動を目指しています。

年度	PTA会長	校 長
23年度	梶熊 一世	藤澤 太郎
24年度	加藤 弘子	藤澤 太郎
25年度	加藤 弘子	藤澤 太郎
26年度	加藤　恵	茅根 浩一
27年度	加藤　恵	茅根 浩一
28年度	吉原 友美	茅根 浩一



大宮八幡中学校



リユース活動

春野中学校

会長 齊藤 健一　　校長 吉田 賀一

会員数 660　生徒数 656

春野中学校は、平成１４年４月に春里中学校から分離開校して、まだ１５年目の見沼区の中で一番新しい中学校であります。歴史は浅い学校ですが開校以来、春野中ＰＴＡも設立し、子供たちが有意義な中学校生活を送れることを第一に考えて取り組んで参りました。春野中ＰＴＡは、本部役員会・学年部・広報部・厚生部・環境部・選考委員会・そして協力員の全会員で構成されています。中学校は３年間という短い期間でもありますので、学校行事には出来るだけ参加させて頂き、先生・生徒たちの応援・お手伝いをさせて頂いています。特に部活動は活発で、優秀な成績を収めた競技については、体育館外壁に懸垂幕として顕彰をしています。また、地域の皆様にも中学校を見守って頂いておりますので、地域行事にもお手伝い等で参加させて頂いています。これからも、春野中ＰＴＡが家庭・学校・地域の皆様と連携し、子供たちが伸び伸びと安心して学校生活をおくれるように、取り組んで参ります。

年度	PTA会長	校 長
23年度	岡村 愛子	中村 秀男
24年度	岡村 愛子	中村 秀男
25年度	亀田 和代	江口 秀夫
26年度	亀田 和代	江口 秀夫
27年度	齊藤 健一	吉田 賀一
28年度	齊藤 健一	吉田 賀一



広報誌編集の様子



高校見学会の様子

少年自然の家研修



正副役員会





役員会





バス研修



関東ブロック







ふれあいフェスティバル



コーラス祭





ビーチバレー大会





中央区連合会



1	与野本町小学校
2	上落合小学校
3	大戸小学校
4	下落合小学校
5	与野西北小学校
6	鈴谷小学校
7	与野八幡小学校
8	与野南小学校
9	与野東中学校
10	与野西中学校
11	与野南中学校
12	八王子中学校

年度	歴代区連会長
23年度	小山 哲司
24年度	岡崎 和彦
25年度	川西 美紀
26年度	青羽 章仁
27年度	青羽 章仁
28年度	高島　清

◆区連の特徴

各校より代表して理事２名(会長・副会長)専門委員６名(校外対策・広報・成人教育、各委員会２名ずつ)を選出し、協力しながら様々な活動をしています。理事として副会長がいることと、専門委員会があることで、各校のより細かな部分まで情報共有ができます。

◆自慢の事業

委員会事業と全体で取り組む事業とがあります。全体事業は平成２７年度より、中学校区ごとに分かれた担当校が、各事業を企画・運営する方式を取り入れ、事業の充実を図っています。また、事業開催後には各校が「参加報告書」を作成し、区内全校に配付され意見は共有されます。そのため担当者は多くの声に耳を傾けながら、次年度の事業へと繋げていきます。

●校外対策研修会(担当：校外対策委員会)
・２８年度は、さいたま市防災課による講習会「はじめよう！我が家の防災対策」
●広報紙「中央」発行(担当：広報委員会)
・２７年度の特集記事は「みつけました！各校の自慢〇〇」
●１２校合同研修会(担当：成人教育委員会)
・２８年度は、高濱正伸氏講演会　「母親だからできること 後編」
●与野ばらまつりブース出店事業(担当：与野西中・与野本町小・鈴谷小)
・地域で活動している青年会議所と共同で、来場者にアメリカンフラワー（アクリルのばら造花)を作ってもらう活動
・物販や募金活動を通して、中央区連合会のＰＲ活動
●役員情報交換会(担当：与野東中・上落合小・下落合小)
・午前の部：講演会(２８年度は親子関係プログラム受講)
・午後の部：各校役員による情報交換会
●学校見学会(担当：新規事業につき三役会)
・２８年度はさいたま市立浦和中学校・高等学校見学
●中央区区民まつりブース出店事業(担当：与野南中・大戸小・与野南小)
・物販や募金活動を通して、中央区連合会のＰＲ活動
●バス視察研修会(担当：八王子中・与野西北小・与野八幡小)
・２７年度は関東ブロック研究大会横浜大会全体会参加


ばらまつり
アメリカンフラワー制作


役員情報交換会
親子関係プログラム


中央区民まつり２０１５



バス視察研修会
関ブロ横浜大会全体会

与野本町小学校

会長 川井 俊幸　　校長 矢田 明正

会員数 415　児童数 488

与野本町小学校は、埼京線与野本町駅より徒歩５分の場所にあり、今年で開校１４５周年を迎える、長い歴史を持つ小学校です。

与野本町小学校ＰＴＡは、執行部、学級委員会、推薦委員会、バザー委員会、成人教育部、広報部、環境安全部で構成されております。私たちのＰＴＡでは、「やって良かったＰＴＡ」をモットーに、家庭やお仕事等で忙しい保護者の方々が、ＰＴＡの活動を通して、保護者同士の交流や、良き子育ての学びの場を提供し、大変だったと終わるのではなく、有意義な時間を持つことができたと思っていただけるような活動を目指しています。

年度	PTA会長	校 長
23年度	小澤 正敏	新井 春雄
24年度	近藤千絵子	田村 史行
25年度	笹原志津枝	田村 史行
26年度	川井 俊幸	張替 克美
27年度	川井 俊幸	張替 克美
28年度	川井 俊幸	矢田 明正

また、歴史ある地域だからということもあり、地域の方々が、学校をとても大事に考えて下さっております。ＰＴＡでは、保護者、先生方、地域の方々との連携を密にして、子どもたちが安心して学習できる環境を整えることを心がけています



ＰＴＡ歓送迎会の様子



春の運動会入場の様子

上落合小学校

会長 菅野 雅代　　校長 藤澤 太郎

会員数 716　児童数 845

上落合小学校はさいたま市の中央に位置し、さいたまスーパーアリーナや多くの行政機関、高層マンションが立ち並ぶ住環境の整った地域にあります。学校教育目標には「あかるく なかよく たくましく」を掲げています。合併によりさいたま市立と校名が変わった１５年前と比較すると、児童数は約２倍の８４５名と急増しました。転出入の多い学校ですが、本校ＰＴＡ活動は委員会マニュアル・組織図や専用メールなどを用いて、文書化・組織化され、わかりやすく受け継がれており、活発な活動につながっています。平成２７年度にはそのアーバンライフスタイルに合わせたＩＣＴ化の実現と、スピーディに対応できるクリアな情報システムの構築が高く評価され、日本ＰＴＡ年次表彰式で文部科学大臣より表彰を受けました。

本年は開校９０周年にあたり、さいたまスーパーアリーナでの記念式典・演奏会をはじめ、納涼映画会や防災意識を高める会など、家庭・学校・地域の連携を象徴する事業を、ＰＴＡも協力して開催しました。

年度	PTA会長	校 長
23年度	秋山 真一	阿比留哲也
24年度	田島　剛	阿比留哲也
25年度	田島　剛	阿比留哲也
26年度	菅野 雅代	片柳　正
27年度	菅野 雅代	片柳　正
28年度	菅野 雅代	藤澤 太郎



あかるく はばたけ 青い鳥
小・中一貫事業バルーンリリース



かみっぴ
開校９０周年記念キャラクター

大戸小学校

会長 深野 亜矢子　　校長 吉野 勇人

会員数 471　児童数 559

大戸小学校は、開校１４０年以上の長い歴史を持つ、伝統ある小学校です。

大戸小にあらわれる、妖精のマスコットすぎっぴーに見守られ、子どもたちは健やかに毎日を過ごしています。また、登下校時には、保護者の方々や、地域の方々と語らう賑やかな声が聞こえます。

大戸小ＰＴＡが子どもたち、先生方、地域の方々と最も関わる行事は秋に行われるふれあい広場です。この日は、ＰＴＡだけでなく、おやじの会、後援会、自治会、全ての地域のサポーターたちが大戸小に集い、学校と一体となって協力しあい、行事に取り組みます。どの大人も、子どもたちを喜ばせようと、さまざまな企画を時間をかけて練りあげます。当日は子どもにとっても、大人にとっても、想い出深い一日となります。

ＰＴＡにとって、もう一つの大きな行事は、運動会です。運動会のプログラムの中に、ＰＴＡ競技が毎年入ります。ここ最近は「玉いれさせない」という競技で大いに盛り上がります。先生、保護者の方々の玉入れを、おやじの会の方々が、仮装をして、大きな手を持ち、玉入れの邪魔をします。仮装には、先生もこっそりと混ざります。仮装した先生やおやじの会の保護者が登場すると、思わず笑顔がこぼれ、歓声が沸き起こります。今や大戸小ＰＴＡの目玉行事のひとつです。

これからも「笑顔あふれる大戸小」の環境づくりのために、学校・保護者・地域の方と連携を取り合い、よりよい環境づくりへ寄与してまいりたいと思います。

年度	PTA会長	校 長
23年度	小田 紀子	稲垣 克行
24年度	小田 紀子	稲垣 克行
25年度	小田 紀子	関根 俊幸
26年度	小田 紀子	関根 俊幸
27年度	若井 京子	吉野 勇人
28年度	深野亜矢子	吉野 勇人



ふれあい広場でのヒトコマ



運動会で盛り上がるPTA競技「玉入れさせない」

下落合小学校

会長 安藤 崇男　　校長 稲垣 克行

会員数 679　児童数 787

下落合小学校は「さいたま新都心に一番近い学校」で、さいたま新都心けやき広場・月のひろばでのフィールド学習、合同庁舎での校外学習が特色です。

下落合小創立６０周年で作成したマスコット「しんとんとん」は、「子どもたちがさいたま新都心から未来への扉をたたくノックの音」をイメージし、校歌の「不思議を開く金の鍵」を胸に抱いた姿で、児童会やＰＴＡに受け継がれています。

下落合小ＰＴＡは専門委員会(広報・成人教育・保健美化・校外対策)、学年委員会(１～６学年)で構成されています。ＰＴＡ主催の最大行事は、毎年秋の「ふれあい広場」です。子どもたちが地域の方々・学校・保護者とともに、遊びを通じて楽しく豊かな経験ができるように企画しています。各委員会が担当する工作・駄菓子屋・バザー・ヨーヨーつりなどのほか、チャレンジスクール(ふれあい教室)の絵手紙・囲碁・茶道、各スポーツ少年団の催しもあり、毎回盛況です。

今後も学校・地域と連携し、改革も含め時代に合ったＰＴＡ活動を目指します。

年度	PTA会長	校 長
23年度	樋爪 克好	大山 隆悦
24年度	川合 伸明	大山 隆悦
25年度	川合 伸明	大山 隆悦
26年度	安藤 崇男	大山 隆悦
27年度	安藤 崇男	稲垣 克行
28年度	安藤 崇男	稲垣 克行



新都心が間近な校舎



にぎわうふれあい広場

与野西北小学校

会長 鳥井 義基　　校長 内田　宏

会員数 839　児童数 1,009

中央区の北西に位置し、東にはさいたま新都心のビル群、西には緑豊かな荒川河川敷や田園風景が広がる大久保農耕地があり、過去と未来が融合する与野西北小学校。

本校は今年創立５０周年を迎えました。記念事業として例年１１月に本校体育館で行われる『ドレミファコンサート』を大宮ソニックシティ大ホールにて行い、学年ごとに合唱や合奏を披露しました。それに合わせて式典、祝賀会も開かれました。

主なＰＴＡ事業としては、例年２学期に行われる『親子ふれあい広場』があります。各部、各委員会が企画を持ち寄り、地域の方々を交えてバザーや駄菓子、食品販売、工作教室などを行い、児童、保護者、地域の方々が毎年楽しみにしている行事のひとつです。

その他事業活動として、保護者に向けた年３回の家庭教育学級やベルマーク収集、イエローレシートキャンペーンへの呼びかけ、子ども１１０番の家への挨拶廻りなど児童の学校生活環境を整える事業を積極的に行っています。子どもたちが笑顔あふれる毎日を過ごせるよう、家庭・学校・地域から日々見守っています。

年度	PTA会長	校 長
23年度	川尻 良江	並木 昌和
24年度	川尻 良江	並木 昌和
25年度	近藤 幸子	並木 昌和
26年度	近藤 幸子	内田　宏
27年度	近藤 幸子	内田　宏
28年度	鳥井 義基	内田　宏



親子ふれあい広場１



親子ふれあい広場２

鈴谷小学校

会長 阿部 達哉　　校長 神座 達也

会員数 396　児童数 503

本校は、昭和４６年に旧与野市６番目の小学校として、開校して以来、地域と共に歩み、歴史を刻んでまいりました。

開校当時、殺風景であった校庭は、地元の有志の方々のご厚意とご協力により木々を持ち寄って頂き、植樹された経緯があります。

また、正門前は”あじさい小径”があります。このあじさいは、後援会の寄贈によるもので、子ども達に元気を与えてくれています。登下校時の子ども達の元気なあいさつは、雨に濡れたあじさいの花弁にも負けないくらい輝いています。

そして、開校から４６年経った今日の鈴谷小は、多くの自然に囲まれています。その恵まれた環境のなかで、たくさんの子ども達の輝く「笑顔」という花が咲きほこっています。

これからも鈴谷っ子の元気なあいさつと輝く笑顔が、未来永劫と続くように家庭、学校、地域の連携を深めつつ、共に歩んで行きたいと思います。

年度	PTA会長	校 長
23年度	荒井　哲	栗田　亨
24年度	太田 謙一	福島 博子
25年度	太田 謙一	福島 博子
26年度	太田 謙一	福島 博子
27年度	阿部 達哉	神座 達也
28年度	阿部 達哉	神座 達也



本校脇を流れる鴻沼川～桜のトンネル～



満開の桜と鈴谷小

与野八幡小学校

会長 青羽 章仁　　校長 金銅　孝

会員数 640　児童数 781

与野八幡小学校は、北与野駅を最寄り駅とし、周囲をマンションに囲まれた住宅地に位置しています。学区内には大型ショッピングセンターや飲食店も多くあります。また徒歩圏内にさいたま新都心、与野公園等、学習に活用できる施設も多く、生活面・学習面において恵まれた環境にあります。

与野八幡小ＰＴＡは総務と学年、広報活動、成人教育、校外対策、ベルマーク、バザー、推薦の各委員会で構成され、活動を行っています。

特に毎年１１月頃に行う『与野八幡小ＰＴＡバザー』では、先生方や多くの保護者の協力のもと、校舎内にわなげやヨーヨーつりなどのゲームの店、みたらしだんごやフライドポテトなどの飲食の店、ストラップやパウチ作り体験の店などを企画・出店しており、“八っ子”達の歓声と笑顔溢れるイベントとなっています。

また、美化活動・防犯パトロール等を通して、地域や他校ＰＴＡとの協力・連携にも努めています。

今後とも、元気いっぱい笑顔いっぱいの“八っ子”達の成長の一助となるべく活動を行ってまいります。

年度	PTA会長	校 長
23年度	北川 一江	林　春枝
24年度	北川 一江	林　春枝
25年度	青羽 章仁	西川 和利
26年度	青羽 章仁	西川 和利
27年度	青羽 章仁	金銅　孝
28年度	青羽 章仁	金銅　孝



学校正門より



バザー風景

与野南小学校

会長 磯﨑 園美　　校長 野村　晃

会員数 188　児童数 218

与野南小学校は、ＪＲ南与野駅から徒歩約５分の閑静な住宅地に位置しています。児童数約２００名の小規模校で、学年問わず仲良く、アットホームな雰囲気です。温かな地域の方々に見守られ、おかげ様で来年度４０周年を迎えられるはこびとなりました。

与野南小ＰＴＡは、執行部・学級委員会・文化委員会・広報委員会・地区委員会で構成されています。各委員会活動も活発で、近年は、広報委員会作成の広報紙「みなみ」が、ＰＴＡ広報紙コンクールにて、連続入賞しています。

毎年秋の「南小フェスタ」は、ＰＴＡが主体となり行います。バザーや模擬店を通じて、学年や世代を超えて、地域の方々・保護者・子どもたちのコミュニケーションを図る貴重な機会となっています。

明るく素直な「みなみっ子」の成長を、これからも見守っていきたいと思います。

年度	PTA会長	校 長
23年度	弥谷 明美	松本　謙
24年度	弥谷 明美	松本　謙
25年度	髙田ひろみ	松本　謙
26年度	髙田ひろみ	野村　晃
27年度	磯﨑 園美	野村　晃
28年度	磯﨑 園美	野村　晃



フェスタ総合案内



フェスタ屋台村にて

与野東中学校

会長 高島　清　　校長 野口　浩

会員数 797　生徒数 798

与野東中学校はさいたま市の中央部に位置しており、さいたま新都心を学区とし、周辺には高層の集合住宅が建ち並ぶ中、緑豊かな環境にあります。１９４７年に与野町立与野中学校として設立され、本年で開校７０周年を迎えた歴史のある学校です。

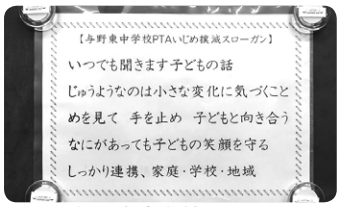
ＰＴＡの活動は「平成２０年度優良ＰＴＡ文部大臣表彰」、「平成２７年度さいたま市ＰＴＡ協議会広報紙コンクール優秀賞」を受賞するなど、代々盛んに行われています。近年力を入れている活動として、「保護者も子どもと共に進路について学ぶ」ことを目的に、１学年は保護者会時、校長や進路指導担当の先生による「進路指導方針の講話会」、２学年は「高校訪問バス研修会」、３学年は前年卒業した保護者から実際に話を聞く「進学情報交換会」と、対象学年のニーズに合わせた取り組みを実施しています。

また、今年度から新たに、「近隣小学校との連携」、「いじめ撲滅」、「地域との連携」を事業計画に明記し、今後は学校・地域と協力しながら事業展開していきます。

年度	PTA会長	校 長
23年度	岡崎 和彦	皆川 広嗣
24年度	岡崎 和彦	皆川 広嗣
25年度	天野 勇治	小島 健司
26年度	天野 勇治	小島 健司
27年度	高島　清	野口　浩
28年度	高島　清	野口　浩



高層住宅が建ち並ぶ
緑豊かな環境の中で開催された
開校７０周年記念体育祭



与野東中学校ＰＴＡ
「いじめ撲滅スローガン」

与野西中学校

会長 山下 太郎　　校長 小熊　誠

会員数 536　生徒数 517

与野西中学校は中央区のほぼ中央部、与野本町駅の近くに位置し、彩の国さいたま芸術劇場という重要な文化的施設にも隣接しています。

与野西中ＰＴＡは、執行部、学年委員会、環境補導部、成人教育部、広報部、推薦委員会で構成されており、保護者向けに各種講演会や講習会などを主催するとともに、お世話になっている地域の方々もお招きする家庭教育学級や給食試食会を主催し、家庭・学校・地域の連携も強化すべく活動しています。

ＰＴＡ行事や学校行事への協力の他にも、生徒会主催の校区環境美化活動（年３回）や、青少年育成与野西地区会主催の定期的な巡回パトロールなど様々な活動にも積極的に参加・協力し、地域の未来を担う若者たちが健全に育つ環境づくりを、家庭・学校・地域の皆様とともに多方面から進めてまいります。

年度	PTA会長	校 長
23年度	吉野 喜八	田代 敏生
24年度	田中 玲子	永妻 恒男
25年度	馬場まゆみ	永妻 恒男
26年度	肥田野理恵佳	永妻 恒男
27年度	肥田野理恵佳	小熊　誠
28年度	山下 太郎	小熊　誠



外観



文化発表会

与野南中学校

会長 古瀬 由香　　校長 奥脇 千鶴子

会員数 477　生徒数 511

与野南中学校は、１９６１年４月に与野市立与野東中学校分校として設立され、今年度、創立５５周年を迎えました。バラの街中央区の南部に位置し、校庭は３６種類１２１本のバラに囲まれた大変美しい学校です。

ＰＴＡは、執行部・学年委員会・広報部・成人教育部・校外対策部・推薦委員会で構成されています。多くのＰＴＡ事業の中でも、生徒の生活環境及び学校の教育環境をよくする事業には最も力を入れています。年に数回行われる環境整備活動には毎回１００名以上の参加者があり、和やかに除草やバラの植え付け、プランター・花壇の植え換えに取り組んでいます。「南中のバラを美しく豊かにする会」も今年度から結成されました。また、朝の挨拶運動では生徒・教職員とともに正門に立ち、声をかけます。生徒は皆、しっかりと目を見て頭を下げ、元気に「おはようございます」と挨拶を返してくれ爽やかな一日が始まります。今後も学校・家庭・地域が連携を密にし、感動いっぱいの与野南中生を育んで参ります。

年度	PTA会長	校 長
23年度	川西 美紀	大澤 光子
24年度	川西 美紀	大澤 光子
25年度	川西 美紀	中島 俊尚
26年度	弥谷 明美	中島 俊尚
27年度	弥谷 明美	中島 俊尚
28年度	古瀬 由香	奥脇千鶴子



色とりどりのバラに囲まれた学校



和やかな環境整備

八王子中学校

会長 川原崎 泰介　　校長 坂田 真澄

会員数 479　生徒数 483

八王子中学の学区は、近年急速に住宅が増えつつある中、未だ自然の残る暮らしやすい地域です。学校は野球場やテニスコートも備えた八王子公園、さいたま市のサッカーキッズにはおなじみの八王子グランドに隣接しています。地域の自治会の方々を始め多くの地元の方々も生徒達を見守り、応援して頂けています

ＰＴＡの活動としては、保護者同士、また保護者と先生方との交流を深められるような企画を心掛けています。

一例としては、有志の保護者と先生方参加のソフトバレーボール大会。生徒達と同じように歌を披露する合唱コンクール。

２８年度には新たな試みとして、子供の高校受験の経験のある保護者が経験の無い保護者の受験についての素朴な疑問に答える情報交換会を開き、大変多くの方に参加して頂き大変有意義な活動となりました。

年度	PTA会長	校 長
23年度	小山 哲司	春山 正美
24年度	小林由美子	春山 正美
25年度	川原崎泰介	高橋 勝孝
26年度	川原崎泰介	高橋 勝孝
27年度	山家多計彦	坂田 真澄
28年度	川原崎泰介	坂田 真澄



ソフトバレーボール大会の様子



高校進学相談会の様子


PTA 中央
中央区区民まつり
募金にご協力を
熊本の子どもたちのために
PTA
役員情報交換会
さいたま市PTA協議会 中央区連合会 定期総会
定期総会
CONCERT HALL
音楽ホール
学校見学会
防災
災害時その前に備えがあなたを救う
さいたま市PTA協議会 中央区連合会 定期総
第48回 日本PTA関東ブロック研究大会 茨城大会
第48回日本PTA 関東ブロック研究大会
第7分科会会場
与野公園のバラ
第7分科会（情報モラル）
関ブロ発表
区民まつり2016

桜区連合会



1	土合小学校
2	大久保小学校
3	栄和小学校
4	田島小学校
5	大久保東小学校
6	新開小学校
7	神田小学校
8	中島小学校
9	土合中学校
10	大久保中学校
11	田島中学校
12	上大久保中学校

年度	歴代区連会長
23年度	井原光太郎
24年度	榎本 雅昭
25年度	榎本 雅昭
26年度	榎本 雅昭
27年度	今川 夏如
28年度	今川 夏如

◆区連の特徴

桜区連合会は、各校のＰＴＡ会長だけでなく、副会長、広報担当者が集まり、単会を超えた情報交換、交流を行うことで、連合会はもとより各単会の活動が効率よくできるようになっています。平成 22 年度からＷＥＢシステムを活用し、各種連絡事項の共有、各校の活動報告の集約、そこからホームページへの掲載などができるようになっています。また、近年では区連独自の表彰などをおこない、区内のＰＴＡ活動を盛り上げています。

◆自慢の事業

桜区連合会では、総会・広報紙発行（年２回）・アルミ缶回収南三陸支援・親子ふれあいフェスタ・あいさつ運動・校長会長研修会・講演会・交通安全標語コンクール・広報情報委員表彰・平成 28 年熊本地震緊急支援などの事業を行っています。どれも自慢の事業と言えますが、総会は区内 12 校から校長先生・教頭先生を含む総勢 100 名出席が恒例となり、学校を超えた区内の交流が盛んです。100 人の総会を誰もが参加して良かったと思える内容にすることで、各単会の活動の励みになっているようです。あいさつ運動を通じて子どもたちとの関わりも持ち、交通安全標語コンクールでは桜区内の子どもたちの作品を表彰しています。親子ふれあいフェスタでは、区内のスポーツ振興団体の協力を得て、浦和レッズハートフルクラブの指導の下、親子で本気サッカーを楽しんでいます。アルミ缶回収による東日本大震災の被災地支援は５年目を迎え、現地視察を行い、あらためて活動の意義を確認しました。熊本で発生した地震においては、地震発生から１週間で 100 万円近い募金を集め、直接現地の避難所へ物資を運ぶなど、緊急時の素早い協議・決断・実行ができました。日頃の PTA 活動を通じて、現役理事だけでなく、歴史ある連合会活動を作ってきた元理事たちとの信頼関係が、すべてに共通して、桜区連合会の一番の自慢です。



H28 熊本地震緊急支援


あいさつ運動



アルミ缶回収南三陸支援


親子ふれあいフェスタ

土合小学校

会長 鈴木 健一　　校長 井上　均

会員数 681　児童数 843

土合小学校は、明治２５年に土合尋常小学校として開校以来、保護者・地域の皆様に支えられ、土合地区における教育の中心校として実績を築き、開校１２４年を迎えた歴史ある学校です。

土合小ＰＴＡは、学年委員会、成人教育委員会、保健環境委員会、広報委員会、校外委員会で構成されています。

年間を通じ、アルミ缶回収運動、登校時の挨拶運動・旗当番、下校時の安全パトロールといった活動の他、親子レクリエーション大会、わら細工講習会といった毎年人気がある行事を主催しています。

年度	PTA会長	校 長 名
23年度	原　修	福原 秀夫
24年度	丸山 和彦	福原 秀夫
25年度	丸山 和彦	野沢 康久
26年度	佐々木 珠緒	野沢 康久
27年度	佐々木 珠緒	井上　均
28年度	鈴木 健一	井上　均

また、西堀氷川神社前夜祭、育成会主催納涼大会など、地域のイベント時にもＰＴＡで協力させて頂いております。

今後もこれらの活動を中心に、家庭・学校・地域の連携を大切に子どもたちの充実した学校生活の一助になるべく活動をしていきたいと思っております。



あいさつ運動



わら細工講習会

大久保小学校

会長 井澤 孝行　　校長 相川 光彦

会員数 257　児童数 306

大久保小学校は、桜区の北西に位置し、周りは田園が広がり荒川の土手に上がれば、東はさいたま新都心、西は富士山が綺麗に見ることが出来ます。

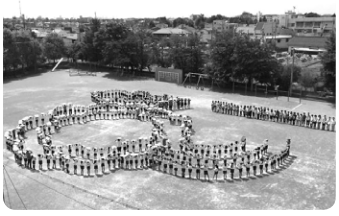
大久保小ＰＴＡは、会員数が少ないことから組織は本部と２つの専門委員会と学年委員が兼ねるバザー委員会と必要最低限とし、会員の負担が多くならないよう活動しています。会員は年間のうち最低１回はＰＴＡ活動に従事し委員の負担を減らしています。バザーはＰＴＡ活動のメインイベントで「子供も楽しむけど、自分たちも楽しむ」をコンセプトに本部役員とバザー委員が毎年知恵を出し合って活動しています。また、大久保地区は地域の繋がりが強く、育成会を中心とした活動や、毎年１１月３日には大久保地区自治会対抗大運動会などがあり、大久保小を卒業してからも様々な場面で交流があり、同級生談議に花が咲きます。

今後も、家庭、学校及び地域と連携し、いつも活気ある大久保小学校そして、子供達が笑顔あふれ、健やかに育つ環境づくりを行ってまいります。

年度	PTA会長	校 長 名
23年度	榎本 雅昭	富樫 政宣
24年度	山下 昌和	富樫 政宣
25年度	井澤 孝行	富樫 政宣
26年度	井澤 孝行	相川 光彦
27年度	井澤 孝行	相川 光彦
28年度	井澤 孝行	相川 光彦



バザーの様子



８５周年記念航空写真

栄和小学校

会長 山﨑 毅史　　校長 濱﨑 泰行

会員数 946　児童数 1136

栄和小学校は桜区の住宅街の中に位置し、生徒数が千人を超える学校です。荒川流域の公園や田んぼに近い一方で、プラザウエストや埼玉大学などの大きな施設もあり、人々の行き交う活気ある地域でもあります。

栄和小ＰＴＡは、学年委員会、総務委員会、厚生委員会、広報委員会、校外委員会、ＰＴＡまつり委員会、選考委員会、という構成で活動しています。

秋に行うＰＴＡまつりは、ＰＴＡまつり委員会を中心に学年委員、クラブ、教職員、校外団体が模擬店やゲームで参加するイベントです。校庭にステージを設け、子どもたちの日頃のクラブ活動の発表の場にするのが特色です。先生方のステージや中学校の吹奏楽部による演奏が大人気です。地域の大先輩に指導を受けているお囃子を発表したり、風船パフォーマンスをしていただいたりと地域の方々と直接交流できる場にもなっています。

今後も子どもたちを中心に、家庭、学校、地域が連携協力して活動していきたいと考えています。

年度	PTA会長	校 長
23年度	桜井 直人	阿久津一浩
24年度	小島 禎章	阿久津一浩
25年度	小島 禎章	佐藤不二雄
26年度	小島 禎章	佐藤不二雄
27年度	山﨑 毅史	佐藤不二雄
28年度	山﨑 毅史	濱﨑 泰行



ＰＴＡまつりステージ



育成会出店風景

田島小学校

会長 高澤　茂　　校長 新井 敬二郎

会員数 409　児童数 524

「おはようございます！」「ありがとうございます！」田島小学校の田島っ子たちは元気な挨拶が自慢です。とにかく元気な田島っ子たちの源は、自然あふれる荒川の秋ヶ瀬に面している学校の立地にあるといえます。授業の中でも荒川の土手に出て行き、自然と触れ合いながら様々な学びを得ています。

本校ＰＴＡは田島っ子たちの元気に負けないよう、挨拶運動や運動会でのお手伝いなどに力を注いでいます。昨年度ＰＴＡ主催で初めて実施した、東北復興支援ワカメ給食では、ＰＴＡが提供した南三陸産のワカメを中心に東北産に限られた食材による給食を、元気にモリモリ食べる田島っ子たちの様子がジェイコムテレビで流され、大いに盛り上がりました。

こうした田島っ子たちがいつまでも元気でいられるよう、地域の方々とも連携しながら、安心、安全のための活動に取り組んでまいります。

年度	PTA会長	校 長
23年度	分銅 弘道	野村　晃
24年度	分銅 弘道	野村　晃
25年度	関根 善隆	野村　晃
26年度	高澤　茂	石川 庸子
27年度	高澤　茂	石川 庸子
28年度	高澤　茂	新井敬二郎



みんな元気に挨拶運動



東北復興支援ワカメ給食

大久保東小学校

会長 山﨑 栄慈　　校長 大木 裕史

会員数 578　児童数 741

大久保東小学校は「夢や希望をもち、心豊かに生きる子どもを育成する」と教育目標を掲げ、校長先生はじめ教職員一丸となって取り組んで下さっています。

「子どもは親の背中を見て育つ」と言われる通り、ＰＴＡ一同、自ら率先し、楽しんで活動する姿を子どもに映していきたいと一手一つに取り組んでおります。

なかでも今年で４２回目となる“東っ子バザー”は、学校公開日に行われる一大イベント。保護者、教職員は勿論のこと、学区内にある埼玉大学の学生さんのご協力や、上大久保中学校吹奏楽部と当校金管バンドの合同演奏が行われるなど、素敵な地域交流の場となっております。

他にも大久保地区育成会はじめ各自治会の行事を通して、地域に守られ、子ども達がスクスクと育まれる様子にただただ感謝あるのみです。荒川の水面にキラキラ輝く日の光のように子ども達一人ひとりが「輝く笑顔『あい』にあふれる大久保東小学校」目指して、先生と協力してＰＴＡも共に取り組みたいと思います。

年度	PTA会長	校 長
23年度	松山 克彦	鈴木 範明
24年度	高橋 公一	鈴木 範明
25年度	高橋 公一	鈴木 範明
26年度	高橋 公一	玉井 康仁
27年度	山﨑 栄慈	大木 裕史
28年度	山﨑 栄慈	大木 裕史



東っ子バザーの様子



あいさつ運動の様子

新開小学校

会長 林　大悟　　校長 清水　肇

会員数 311　児童数 367

新開小学校は、秋ヶ瀬公園の東側に位置し、学校の中にトンボ池、野鳥の森などがあり、豊かな自然の中で生き物の生態を四季折々、身近に観察ができる環境にあります。

新開小ＰＴＡでは「児童の教育と福祉の向上、会員の教養を高め、親睦を深める為に父母、教師、地域及び関連団体と協力し、計画・実施を行う」ことを目標に活動しております。

２学期に行われる「しびらきっ子まつり」では、昔遊びやゲームコーナー、バザーなど、子ども達も毎年楽しみにしているお祭りを行っております。また、児童、保護者、教職員の方々が一緒に汗を流し、スポーツを通じて楽しく子ども達とふれあえるスポーツフェスタも行っております。

他にも、地域の諸団体と協力し様々なイベントを行っており、今後も家庭、学校、地域が連携し、笑顔あふれる「しびらきっ子」の為に、安心で信頼のおける環境づくりを行ってまいります。

年度	PTA会長	校 長
23年度	山本 慎一	齊藤 靖彦
24年度	北爪 郁哉	佐々木克己
25年度	北爪 郁哉	佐々木克己
26年度	伊藤 隆博	佐々木克己
27年度	伊藤 隆博	佐々木克己
28年度	林　大悟	清水　肇



しびらきっ子まつりの様子



スポーツフェスタの様子

神田小学校

会長 今川 夏如　　校長 書上 敦志

会員数 384　　児童数 479

本校は、さいたま市西部の桜区にあり、校区は中央区と接しています。田畑が点在する緑豊かで閑静な住宅地の中にあります。

正門を入るとすぐ左脇に、学校のシンボルである「くすのき」の大木が葉を繁らせています。その先には芝山、校庭の周辺には緑のグリーンベルトがあり、休み時間などは、喜んで飛び回る子どもたちのすがたが多く見られます。また、正門を入って右脇には池があり、鳥のさえずりや四季折々の草花を楽しむことができます。

ＰＴＡ活動では、前年度に各委員から集めた意見をもとに、今年度より総会・全体委員会を同日に開催し、未就学児のいる保護者への配慮として遊びコーナーを設けるなど、保護者の負担を減らしながら、参加しやすい環境づくりを心掛け、効率の良い活動を行っています。子どもと一緒に取り組む学校環境整備活動の後で、サプライズのスイカ割りをするなど、楽しい活動を増やしています。

平成２９年度、本校は開校４０周年を迎えます。これからも、家庭・学校・地域で「神田の子」の成長を支えていきます。

年度	PTA会長	校 長
23年度	落合麻由子	宮原　仁
24年度	高橋 白美	田中 民雄
25年度	高橋 白美	田中 民雄
26年度	今川 夏如	書上 敦志
27年度	今川 夏如	書上 敦志
28年度	今川 夏如	書上 敦志



スイカ割り



和気あいあい楽しいＰＴＡ♪

中島小学校

会長 原　　綾　　校長 鵜飼 良昭

会員数 377　　児童数 477

桜区の東に位置する中島小学校は、古墳の森や田畑に囲まれた、緑豊かなのどかな雰囲気の小学校です。

ＰＴＡでは「できる人が、できるときに、できることを」という理念をもとに組織の合理化と最適化を進め、活動の質を落とすことなく会員の負担を減らす取り組みを成功させています。中規模校ならではの機動力とチームワークを生かした活動は、さいたま市の平成２８年度「優良ＰＴＡ団体表彰」に選ばれ、併せて「文部科学大臣表彰」にもご推薦いただきました。また、平成２８年度広報紙コンクールでは「日本ＰＴＡ協議会会長賞」を受賞し、多方面において会員の皆様が活躍しています。地域とのつながりも大きな特徴です。中島小では開校から十数年間ＰＴＡが組織されず、代わりに地域の方々による育成会がその役割を担っていました。いまでも育成会の方々は、子どもたちのために熱心に活動してくださっています。

これからも、学校・地域と一体となった「オール中島」の態勢で、「ＰＴＣＡ活動」（Ｃはコミュニティ）の充実に邁進していきます。

年度	PTA会長	校 長
23年度	長尾 優子	矢作 修一
24年度	長尾 優子	矢作 修一
25年度	長尾 優子	矢作 修一
26年度	原　　綾	鵜飼 良昭
27年度	原　　綾	鵜飼 良昭
28年度	原　　綾	鵜飼 良昭



平成２８年度本部役員



航空写真

土合中学校

会長 長尾 優子　　校長 新井 栄司

会員数 922　　生徒数 928

土合中学校は、桜区町谷地区にあり、昭和２２年に新制中学校として開校し、今年で創立７０年を迎えた歴史と伝統のある中学校です。

土合中学校ＰＴＡは、本部・学年委員会・教養委員会・広報委員会・校外生活委員会で構成されています。あいさつ隊（朝の登校時の挨拶運動）・見守り隊（下校時の巡回）・花咲かせ隊（花壇の整備）などのボランティア活動にも多数の保護者が参加しています。誰もが参加・運営できるＰＴＡ活動を目指して『温度差のない全員参加型ＰＴＡ活動』を展開しています。保護者に好評な制服や体操着のリサイクルバザー、進路を考える手助けになる高校見学会、卒業記念品の企画、色々なジャンルの講習会や講演会開催、ＰＴＡ広報紙の発行、学校行事への積極的な協力などを通しＰＴＡ会員同士の交流が活発になされています。

今後も地域・学校・保護者の連携を深めて、子ども達の健全育成、学ぶ環境の向上を目指し共に学び、共に成長できるＰＴＡ活動を行っていきたいです。

年度	PTA会長	校 長
23年度	田辺 雄一	河本　茂
24年度	田辺 雄一	河本　茂
25年度	田辺 雄一	稲垣 克行
26年度	長尾 優子	稲垣 克行/新井 栄司
27年度	長尾 優子	新井 栄司
28年度	長尾 優子	新井 栄司



朝の挨拶運動



高校見学会

大久保中学校

会長 山下 昌和　　校長 澤田 純一

会員数 312　生徒数 333

旧・大久保村を大久保中学校として昭和２２年に設立。今年ちょうど７０周年を迎えた歴史ある中学校です。

そんな伝統ある大久保中学校も１０年程前は、荒れていて、「安心して、学校に登校できない。」という状態でした。それを歴代の校長、教職員とＰＴＡそして育成会や地域の皆様のご協力のもとに、現在の落ち着いた大久保中学校があります。朝は、「笑顔で届け、朝のあいさつ運動！！」をモットーに「朝のあいさつも１１年目を迎えることができました

現在、大久保中学校は、大久保小学校、神田小学校と共に小中ギャプのない「大久保学園」を目指して頑張っています。澤田校長先生は、「ナンバーワンスクール」を宣言して、「中学校３年間で、夢中になることを見つける、勉強でもスポーツでも、あるいは芸術でもいい、一つの事に努力を重ねると、それが多方面にいきてくる。！！」と生徒に発破をかけています。ＰＴＡも笑顔で応援します。



朝のあいさつ運動

年度	PTA会長	校 長
23年度	谷川めぐみ	宍倉 和雄
24年度	榎本 雅昭	新井敬二郎
25年度	榎本 雅昭	新井敬二郎
26年度	榎本 雅昭	新井敬二郎
27年度	山下 昌和	澤田 純一
28年度	山下 昌和	澤田 純一

田島中学校

会長 宮崎 晴代　　校長 冨田 英雄

会員数 817　生徒数 838

田島中学校は、昨年創立４０周年を迎えた、運動部・文化部ともに部活動が盛んな彩湖のほとりにある学校です。

ＰＴＡ活動は、７つの委員会とお手伝いシステムで構成されており、広報紙の発行、あいさつ運動、高校見学、講演会の開催などの活動を行っています。

また、小中学校の連携として、田島中学校区内「４校ふれあい懇話会」を年２回開催し、西浦和小・田島小・新開小のＰＴＡ本部役員と一緒に給食を食べながら情報交換を行っています。桜区・南区の学校が混在していますが、この会をきっかけに連携を取り合っています。

地域との連携は、自治会長、元ＰＴＡ会長等により構成される「後援会」、小中学校４校のＰＴＡ・青少年育成地区会で構成される「田島中学校区４校学校連絡協議会」があり、パトロールを合同で行い、家庭・地域・学校と一体になって子どもたちの安全を見守り、非行防止に努めています。

今後もさらに家庭・地域・学校と連携し、子どもたちの笑顔のためのＰＴＡ活動を行ってまいります。



４校ふれあい懇話会



創立４０周年記念式典

年度	PTA会長	校 長
23年度	米山 愼司	山﨑　俊
24年度	米山 愼司	星野 貞邦
25年度	陶山　功	星野 貞邦
26年度	陶山　功	冨田 英雄
27年度	宮崎 晴代	冨田 英雄
28年度	宮崎 晴代	冨田 英雄

上大久保中学校

会長 高橋 公一　　校長 永岡 良規

会員数 501　生徒数 532

素敵な学校に我が子を預ける保護者としての喜びを確認する毎日です。これまでのさいたま市ＰＴＡ協議会の大切な働きに感謝いたします。

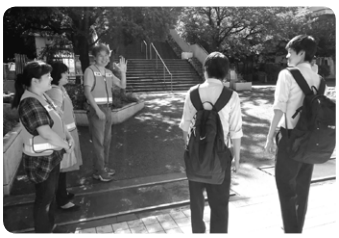
当校の現在の状態は、素直で可愛い生徒が朝掃除に始まる綺麗な校舎での授業、部活動、体育祭、合唱コンクールと落ち着いた生活を送っています。

心よりそんな素敵な期間の会長を務める喜びに浸っています。そして事あるごとに素晴らしい上大久保中学校を評価し、内外にお知らせするのが私の仕事だと思っています。

なぜなら、現在の落ち着いた状態を達成するのに多くの過去、現在の教員の方、地域の皆様の情熱と愛情が注がれた事をお聞きしているからです。

歴代ＰＴＡの働きも大きいです。前会長の松山氏のお働きに限っても、行った改革は確実に実りを産みました。全保護者参加で全登校日のあいさつ運動、被災地支援アルミ缶運動などなど、生徒への思いを目に見える形に変える企画力は類を見ません。その結果として一昨年のさいたま市優良ＰＴＡ団体受賞につながりました。

現状に感謝しつつ今後のビジョンは、保護者対象の良質な子育て講演会を企画＆運営をいたします。目には見えないソフト(内面)の強化を図り生徒を支えたいと願います。



毎朝笑顔で迎えます



子育て講演会

年度	PTA会長	校 長
23年度	井原光太郎	汐満　猛
24年度	松山 克彦	汐満　猛
25年度	松山 克彦	汐満　猛
26年度	松山 克彦	永岡 良規
27年度	高橋 公一	永岡 良規
28年度	高橋 公一	永岡 良規



H２６総会



H２６教育委員会交流会



アルミ缶回収南三陸支援



H２７ホテル南郷



親子ふれあいフェスタ



H２８熊本地震緊急支援

H２８区民祭り



OP



あいさつ運動



ED

浦和区連合会



1	高砂小学校	10	針ヶ谷小学校
2	常盤小学校	11	大東小学校
3	木崎小学校	12	常盤北小学校
4	仲本小学校	13	埼玉大学教育学部附属小学校
5	本太小学校	14	常盤中学校
6	北浦和小学校	15	木崎中学校
7	仲町小学校	16	本太中学校
8	上木崎小学校	17	大原中学校
9	岸町小学校	18	浦和中学校

年度	歴代区連会長
23年度	磯田 和男
24年度	磯田 和男
25年度	丸山 史人
26年度	丸山 史人
27年度	丸山 史人
28年度	丸山 史人

◆区連の特徴

文教都市浦和にある浦和区連合会。南はＪＲ浦和駅、北はＪＲ与野駅が位置し、区の中央を線路が通っています。区の境界は南区、緑区、中央区の３区と接し、中学校進級時に所属する区が変わる事も多くあります。しかしながら各学校のＰＴＡ会長の中には会長職を複数年引き受けてくださる方も多く、浦和区連合会内での親睦も深まり和気あいあいと活動を行っています。

◆自慢の事業

【学校見学会】 高等学校は埼玉県立浦和西高等学校等、中学校は中高一貫教育のさいたま市立浦和中学校や私立武南中学校等を訪問しています。この事業は毎年開催しており、少しでも進学の糧になればと思います。

【会長会】 会長同士の意見交換を図り親睦を深める為に行っています。

【副会長会】 副会長同士の情報交換を主体として、各単会での悩み事などを話し合い、共有しています。

【合同委員会】 浦和区内各小中学校から選出された総務委員会・事業委員会の合同委員会を年二回開催しています。事業の役割分担を決め、反省を話し合います。

【うらわっ子発行】 年度末には区連事業を紹介した広報紙『うらわっ子』を発行し、浦和区連合会の活動をアピールしています。

【合同研修会】 平成２８年度中央区連合会との合同研修会を開催しました。講師にはなまる学習塾の高濱正伸先生をお招きし、～母親だからできる事～をテーマに学びの場を持ちました。

【親子ふれあいコンサート】 新しい試みとして、平成２７年度に浦和区在住のプロミュージシャンの方をお招きして開催しました。プロの音楽を身近で聴き、音楽の素晴らしさを肌で知ってもらいました。また、参加した子どもたちとその場で出し合った言葉を音楽にしていく言葉遊びをして曲が完成したときは、参加者全員が大喜びでした。

これからも浦和区連合会は子どもたちの笑顔があふれる事業を行っていきたいと思います。



うらわっ子


親子ふれあいコンサート

高砂小学校

会長 岡田 知大　　校長 石山 大介

会員数 800　児童数 921

高砂小学校は、明治４年３月「浦和宿郷学校」として開校し、昨年度は、１４５周年を迎えることができました。歴史と伝統を受け継ぎ、子どもたち、保護者、教職員、地域とともに１４６年目を歩んでおります。

高砂小学校ＰＴＡ最大の行事は、開校１００周年記念のバザーから始まりました「高砂まつり」です。今年で第４６回目を迎えます。執行部のもと、学年部・成人教育部・広報部・保健体育部・校外指導部・サタデーサポート協力員が軸となり、青少年育成浦和高砂地区会等の協力を得、子どもたちの笑顔あふれるまつりを１１月に開催しています。学校全体がまつり会場にと変貌を遂げ、思い出に残る一日をみんなで作り上げる素晴らしい活動です。

地域の方々の温かさに見守られながら、保護者、教職員ともに子どもの心を育み、そしてＰＴＡ活動を通して、親も成長していく環境づくりをこれからも行ってまいります。

年度	PTA会長	校 長 名
23年度	森谷 行雄	小山　勝
24年度	野口 寛次	小山　勝
25年度	野口 寛次	浅見 茂男
26年度	野口 寛次	浅見 茂男
27年度	岡田 知大	浅見 茂男
28年度	岡田 知大	石山 大介



１４５周年記年音楽会(株)ＬＡＣ



高砂まつり（先生と徒競争）

常盤小学校

会長 細川 恵多　　校長 五十嵐 友一

会員数 754　児童数 867

歴史と伝統を誇る常盤小学校は、昭和５年に文教都市浦和に開校しました。県立近代美術館のある北浦和公園に隣接し、潤いある豊かな環境にあります。

常盤小学校ＰＴＡは、総務・広報・成人教育・校外安全・健康の５つの委員会で構成されています。また、サポート制度も様々ありヨムヨムサポーター、パパさんサポーター、防犯ボランティアサポーターなど地域の方々も協力していただき、子どもたちと学校を支えています。

２学期に行われる「ときわっ子まつり」は、毎年みんなが楽しみにしている行事です。６年生によるアントレスクールのお店（早期起業体験）、地域商店の出店、保護者と教職員による体験コーナーのお店、少年団・自治会によるコーナーなど盛りだくさんのおまつりになっています。

また、「ときわっ子コンサート」「ときわっ子作品展」は、保護者や地域の方々に喜びと感動を与えてくれると、大好評です。

常盤小学校ＰＴＡとして、一番素晴らしく思うことは、地域の方々に子どもたちが守られ、家庭と学校がともに成長できる環境にあることです。

今後も、より良い子どもたちの成長のために、学校と地域と連携し、楽しく参加できる活動を行ってまいります。

年度	PTA会長	校 長 名
23年度	岡　将彦	小宮　栄
24年度	岡　将彦	山下 成明
25年度	岡　将彦	山下 成明
26年度	石田 昌生	山下 成明
27年度	細川 恵多	五十嵐友一
28年度	細川 恵多	五十嵐友一



ときわっ子コンサートの様子



ときわっ子まつりの様子

木崎小学校

会長 丸山 史人　　校長 藤野　栄

会員数 678　児童数 849

木崎小学校は１８７４年に領家（木崎）村・長覚院に「領家村学校」と開設し、今年度創立１４２年を迎えた歴史と伝統のある小学校です。かつては田園風景が広がる農村でしたが、現在ではＪＲ北浦和駅から東１㎞、幹線道路である産業道路に接する位置に立地していることもあり、都市化が進みすっかり様変わりした住宅地になっています。また、明治時代の校舎玄関に捉えられていた鬼瓦がシンボルとして正門に埋め込まれており、子供たちを見守っています。

木崎小学校ＰＴＡは、本部を中心に成人教育委員会、厚生委員会、選挙管理委員会、広報委員会、学年委員会、校外指導委員会、地区委員会、ふれあいまつり委員会と８委員会に分かれて活動しています。なかでも２学期に開催される「ふれあいまつり」は、保護者、教職員が協力して行われる子供達が毎年１番の楽しみにしている行事の１つとなっています。

今後も、家庭、学校、地域が連携し子供の笑顔が溢れる環境づくりを行ってまいりたいと思います。

年度	PTA会長	校 長
23年度	積田 鉄也	茂木 高志
24年度	丸山 史人	渡邊 正道
25年度	丸山 史人	渡邊 正道
26年度	丸山 史人	藤野　栄
27年度	丸山 史人	藤野　栄
28年度	丸山 史人	藤野　栄



正門の鬼瓦



ふれあいまつりの様子

浦和区

仲本小学校

会長 山路 亜佐子　　校長 宮原　仁

会員数 611　児童数 702

仲本小学校は浦和駅の東側、徒歩５分の場所に位置します。再開発が進み、さかんな商業地の駅前を抜けると閑静な住宅地が広がり、その中に学校があります。学区の中ほどに位置する仲本小学校は創立８４年を迎え、温かな地域の見守りの中で、子どもたちはのびのびと過ごしています。ＰＴＡ活動は、近年、細分化を行い、委員ひとりひとりが各活動に集中し、ワークライフバランスを保っています。毎年秋に行われる仲本祭は保護者を中心に行われるメインイベントであり、学校、保護者、地域をつなぐ大切なお祭りです。毎年、趣向を凝らしたメニュー、イベントがお祭りを彩ります。自治会や子ども会の活動も充実していて、各町会のイベントは大変盛り上がります。年を重ねるたびに、ここに住まうことを通して、保護者も子どもたちとともに育ち、地域に感謝し、子どもたちに還元したいという気持ちが強くなります。これからも学校とこの地域の持つ温かさ、伝統をつなげていきたいと思います。

年度	PTA会長	校長名
23年度	今井 陽子	原　孝和
24年度	高柴瀬里香	原　孝和
25年度	高柴瀬里香	原　孝和
26年度	山路亜佐子	鈴木 孝夫
27年度	山路亜佐子	鈴木 孝夫
28年度	山路亜佐子	宮原　仁



仲本祭寄贈品バザー



図書ボランティア読み聞かせ

本太小学校

会長 中津川 和宏　　校長 井出 了一

会員数 671　児童数 794

本太小学校は、文教の地浦和にふさわしく、開校１０７年目を迎える歴史と伝統のある学校です。正門の前には、校章にも入っている桜の木が、子どもたちの行き帰りを見守ります。隣には本太氷川神社が位置し、緑豊かな落ち着いた環境が整っています。勉強にもスポーツにも一生懸命な子どもたちがたくさんいます。

本太小ＰＴＡは、本部役員会・総務委員会・広報委員会・文化委員会・安全委員会で構成され、監査委員を置いています。また、学校活動への協力として、「おやじの会」と「サポーター制度」があり、必要なときにお手伝いをしています。

地域の方々とは、緑陰お楽しみ会・ドッジボール大会・文化祭・多世代交流会を通じて交流しております。多くの行事を通して、子どもたちの笑顔・成長する姿を見ることができます。これからも会員同士力を合わせ、先生方・地域の方々と連携をとり、子どもたちが明るく楽しい学校生活を送れるように取り組みます。

年度	PTA会長	校長
23年度	橋本　大	今田 正幸
24年度	川本 泰正	今田 正幸
25年度	川本 泰正	山﨑　潔
26年度	川本 泰正	山﨑　潔
27年度	永嶋 充浩	井出 了一
28年度	中津川和宏	井出 了一



正門の桜の木



浦和区Ｂブロバスケ優勝

北浦和小学校

会長 佐藤 正孝　　校長 富永 恒一

会員数 481　児童数 582

北浦和小学校は、昭和２２年（１９４７年）に開校し、本年度で７０周年を迎える歴史と伝統ある学校で、「進んで学び　高め合う　北小の子」を学校教育目標として掲げている学校です。北浦和小ＰＴＡは、学級委員会、成人教育委員会、広報委員会、校外指導委員会の４つの委員会で構成されており、本年度のさいたま市ＰＴＡ協議会定期総会において、ＰＴＡ活動の長年の功績が評価され、さいたま市長より表彰されました。また、子供達と一番関わりのある活動は、２学期に行われる「北浦和フェスティバル」です。北浦和地域連絡協議会が主体となり、学校・地域の方々・各団体・保護者が連携・協力して行われるＰＴＡ活動の一大イベントです。今後も様々なイベントに協力し、学校・地域・保護者が連携し協力し合い「あかるく、なかよく、すこやかに」を合言葉に子供達が安全で安心して学べる環境作りに勇往邁進してまいります。

年度	PTA会長	校長
23年度	星野 雅之	川瀬 敏行
24年度	星野 雅之	富永 恒一
25年度	佐藤 正孝	富永 恒一
26年度	佐藤 正孝	富永 恒一
27年度	佐藤 正孝	富永 恒一
28年度	佐藤 正孝	富永 恒一



７０周年シンボルマーク



７０周年記念運動会の様子

仲町小学校

会長 越智田 晃　　校長 武井　悟

会員数 791　児童数 973

仲町小学校は、行政・文化の集まる環境に位置し、正門を過ぎて『なかよし坂』を歩くと、真正面には校舎を見下ろすほど高く伸びたヒマラヤ杉が印象的です。

仲町小ＰＴＡは、総務部・学年部・学習文化部・ベルマーク部・広報部・教育環境部・役員選考委員会・執行部で構成されており、毎年一番力が注がれる１１月開催『仲町小祭』に向けて準備を進めております。今年仲町小が創立６５周年を迎え、仲町小祭同日開催の記念式典に先立ち、児童から募集したシンボルマークには「仲町小のみんなに幸せが届くように」との思いを、６５の数字に四つ葉のクローバーでデザインしました。全校生徒・教職員が立ち並び、校庭に描いたこのシンボルマークを航空撮影します。同時に募集したスローガンは、高学年から低学年への思いが込められた『思いやる心をうけつぐ仲町小』に決まり、横断幕を掲げる準備をしております。子供達の優しさが応募内容全てから感じられました。

教職員・保護者と共に、子供達の心の育みを支える活動を心掛けてまいります。

年度	PTA会長	校 長
23年度	田口 貴央	中山 正一
24年度	田口 貴央	常見 昌弘
25年度	田口 貴央	常見 昌弘
26年度	越智田 晃	常見 昌弘
27年度	越智田 晃	常見 昌弘
28年度	越智田 晃	武井　悟



全校生徒で航空撮影



屋上からの撮影

上木崎小学校

会長 紅谷 弘二　　校長 金木 俊一郎

会員数 680　児童数 801

上木崎小学校は全校生徒数８０１名、創立６５年を迎える歴史と伝統ある学校です。閑静な住宅街の中にあり、地域住民の教育に対する意識も高く、児童を取り巻く環境は良好です。上木っ子は礼儀正しく挨拶が得意です。ＰＴＡ活動も盛んで、中でも育成会と力を合わせて実施するけやき祭りは学校行事の中でも特に盛り上がりを見せ、バザーやお化け屋敷、昔遊びなどイベントが盛り沢山で子供たちも毎年心待ちにしている行事の一つです。更に昨年度に続き、今年度も３００人規模で親子大焼き芋大会を開催しました。学校の校庭に２０もの焚火ができ、それを囲むように親子で焼き芋を作り、焚火を囲いながら火の温もりの中で学年を越えた親子、家庭間で交流ができたのは素晴らしい成果でした。その他のＰＴＡ活動にも皆さん積極的で和気あいあいと参加され、保護者、学校、地域の連携が素晴らしく、互いに協力しあいながら児童を優しく温かく見守る体制ができている、そんな素敵な学校です。

年度	PTA会長	校 長
23年度	佐藤 将也	豊島 瑞穂
24年度	佐藤 将也	眞嶋 廣久
25年度	椎名 純平	眞嶋 廣久
26年度	椎名 純平	眞嶋 廣久
27年度	紅谷 弘二	眞嶋 廣久
28年度	紅谷 弘二	金木俊一郎



けやき祭りのお化けやしき



キッズバザー

岸町小学校

会長 國分 隆之　　校長 矢部 一夫

会員数 532　児童数 600

岸町小学校は、さいたま市浦和区の閑静な住宅街にあり、近くには緑あふれる遊歩道やカワセミが生息する白幡沼があります。

岸町小ＰＴＡは本部と総務・広報・成人教育・保健安全・選出・フェスタの７部で構成されており、防犯パトロールや登校指導をはじめ、春と秋の校内美化活動や、『岸町小ふれあいフェスタ』、持久走記録会、岸町小絵画展などの学校行事を通じて子供たちや地域の方々との交流を深めています。また、昨年からはお父さん達による『岸町小もりあげ隊』も発足しました。そのほかにも基礎学力向上への取り組み『チャレンジ４５』の支援や、朝の読み聞かせなど保護者のボランティアに支えられて、子供にとってより良い環境づくりを目指しています。その取り組みが評価され、昨年はさいたま市優良ＰＴＡ団体として表彰されました。

特に『岸町小ふれあいフェスタ』は、ゲーム、バザー、出店がならび、児童・先生・地域の方々・保護者がともにふれあいながら過ごす風物詩となっています。

年度	PTA会長	校 長
23年度	篠﨑 繁雄	山元誠一郎
24年度	篠﨑 繁雄	山元誠一郎
25年度	篠﨑 繁雄	髙野 隆充
26年度	篠﨑 繁雄	髙野 隆充
27年度	篠﨑 繁雄	矢部 一夫
28年度	國分 隆之	矢部 一夫



匂う桜よ誇りに燃えて



躍る若鮎元気にあふれ

針ヶ谷小学校

会長 及川 幸三　　校長 坪井 政彦

会員数 478　児童数 569

針ヶ谷小学校は京浜東北線与野駅より徒歩１５分の閑静な住宅街に立地しています。

施設は体育館やプール以外にも大型の遊具や鉄棒、小高い丘や運動遊園もあり、子ども達が伸び伸びと活動できる環境が整っています。また、学校ファームがあり、農業体験も教育の一環として取り入れられています。「針ヶ谷ふれあい子ども教室」として、地域の方々の協力を得て、放課後・土曜チャレンジスクールが開催され、子ども達は様々なことを体験し学び、人間関係を深めることができており、学習意欲を高める活動ともなっています。

ＰＴＡ組織は本部と学年・広報・防犯パトロール・ベルマーク・リサイクル・ふれあい祭り実行委員会で成り立っています。活動は各委員会による子どもの健全育成への協力と会員相互の親睦を期し教養を高める活動を行っています。特色としては、育成会を中心とした地域の方々との協力により「ふれあい祭り」・「七夕飾り」といったイベントを行い、子ども達の防犯・安全対策も考え、実行していることがあげられます。

こうした活動により、縦・横・斜めの人間関係が強くなることで、子ども達は豊かな人間性を育もうとしております。

年度	PTA会長	校 長
23年度	鳥海 謙一	三村　昇
24年度	鳥海 謙一	栗田　亨
25年度	鳥海 謙一	栗田　亨
26年度	樋口 誠司	栗田　亨
27年度	樋口 誠司	栗田　亨
28年度	及川 幸三	坪井 政彦



ふれあいまつりの様子



七夕飾りの様子

大東小学校

会長 網干 勝弘　　校長 橋本　滋

会員数 547　児童数 657

大東小学校は、浦和区の東端に位置し、すぐ隣には緑区が隣接しているため両区から児童が通っています。

大東小ＰＴＡは、本部・学級学年・広報・生活・校外指導・大東っ子まつり実行委員会で構成されており、子どもたちと一番かかわるのは、２学期に行われる「大東っ子まつり」です。今年第２９回を迎えるこのまつりは、子どもたちの「ふるさとづくり」となるよう、ＰＴＡ・学校・育成会・商工会が協力して、校庭全体に模擬店やゲームコーナーを開設、また地域の方や保護者が出店するブースもあり、盛大なイベントになっております。

ほかにも、児童への本の読み聞かせや地域・季節のイベントなどにもＰＴＡが協力しており、今後も家庭・学校・地域が連携し、安心安全な地域づくりと、元気ですばらしい「大東っ子」たちが育つ環境づくりを行ってまいります。

年度	PTA会長	校 長
23年度	山本 大介	大澤 初枝
24年度	石川　茂	大澤 初枝
25年度	石川　茂	中村 徳之
26年度	奈良 真侍	中村 徳之
27年度	奈良 真侍	橋本　滋
28年度	網干 勝弘	橋本　滋



大東っ子まつりの様子



模擬店の様子

常盤北小学校

会長 浅野 敬尚　　校長 永嶋 和実

会員数 240　児童数 292

常盤北小学校は常盤中学校の北部に隣接し、子どもたちは「ひまわりっ子」として恵まれた環境の中でまっすぐに成長しています。

本ＰＴＡは、本部役員、クラス委員、広報委員、安全環境委員、保健体育委員、選考委員、会計監査、親父ひまわりの会：通称親ひま会で構成しています。

「すべては子どもたちの笑顔のために！」を目標に、常に知恵を出し合い取り組んでいます。その中でもひまわりフェスティバルは、保護者が運営する遊び場や喫茶店、バザー会場を友達同士でまわり、楽しみながら社会を体験できる場として評価を得ています。また、日頃家庭でできない水遊びを夏に、冬には火遊びを安全に企画することで、子どもたちの経験と成長を助長しています。

開校以来、２５年間むし歯ゼロを継続し、昨年度は周年事業として地域の皆様との航空写真撮影、そして、ＰＴＡ主催の秋の運動会を開催しました。

これからもひまわりっ子の笑顔のために、家庭・学校・地域がひとつの「常盤北ファミリー」となり、活動していきます。

年度	PTA会長	校 長
23年度	大竹　律子	谷　眞弓
24年度	中村　澄子	益子　聡
25年度	中村　澄子	益子　聡
26年度	浅野　敬尚	益子　聡
27年度	浅野　敬尚	永嶋 和実
28年度	浅野　敬尚	永嶋 和実



水かけっ子祭り



２５周年秋の２５２５(にこにこ)運動会

埼玉大学教育学部附属小学校

会長 島崎 仁嗣　　校長 有川 秀之

会員数 589　児童数 659

本校は、地域の教育研究モデル校として、２０１４年に創立１４０周年を迎え、地域の方々から「附属小」と称され親しまれています。浦和区の中央に位置し、さいたま市役所の奥の閑静な住宅街で、落ち着いた環境が広がっています。

公立学校と同様、初等普通教育を行う小学校でもあり、また埼玉大学教育学部の附属校としての性格を持ちます。学校教育目標は、「勤労をいとわない自主的精神の旺盛な、人間性豊かなよき社会人を育成する」。児童への重点目標は「かしこく、あかるく、なかよく、たくましく」を掲げています。また、地域とともにある学校として、運動会や展覧会(子ども達の作品)を一般公開しています。

ＰＴＡ事業としては、登下校時における校舎内外を保護者が見回ることで安全を確保し、毎月一回厚生安全部だよりを発行し、安全に対する意識を高めています。文化部では講演会や芸術鑑賞会を開催し、広報部では毎年２回広報誌「ひろば」を発行しています。また、本校の指導課題「投力低下の改善」に向けて、保護者がストラックアウト板を製作しメンテナンスしています。特に、保護者の学校教育への深い理解があり、年度当初の学校説明会、学年・学級保護者会、授業参観等でほぼ全家庭が出席しています。平成２５年度には、全国優良ＰＴＡとして、文部科学大臣表彰を受けたところです。学校教育目標の具現化に向けて、学校・家庭・地域が一体となって日々の教育活動を行うことができています。

年度	PTA会長	校 長
23年度	海田 英彦	大橋 修一
24年度	漆原　誠	大橋 修一
25年度	白石　浩	大橋 修一
26年度	白石　浩	有川 秀之
27年度	島崎 仁嗣	有川 秀之
28年度	島崎 仁嗣	有川 秀之



１４０周年記念全校航空写真平成
平成２６．６．１１



中国視察団の子供たちと
平成２８．７．１１

常盤中学校

会長 佐藤 マミ　　校長 山下 誠二

会員数 885　生徒数 880

常盤中学校は創立７０年の歴史と伝統に支えられながら、常に前に進み続ける、古くて新しい、活気あふれる中学校です。後援会より寄贈された俊英太鼓は、有志生徒が勇ましく演奏し、毎年うらわ祭りを盛り立てる、自慢の伝統の一つとなっています。

本校ＰＴＡは「庶務行事」「文化」「広報」「保健体育」「補導」の５委員会が高校見学会、文化講演会、ボウリング・ソフトボール大会、歓送迎会、新年会など、大変活発に活動しています。今年の体育祭のＰＴＡ演技は教職員、生徒、保護者、弟妹小学生の８チーム、総勢４００名で『高玉入れ』を行い、親子、師弟の真剣勝負で大いに盛り上がりました。

また、常盤中では生徒の約３割が自転車通学をしています。年に１度の自転車安全指導の際には、自転車の整備点検にあたる販売店の方々と共に補導委員会が活動し、地域と連携しながら子ども達の安全に努めています。

今後も家庭、学校、地域の風通しの良い関係を保って参りたいと思っています。

年度	PTA会長	校 長
23年度	矢野 豪士	鹿目 賢一
24年度	矢野 豪士	鹿目 賢一
25年度	牧野 綾姫	鹿目 賢一
26年度	牧野 綾姫	橋本　栄
27年度	佐藤 マミ	橋本　栄
28年度	佐藤 マミ	山下 誠二



祭で大活躍俊英太鼓



自転車安全指導手伝い

木崎中学校

会長 鈴木 悦子　　校長 大澤　敬

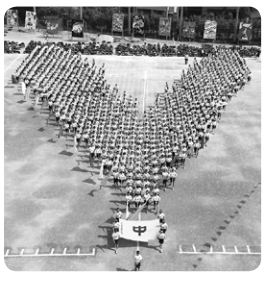
会員数 818　生徒数 875

木崎中学校は、昭和２２年５月２日に開校し、来年度７０周年を迎える歴史のある学校です。さいたま市のほぼ中央に位置し、近年、学校周辺の市街地化が進む中、武蔵野の面影を残す樹々の緑も豊かで、恵まれた学習環境にあり、文武両道の精神で学習や部活動に取り組み、活気に満ち溢れています。

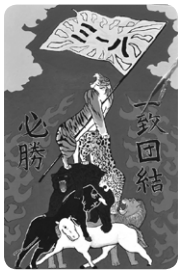
木崎中ＰＴＡでは、学校・地域と協力して、子どもたちがより良い環境の中で学校生活が送れるようにサポートしています。生徒会との協力事業として、生徒はもとより、保護者にも来校する際は新聞を持参するよう呼びかけ、新聞２０枚運動を行っており学校図書の整備に活用しています。また、地域の防犯パトロールにも参加し、子どもたちの安心・安全を見守っています。今年度からの取組として、保護者の進路に関する要望を受け、高校見学会を実施しました。

木崎中ＰＴＡは、今後も学校・保護者・地域をつなぐ架け橋となり、第一に子どもたちのための活動を行ってまいります。

年度	PTA会長	校 長
23年度	金子　康	大貫　暁
24年度	池田 和彦	大貫　暁
25年度	金子　康	大貫　暁
26年度	金子　康	大澤　敬
27年度	鈴木 悦子	大澤　敬
28年度	鈴木 悦子	大澤　敬



体育祭での入場行進



さいたまトリエンナーレ
出品作品

浦和区

本太中学校

会長 服部 史代　　校長 河本　茂

会員数 659　生徒数 692

本太中学校は、平成３０年に７０周年を迎えます。本校の特色は、文武両道でボランティア活動などを通して地域との繋がりが深い学校です。

またＰＴＡは、運営委員会・総務委員会・成人委員会・校外指導委員会・広報委員会に分かれ様々な活動をしています。その中に市内中学校でも開催が少ないマラソン大会のお手伝いがあります。全校生徒が男女に分かれ、埼玉スタジアムの周りを走り順位を競います。そこにＰＴＡ活動としてコースのポイントに立ち、生徒達の安全を図りつつ応援もしています。その他にも、本太中学校授業公開日に教科書・年間行事・給食の写真・部活のユニフォームや文化部の作品展示など、本校の紹介をしています。在校生保護者・地区小学校保護者・地域の皆様に知っていただくよい機会となり、好評をいただいております。

本校は「学び鍛える生徒・和する生徒・実践する生徒」が学校教育目標です。ＰＴＡはそれに向かう生徒のサポートができるよう、学校・保護者・地域の皆様と連携し活動を行ってまいります。

年度	PTA会長	校 長
23年度	椙田 芳男	野口 英世
24年度	椙田 芳男	野口 英世
25年度	倉持恵美子	河本　茂
26年度	鈴木不二子	河本　茂
27年度	服部 史代	河本　茂
28年度	服部 史代	河本　茂



学校紹介コーナー



マラソン大会

大原中学校

会長 白川　潤　　校長 中島 俊尚

会員数 800　生徒数 779

大原中学校は浦和区の最北端に位置し、広い敷地内には多くの自然があり、四季を楽しめる素晴らしい環境にあります。また、校庭の横の道一本隔てれば、浦和レッズの練習場があり、選手と実際に遭遇することもしばしばです。

生徒は主に上木崎小学校、木崎小学校、針ヶ谷小学校の卒業生から成り、学業だけではなく、部活動にも積極的に取り組み、伝統的に数々の好成績を修めてきています。大原中ＰＴＡは、本部を中心に総務部、校外指導部、保健給食部、広報部、学年部で構成され、年間で多くのＰＴＡ活動を行っています。中でも年２回実施する校庭の除草作業は、休みの日の早朝に生徒、先生、保護者が一体となって取り組む素晴らしい活動です。また、地域からも非常に温かいサポートを受けており、子供たちの安心、安全な生活環境を築いています。これからも家庭・学校・地域が一体となり、子供たちが目標に向かって邁進できる環境作りを行ってゆきたいと思います。

年度	PTA会長	校 長
23年度	小山紀代美	金子 修一
24年度	原田 健太	金子 修一
25年度	原田 健太	安藤 盛光
26年度	鳥海 謙一	安藤 盛光
27年度	白川　潤	安藤 盛光
28年度	白川　潤	中島 俊尚



家庭教育学の様子



給食試食会の様子

浦和中学校

会長 澤村 重子　　校長 大竹　実

会員数 235　生徒数 240

今年で創立７７年目を迎える市立浦和高校は、地域の皆さんや卒業生から「市高（しこう）」と呼ばれて親しまれています。その「市高」のもと、平成１９年度に併設型中高一貫教育校として市立浦和中学校が開校し、今年で１０周年を迎えました。１０月には創立１０周年記念行事を開催する予定です。生徒たちは、伝統ある高校の「文武両道」「自由闊達」「自主自立」の校風のもと、学習・部活動・学校行事に全力投球の毎日を送っています。

さいたま市立浦和高校・中学校ＰＴＡは、ＰＴＡに参加する一人一人の負担を軽くすべく、「出来ることを出来る人がやっていこう」という方針で活動しています。市内の一大イベント「浦和おどり」への参加は、今年で４０回目を迎え、中学男子サッカー部、高校バトン部、ＰＴＡ会員と総勢１１０名で参加しました。

また、卒業生の保護者を招いて進路公開座談会も行いました。今後もますます、中高連携を図りながら「チーム市立浦和」として、ＰＴＡ役員をはじめ保護者と教員が協力して、地域に愛される学校づくりのために継続したＰＴＡ活動を目指していきます。

年度	PTA会長	校 長
23年度	櫛嶋 英司	長谷川 浩
24年度	粟津 理恵	渡辺 春美
25年度	関谷 陽子	渡辺 春美
26年度	福田 美香	鶴巻 一郎
27年度	福田 美香	鶴巻 一郎
28年度	澤村 重子	大竹　実



揃いの浴衣で浦和踊り



卒業生保護者と公開座談会

南区連合会



1　谷田小学校
2　南浦和小学校
3　浦和別所小学校
4　大谷場小学校
5　大谷場東小学校
6　西浦和小学校
7　辻小学校
8　文蔵小学校
9　沼影小学校
10　大谷口小学校
11　浦和大里小学校
12　善前小学校
13　向小学校
14　辻南小学校
15　岸中学校
16　南浦和中学校
17　白幡中学校
18　大谷場中学校
19　大谷口中学校
20　内谷中学校
21　埼玉大学教育学部附属中学校

年度	歴代区連会長
23年度	田所 瀧雄
24年度	加藤 清孝
25年度	野上 一昭
26年度	野上 一昭
27年度	野上 一昭
28年度	野上 一昭

◆区連の特徴

南区ＰＴＡ連合会は、小学校１４校・中学７校の計２１校によって構成されています。「地域とふれあい深める絆、育くもう子どもの未来」をスローガンに掲げ地域並びに学校との連携を柱に、子どもたちの為に今何が出来るのかを共に考え活動しております。

◆自慢の事業

南区ＰＴＡ情報交換会

各学校の本部役員が集い、今本部で困っている事や工夫している事などを話し合い、お互いに情報を交換し交流を深め今後のＰＴＡ活動の参考にして頂く為の事業です。

南区ＰＴＡ連合会フォーラム

さわやか相談室を多くの方々に知って頂く事を目的に、さわやか相談員と直接話せる場としてフォーラムを開催しております。グループディスカッションでは、各テーマを決め少人数での意見交換を行い、さわやか相談員との交流を深めております。

ジョイフルみなみ

小学校の校庭・体育館を使用し、卓球や縄跳び等簡単な運動などを体験できる、親子で楽しめるスポーツイベントの協力を行っております。

南浦和アートフェスタ

アートに関わる展示・体験・音楽会などが行われるアートフェスタに、小学１年生５年生の作成したアートフラッグや、中学生が描いた絵画を展示しています。音楽会では、中学生による吹奏楽の発表の場ともなっております。


南区ＰＴＡ情報交換会


ジョイフルみなみ


南浦和アートフェスタ

谷田小学校

会長 日暮　猛　　校長 米山 文雄

会員数 377　児童数 480

谷田小学校はさいたま市の校庭全面芝生化事業の第１号、そして現在もその状態を維持している唯一の学校です。また、春には隣接する守光院と学校敷地内にサクラ色の雲が浮かんだような景観が出現し、地元地域の自慢でもあります。

今年度はＰＴＡのスローガンを「いつも応援　きらきら笑顔　ともに歩もう　見守りながら」として、学校・地域と関わりを深め、積極的な見守り活動を展開しています。

本部を中心にした組織は、学年、広報、教育文化、選考、地区の各委員会となります。校庭の芝生はボランティアの方々の活動に加え、各シーズンのＰＴＡクリーン活動によって春から秋にかけて緑の絨毯が維持管理されます。月１回のあいさつの日には、児童会役員にＰＴＡ会員も加わり校門に立ち、元気な声が響きます。大きな声は元気の源、張りのある学校生活をおくるうえで大いに力になっています。広報委員会や教育文化委員会では保護者にとって気になるテーマを取り上げ、学校と家庭のパイプ役としての役割を果たしています。地区委員会は安全を保つため集団登校班の編成や通学路の整備にあたり、忙しく動き回っています。

圧巻は、谷田小学校の「体力向上」研究発表会に、学年委員会が行ったＰＴＡ分科会です。児童の日常の生活に関わる問題を、アンケート分析を元に発表し、市内でも極めて珍しい取り組みとして、市教育委員会からも絶賛されました。

これからも“共に歩む”ＰＴＡとして、活動を進めてまいります。

年度	PTA会長	校 長
23年度	三溝 稚緒	村岡　博
24年度	三溝 稚緒	村岡　博
25年度	服部 詠子	今田 正幸
26年度	服部 詠子	今田 正幸
27年度	日暮　猛	今田 正幸
28年度	日暮　猛	米山 文雄



あいさつ運動



クリーン運動

南浦和小学校

会長 長久 未来　　校長 笹原 秀之

会員数 487　児童数 613

南浦和小学校は、今年で創立１４２周年の歴史ある学校です。校歌にも「富士見台」と歌われているように、白幡の高台にあり、見晴らしのよい校舎からは、遠くに富士山を望むことができます。

南浦和小ＰＴＡは、資源回収、ベルマーク運動、学校行事や地域行事への参加、広報紙の発行など、地道に、かつ熱意をもって取り組んでおります。なかでも１０月に行われる「南小祭」は、地域の方々のご協力もいただき、毎年子どもたちのもっとも楽しみな行事の一つです。各教室で行われるゲームや工作などは、すべて無料で参加することができます。バザーなどの収益で、毎年１００冊以上の図書を寄付しております。

その他、サポーター活動として、役員以外のすべての保護者にも、ベルマークや南小祭でのお手伝いをお願いすることで、学校や子どもたちと積極的に関わりを持つことができ、また保護者同士のコミュニケーションの場ともなっております。今後も、学校、地域、保護者が協力しあい、子どもたちが安心・安全に通い、充実した学校生活を送れるよう、活動してまいります。

年度	PTA会長	校 長
23年度	野上 一昭	石山 大介
24年度	野上 一昭	武井　悟
25年度	野上 一昭	武井　悟
26年度	野上 一昭	松戸政世史
27年度	長久 未来	松戸政世史
28年度	長久 未来	笹原 秀之



バザーの様子



ビンゴの様子

浦和別所小学校

会長 廣澤 勝幸　　校長 福原 秀夫

会員数 752　児童数 915

浦和別所小学校は、さいたま市の南西部に位置し、学区の北に別所沼公園、西には桜並木と紫陽花通りで知られる散歩道があり、都市部にあっても、比較的緑に恵まれ、落ち着いた教育環境にあります。また、校地は別所遺跡と呼ばれ、出土した縄文から古墳時代の土器類は、市の指定文化財となっています。

本校の特色は樹齢８０年余を超す桜の古木に囲まれる校庭、１周３００ｍの多目的走路、大型コンビネーション遊具、風致池、小動物とのふれあい広場等があり、子どもたちをはじめ、地域の方々の憩いの場にもなっています。

ＰＴＡ活動は各委員会をはじめ、楽しく活動をしております。

特に別所小まつりは、ＰＴＡ役員と保護者と地域と教職員が協力して、毎年大盛況で一番熱が入る行事です。地域との交流も盛んで、運動会等の行事にも積極的に参加しております。学校と地域とＰＴＡの連携とバランスを取り「べっしょっ子」が笑顔あふれる環境になるようサポートしてまいります。

年度	PTA会長	校 長
23年度	安田 知靖	浅見 茂男
24年度	安田 知靖	浅見 茂男
25年度	池辺 長和	福原 秀夫
26年度	池辺 長和	福原 秀夫
27年度	廣澤 勝幸	福原 秀夫
28年度	廣澤 勝幸	福原 秀夫



学校全体の様子



風致池の様子

大谷場小学校

会長 丸谷 ちづる　　校長 三上 良正

会員数 455　児童数 538

大谷場小学校は、さいたま市の南に位置し、学区は南北に長く、ほとんどが住宅地です。近くには葉根木公園や浦和競馬場があり、子どもたちの遊び場になっています。

大谷場小ＰＴＡは、総務学級委員会・文化教育委員会・広報委員会・校外指導委員会の４つの委員会で構成されております。ＰＴＡ活動の中で一番大きなイベントは毎年１１月に開催される「ＰＴＡバザー」です。保護者や先生方、地域の皆さまの協力のもと、校舎の中や校庭にお店やゲームコーナーが出来あがると、子どもたちは大喜びで色々なお店を見て回ります。バザーで売られる品はすべて保護者や地域の皆さまからのご厚意で提供していただいたもので、その収益は大谷場小の子どもたちの為に大切に使わせていただいています。

その他、育成会活動も盛んで、こいのぼり掲揚やたこあげ、ひなまつりなど季節ごとに楽しいイベントを開催していただいております。今後も学校・地域と連携し子どもたちを見守ってまいります。

年度	PTA会長	校 長
23年度	小池 淳一	鏑木　隆
24年度	小池 淳一	遅塚惠美子
25年度	小田　聖	遅塚惠美子
26年度	小池 淳一	遅塚惠美子
27年度	丸谷ちづる	遅塚惠美子
28年度	丸谷ちづる	三上 良正



体育館内のバザーの様子



キックターゲットの様子

大谷場東小学校

会長 田村 まなぶ　　校長 今井 三佐子

会員数 358　児童数 427

大谷場東小学校の子どもたちは「太陽の子」と呼ばれ、その校歌にもあるように「明るく歌のあふれる学校」として、今年５５周年を迎えました。

ＰＴＡ活動は、通学班を取りまとめる「地区委員会」、ベルマーク活動、保護者のための講演、講習会を企画・開催する「文化委員会」、広報紙を発行する「広報委員会」、ＰＴＡ本部を選出する「選考委員会」の４委員会を中心に行われています。またこれら委員会とは別に「猫の手・親の手」活動という有志によるボランティア活動もあり、「読み聞かせ」「トイレ掃除」「カーテン洗濯」「除草」「運動会お手伝い」「下校ボランティア」「洋服リサイクル」など、働く保護者、下に小さいお子さんのいる保護者など、様々な生活スタイルに合わせて時間帯などを選べるボランティア活動を実施し、できるだけ保護者が学校に関わることができるように工夫しています。学区の一番端に学校があるという地域の特徴から、なかなか地域の皆さまと交流しづらいという現状もありますが、夏に南浦和駅前で行われる「浦和よさこい」のお祭では、氷川会の皆さまのご協力をいただき、４年生を中心に高学年がお御輿を担がせていただき、氷川会の皆さまと同じ会場でお祭に参加、その臨場感また南浦和に脈々と続く文化を肌で感じる機会もあります。

これからもＰＴＡでは「太陽の子」とよばれる子どもたちの成長を様々な形でサポートしていくことを目指していきます。

年度	PTA会長	校 長
23年度	根岸 真澄	栗栖　完
24年度	根岸 真澄	栗栖　完
25年度	田村まなぶ	栗栖　完
26年度	田村まなぶ	宮原　仁
27年度	田村まなぶ	宮原　仁
28年度	田村まなぶ	今井三佐子



運動会



浦和よさこい

西浦和小学校

会長 植田 奈津子　　校長 三村　悟

会員数 731　児童数 934

開校５１年となる西浦和小学校は、子どもたちの笑顔・元気な挨拶・感謝の言葉があふれている学校です。１～６年生までが混ざった縦割り班で活動する「なかよしタイム」では、異学年が交流する中で、６年生がリーダーシップを発揮し、その姿を他学年が見習うという良い伝統が引き継がれています。

西浦和小ＰＴＡは５つの委員会活動に加えて、会員全員が参加する「お手伝いシステム」があり、ＰＴＡ活動を協力し合っています。秋の「ＰＴＡ主催西小まつり」では保護者・学校・地域がふれあいながら楽しむことを目的に、ゲーム、模擬店、バザー、種々のイベントなどを保護者が中心となり企画しています。毎年、子どもたちも楽しみにしている行事です。

その他、西浦和地区会のイベントやパトロールも協力し合いながら行っています。保護者・学校・地域の絆を大切にしながら、これからも西浦和小の子どもたちを見守っていく活動をしていきたいと思います。

年度	PTA会長	校 長
23年度	村中 敦子	山﨑　潔
24年度	宮崎 晴代	山﨑　潔
25年度	宮崎 晴代	千葉　裕
26年度	宮崎 晴代	千葉　裕
27年度	小谷 敬子	千葉　裕
28年度	植田奈津子	三村　悟



西小まつりの様子



防犯ベストでパトロール

辻小学校

会長 林　　薫　　校長 高田 信太郎

会員数 451　児童数 526

辻小学校は、南区の南部に位置し南浦和中学校と市立浦和南高校と隣接した文教地区を形成しています。辻の地名は江戸時代の五街道の一つ中山道との十字路に由来していると言われ、古くからの郷土の歴史を辿ることができる地域です。

辻小ＰＴＡは、学級学年委員会・広報委員会・成人教育委員会・校外活動委員会・本部役員選考委員会で構成されています。毎年２学期には「ふれあい」をテーマに「辻小フェスタ」を開催しています。ＰＴＡ全会員が役割を分担し、先生方にもご協力を頂いて、バザーや模擬店、ゲームコーナーなどを行っています。地域の方々をはじめたくさんのご来場者様が来校され、「ふれあい」を楽しんでいただいています。

年度	PTA会長	校 長
23年度	阪井田真由美	藤村 尚彦
24年度	高岡ゆかり	藤村 尚彦
25年度	高岡ゆかり	佐藤 和男
26年度	関根 大輔	佐藤 和男
27年度	関根 大輔	佐藤 和男
28年度	林　　薫	高田信太郎

辻小学校では来年平成２９年に開校５０周年を迎えます。今後も家庭・学校・地域が連携し、「光るあせ、かがやくひとみの辻っ子」をはぐくむ環境づくりを行ってまいります。



辻小学校の正門と校舎



辻小フェスタの様子

文蔵小学校

会長 髙橋 真紀　　校長 須山 恵美子

会員数 561　児童数 693

文蔵小学校は、南区の南東部に位置し、今年４５周年を迎えます。市内でも珍しく一校一地区の学校であり、地域の方々との交流が盛んです。子どもたちと地域の方々とがふれあう「文蔵っ子の集い」、「ふれあい体験」などのイベントが年間を通して催されます。

文蔵小ＰＴＡは、本部、学年委員会、成人教育部、広報部、校外指導部、選挙管理委員会、選考委員会、文蔵小まつり実行委員会で構成されています。２学期に行われる「文蔵小まつり」では、ＰＴＡ、学校、地域が一体となって盛り上がります。ゲームコーナー、模擬店などに加え、昔遊び、福祉体験などのイベントが催されます。準備は大変ですが、子どもたちの笑顔を見ると、また来年も頑張ろうという気持ちになります。

これからも、家庭、学校、地域が手を携えて、子どもたちにとって安全・安心な環境、そして健全な育成環境をつくってまいります。

年度	PTA会長	校 長
23年度	磯田真紀子	鈴木　洋
24年度	榊原 裕子	鈴木　洋
25年度	榊原 裕子	染谷 光博
26年度	薄田　崇	染谷 光博
27年度	薄田　崇	須山恵美子
28年度	髙橋 真紀	須山恵美子



文蔵っ子の集いの様子



ふれあい体験の様子

沼影小学校

会長 浜口 健司　　校長 廿浦　博

会員数 908　児童数 1,123

沼影小学校学区はさいたま市の中でも一、二を争うほど人口が増えている地域で武蔵浦和駅から徒歩１０分くらいのところに位置しています。児童数も１１２３名と大変多い学校です。そのため、大変活気があり賑やかな学校です。特に「あいさつ運動」に力を入れており、学校の内外で元気な「あいさつ」が交わされています。

ＰＴＡ活動も盛んで、１０月に開催される「沼小ふれあいまつり」は毎年大変盛り上がります。また育成会・地域自治会・少年団との連携もしっかりととれており、登下校時など防犯パトロールや見守り活動を強化しております。

沼影小学校は、今年で創立４５周年を迎えたためＰＴＡと小学校で協力をして、学校のマスコットである「沼ぴょん」のぬいぐるみを作成し、先日の運動会でお披露目をさせて頂きました。愛くるしいマスコットによって、子どもたちの沼小への愛着心も深まったものと確信をしております。これからも、沼影小学校をどうぞよろしくお願いいたします。

年度	PTA会長	校 長
23年度	加藤 清孝	杉渕 光芳
24年度	加藤 清孝	三村　昇
25年度	中島 徳二	三村　昇
26年度	中島 徳二	三村　昇
27年度	浜口 健司	廿浦　博
28年度	浜口 健司	廿浦　博



マスコット
沼ぴょん



お相撲大会

大谷口小学校

会長 伊藤　浩　　校長 西畑 孔夫

会員数 502　児童数 595

大谷口小学校は、南区の北東部に位置しております。近年住宅開発が進んでおりますが、自然と調和した街並みとなっております。

大谷口小ＰＴＡは、学級専門、総務、成人教育、広報、校外指導委員会で構成されております。年間行事のなかでとりわけ子どもたちと関わるのは、２学期に行われる「ＰＴＡバザー」です。この日は学校公開日とも合わせて、保護者と教職員が協力して、模擬店やゲームコーナーをおこない、子どもたちと保護者、教職員も一緒に楽しみながら交流できる企画となっています。

他には、育成会、自治会、子ども会とも協力しあって、地域のイベントや子どもたちの安全を守る活動を行っています。

年度	PTA会長	校 長
23年度	皆川　克	関根 好幸
24年度	皆川　克	関根 好幸
25年度	川村　徹	関根 好幸
26年度	川村　徹	西畑 孔夫
27年度	伊藤　浩	西畑 孔夫
28年度	伊藤　浩	西畑 孔夫



バザーでの様子



登校見守り活動の様子

浦和大里小学校

会長 村田 英司　　校長 益子　聡

会員数 881　児童数 841

浦和大里小学校は昭和５２年に、別所小学校から分離（鹿手袋、関全域、別所の一部）して開校。学校が建てられた場所が「別所字大里」といわれていたことから「浦和市立大里小学校」と命名されたそうです。その後平成１２年の三市合併（旧浦和市、旧大宮市、旧与野市）でさいたま市誕生を機に現在の「さいたま市立浦和大里小学校」と改められました。

３０年ほど前に埼京線が開通、徒歩５分の距離に武蔵浦和駅が開設されて以来、ゆっくりながらも周辺の開発が進み、開校当時とは大きく様変わりしました。

浦和大里小ＰＴＡは、平成８年度にスタートした組織です。秋に行われる「ふれあいまつり」をはじめ、様々な行事や活動をとおして、会員相互の親睦を図っています。「子どもたちのために！！　楽しみながら一歩成長しよう！」をモットーに、それぞれの委員会は活気にあふれ、いろいろな行事・活動をとおして浦和大里小の子どもたちをサポートしています。

年度	PTA会長	校 長
23年度	増田　剛	川瀬 園江
24年度	増田　剛	川瀬 園江
25年度	伊藤　温	川瀬 園江
26年度	伊藤　温	川瀬 園江
27年度	伊藤　温	益子　聡
28年度	村田 英司	益子　聡



４０周年記念キャラクター
さとぽん（児童より公募）



大里の運動会は５月に行われます

善前小学校

会長 和田 伸悟　　校長 山田 尚弘

会員数 436　児童数 558

善前小学校は、四季折々の草花に囲まれ「みどりの学園」とも呼ばれています。また、学校農園や学級農園があり子ども達も野菜を育てています。９９種類もの樹木があり、ＰＴＡが管理するお母さん花壇ではきれいな花が咲いている自然豊かな学校です。

善前小学校ＰＴＡは、クラス委員会・運営委員会・広報委員会・安全委員会で構成されています。なかでも２学期に行われる「ＰＴＡバザー」は、当校の金管バンドの演奏、フード、ゲーム、雑貨コーナーなど保護者と学校が協力して、子ども達や地域の皆様に楽しんでいただけるよう、工夫を凝らした催し物です。毎年地域の皆様に、楽しみにしていただいております。

防犯パトロール、ふれあい給食、学校公開など、様々な年間行事にＰＴＡが協力し、子ども達のそばで声を掛け、見守り続けていきたいと思います。

地域に根差した教育と連携による「ふるさと学校」づくりに協力すべく、子ども達の笑顔のために活動を行ってまいります。

年度	PTA会長	校 長
23年度	髙杉 公秀	染谷 光博
24年度	髙杉 公秀	染谷 光博
25年度	髙杉 公秀	永山　誉
26年度	髙杉 公秀	永山　誉
27年度	和田 伸悟	山田 尚弘
28年度	和田 伸悟	山田 尚弘



学校の様子



学校農園の様子

向小学校

会長 安藤 幸子　　校長 竹田 忠一

会員数 455　児童数 522

向小学校は、緑区、川口市に隣接する南区の端にあります。よって南区、緑区から半々の児童が元気よく通う学校です。二つの地域の皆様に見守られる素晴らしい環境にあります。向の子どもたちの為にと教室側に多くの木々の保全をして頂き、児童たちは春には新緑、夏は虫取り、秋にはどんぐりを拾い、冬は落ち葉の心地よい音と、四季も学ばせて頂けております。今年は開校２０周年を迎えることとなりました。２０周年を記念して、春の運動会では、バルーンリリース(写真)を行いました。また、１０月には、記念式典・校内音楽会・祝賀会を開催します。よき先輩方のすばらしい伝統のもと、特に、安全安心への取組にＰＴＡ活動として力を注いでいます。２０年を迎え、広報紙やベルマーク活動を工夫するなど、今後のＰＴＡ活動をより一層、子どもたちの笑顔のため、先生学校のためになるよう、また、会員自身が楽しい活動になるよう努めていきたいと思います。



バルーンリリース



校舎全景

年度	PTA会長	校 長
23年度	吉澤　円	富永 恒一
24年度	吉澤　円	小川 直美
25年度	吉澤　円	小川 直美
26年度	安藤 幸子	小川 直美
27年度	安藤 幸子	小川 直美
28年度	安藤 幸子	竹田 忠一

辻南小学校

会長 伊藤 桂子　　校長 石塚 利夫

会員数 405　児童数 512

さいたま市の最南端に位置する辻南小学校は、市内１０１番目の小学校として開校し、今年１０周年を迎えます。

辻南小ＰＴＡは学年委員会・成人保健委員会・校外委員会・広報部で構成され､「子どもが一番」「できる範囲で」「自主的に」の３つを柱に活動しています。

ＰＴＡ最大の事業は､『遊んで学ぼう！！辻南エコフェスタ』です。エコスクールパイロットモデル校として開校したことにちなみ、その名の通り、遊びながらエコを学べるブースが目玉のエコに特化したものとして開催しています。地域の方のグラウンドゴルフコーナーや先生方によるエコレンジャーショーなど、保護者だけでなく多くの方の手によって作られる温かなイベントになっています。他にも、下校から放課後の子どもの安全を見守る『むカエル運動』や生活習慣向上にも取り組んでいます。

辻南っ子のために学校・家庭・地域が一体となり、美しいものを見て感動したり、相手を思いやる豊かな心を育んでいきたいと思います。いつでも、どこでも、どんな時も笑顔を忘れずに､『常笑志向』で笑顔溢れるＰＴＡを目指してまいります。



エコレンジャー参上！



ヤキイモタイム

年度	PTA会長	校 長
23年度	熊谷あかね	髙村 達夫
24年度	熊谷あかね	髙村 達夫
25年度	長浜 忠実	髙村 達夫
26年度	長浜 忠実	石塚 利夫
27年度	長浜 忠実	石塚 利夫
28年度	伊藤 桂子	石塚 利夫

岸中学校

会長 山田 圭介　　校長 脇田 茂雄

会員数 621　生徒数 698

岸中学校は南区に位置し､「気品の岸　美の学園」を校訓に真理・感性・実践を教育目標に掲げ、教職員はじめ地域の皆様、ＰＴＡが一致団結し、日々子ども達の教育に取り組んでおります。

本校の特徴は、ＰＴＡが関わる行事がほぼ毎月のように開催されているため、学校とＰＴＡの距離が近く、良い友好関係を築きながら活動しているところです。

また、平成元年より続いている国際交流事業も実りの多い経験を残しており、今年度は創立７０周年という節目の年を迎え、１０月１５日には記念式典、祝賀会、文化祭を挙行いたしました。

今後も、未来を担う岸中学校の子ども達を育てるべく、学校、地域の方々と連携し、たゆまぬ努力を続けていく所存です。



校舎の様子



定例理事会の様子

年度	PTA会長	校 長
23年度	後藤 秀隆	佐取幸一郎
24年度	森谷 行雄	宮田 輝夫
25年度	森谷 行雄	宮田 輝夫
26年度	吉田 正臣	宮田 輝夫
27年度	吉田 正臣	脇田 茂雄
28年度	山田 圭介	脇田 茂雄

南浦和中学校

会長 池田 雅俊　　校長 大谷 慎也

会員数 725　生徒数 736

南浦和中学校は、さいたま市で最も南に位置する中学校で、今年創立７０周年を迎えます。昭和２２年、浦和市立六辻中学校として開校し、昭和３０年には浦和市立南浦和中学校となり、昭和３１年には現在のさいたま市文化センターの地に移転、さらに昭和４７年に現在の地へ移転と、２度にわたる引越しを経験した珍しい学校でもあります。

これは、生徒達により良い学習環境を整えたいと願った当時の地域の皆様方をはじめ、諸先生方、保護者の皆様の一方ならぬ支援によって成しえたものです。その気概は今も変わらず受け継がれています。

その一つ、校歌にも歌われるヒマラヤ杉は、当時のＰＴＡの方々によって植樹され、６０年を経て、なお、まっすぐに育っています。

年度	PTA会長	校 長
23年度	町田 直典	高野 隆充
24年度	塩入 仁美	高野 隆充
25年度	塩入 仁美	大谷 慎也
26年度	中里 清子	大谷 慎也
27年度	中里 清子	大谷 慎也
28年度	池田 雅俊	大谷 慎也

現在の南中ＰＴＡは、役員会をはじめ、広報部会・校外指導部会・成人教育部会・保健体育部会の各専門部会・学年委員会・推薦委員会で構成されています。制服のリサイクル販売や給食の試食会、巡回指導、広報紙の発行など、各部会とも積極的に取り組んで好評を得ています。

今後も、家庭・学校・地域と連携し、近隣校とともに、生徒が未来に向かってはばたけるよう、学習環境づくりを進めてまいります。



体育祭の様子



合唱コンクールの様子

白幡中学校

会長 野上 一昭　　校長 富田　聡

会員数 678　生徒数 668

白幡中学校は高台にそびえる学舎、水鳥が遊ぶ白幡沼等の恵まれた教育環境、学校への理解と協力・支援を惜しまない伝統のある落ち着いた地域、そして明るく、心豊かで、たくましい生徒が誇りです。

今年度、本校は「麗し和みの里　白幡中」をスローガンに掲げ７０周年を迎えます。地域・教職員・保護者そして生徒会が一丸となり、様々な事業に取り組んでおります。

ＰＴＡ活動に於いては、本部が学校との懸け橋になり、各委員会と担当副会長が密な連絡を取り合うことにより、円滑な運営が実現されております。

年度	PTA会長	校 長
23年度	廣田　晃	谷　俊和
24年度	廣田　晃	小笠原且久
25年度	廣田　晃	小笠原且久
26年度	豊田 真史	小笠原且久
27年度	野上 一昭	富田　聡
28年度	野上 一昭	富田　聡

白幡の地域柄なのでしょうか、ＰＴＡ活動には協力的で「子どもたちのために」との思いが強くあり、積極的に参加していただいております。

この恵まれた環境を未来へ繋いでいくためには、今日出来ることを確実にこなしていくことと考えます。

校章



校舎

大谷場中学校

会長 杉本 浩一　　校長 矢作 修一

会員数 572　生徒数 577

大谷場中学校は南浦和駅の東側に位置します。２１世紀の新しい学校教育の展望に立ち、多様な学習に対応できる柔軟な施設として建てられた現在の校舎は、さいたま市で初めての小・中学校一体型校舎です。

大谷場中学校ＰＴＡは、学年委員会・専門部会（厚生・校外・広報）・選考委員会で構成されています。おもな活動として毎月１、２回、登校時に「あいさつ運動」を実施し、役員と保護者有志が昇降口で子供たちを迎えます。入学当初は恥ずかしげな子供たちも、高学年になると「おはようございます。」と元気にあいさつしてくれる子が増えます。体の成長も表情の変化も、継続して見守ることでよくわかります。二学期には「制服リサイクル」を開催します。毎年１００枚以上の制服が寄付されます。先輩から後輩へのプレゼントとして「制服リサイクル」はすべて無料で必要な方々に差し上げており、好評を得ています。ほかに「高校見学」・「クリーン・ボランティア」・地域との協力など、親睦をはかりながら積極的に活動しています。

年度	PTA会長	校 長
23年度	小林 直太	篠原 邦雄
24年度	小林 直太	篠原 邦雄
25年度	手塚 健一	篠原 邦雄
26年度	手塚 健一	矢作 修一
27年度	杉本 浩一	矢作 修一
28年度	杉本 浩一	矢作 修一



あいさつ運動



制服 リサイクル

南区

大谷口中学校

会長 加納 紀子　　校長 汐満　猛

会員数 720　生徒数 731

大谷口中学校は浦和駅、南浦和駅、東浦和駅を頂点とする三角形の中心の位置にし、周囲を住宅に囲まれた閑静な場所にあります。大谷口中ＰＴＡは、本部９名、学年役員６０名で活動しています。委員会は設けずに各学年ごとに役割を分担し、１学年は研修旅行や給食試食会などのイベント担当、２学年は広報誌発行、３学年は高校見学会や卒業関連担当としているので、役員に立候補する保護者が多いことが特徴です。また、地域の方々がたいへん協力的なことも自慢です。育成会が主催する「夏の巡回活動」は、隣接する大谷口小学校と合同で行い、夏休み期間中に延べ約４００名が参加します。巡回活動では地域の方々や小中学校の先生方、小学校ＰＴＡと一緒に歩くため、地域や学校のこと、子供達の様子などの情報を交換する貴重な機会になっています。これからも家庭・学校・地域が一体となって子供達を見守り、「大谷口ブランド」を創ってまいります。

年度	PTA会長	校 長
23年度	村田 晴美	松井　聡
24年度	村田 晴美	松井　聡
25年度	細根　豊	千葉 和博
26年度	細根　豊	千葉 和博
27年度	清水いずみ	千葉 和博
28年度	加納 紀子	汐満　猛



巡回の様子



巡回集合写真

内谷中学校

会長 加藤 清孝　　校長 今溝 良司

会員数 980　生徒数 1,066

内谷中学校はさいたま市の南区、ＪＲ武蔵浦和の南に位置し、高層マンションが今も建設中で人口も増え、生徒も増えています。昨年の統計で見ますと埼玉県一生徒数の多い中学校です。

部活動も盛んで、文化部は各種コンクールや発表会で、体育部は県体、関東、全国大会で活躍しています。中でも今年度水泳部は全国中学校大会で男子４×１００ｍリレー種目で見事全国３位に入賞する快挙を成し遂げました。

ＰＴＡ活動でのバザー実行委員会は１２０名を超える委員さんが春から打ち合わせを重ね１１月３日『内谷中フェスタ』を開催します。模擬店をはじめ野菜販売・パン屋さん・某フライドチキン・某Ｌチョコレート販売や体育館では近隣、保護者からのバザー提供品販売も盛況です。

他にもＰＴＡは学区内小学校（沼影・大里・別所・辻・西浦和）の小中連携や育成会活動・地域自治会のイベントに協力し地域と連携し子ども達の安心安全活動を行っています。

年度	PTA会長	校 長
23年度	田所 龍雄	安藤 盛光
24年度	小林　巌	安藤 盛光
25年度	増田　剛	富田　聡
26年度	加藤 清孝	富田　聡
27年度	加藤 清孝	今溝 良司
28年度	加藤 清孝	今溝 良司

校章



全景

埼玉大学教育学部附属中学校

会長 田中　彰　　校長 首藤 敏元

会員数 537　生徒数 521

緑豊かな別所沼公園に隣接する本校は、「正しい判断力とたくましい実践力をもった自主的人間の形成」を教育目標とし、教職員と保護者が一丸となって教育諸活動に取り組んでおります。

本校の特色は、一言で言うと”熱い集団“です。先生方のきめ細やかで熱心なご指導の下、全ての生徒が勉学だけでなく、クラブ活動や学校行事など全てにおいて全力で取り組む姿は圧巻です。もちろん、保護者も子育て・教育に熱心な方々ばかりで、ＰＴＡ総会等種々な会合でもほとんどの方が出席され、ＰＴＡ活動に積極的に関わられています。

本校のＰＴＡは、補導育成部、文化広報部、厚生研修部の３部があり、本校の特徴ある活動としてＰＴＡ教育講演会、広報誌「おおとり」の年２回発行、ＰＴＡ研修旅行があります。役員の方々も、各部の活動において妥協を許さず高みを目指す姿は、これまた圧巻です。

今後も、この伝統ある“附中ＰＴＡ”を継承し、さらなる高みを目指して、“熱く”活動してまいりたいと思います。

年度	PTA会長	校 長
23年度	千葉 輝夫	鈴木 静哉
24年度	島田 正弘	鈴木 静哉
25年度	山本竜太郎	鈴木 静哉
26年度	泉谷　聡	首藤 敏元
27年度	漆原　誠	首藤 敏元
28年度	田中　彰	首藤 敏元



教育講演会



ＰＴＡ広報誌「おおとり」

南区

緑区連合会



1　三室小学校
2　尾間木小学校
3　原山小学校
4　大門小学校
5　野田小学校
6　道祖土小学校
7　中尾小学校
8　大牧小学校
9　芝原小学校
10　美園小学校
11　原山中学校
12　東浦和中学校
13　美園中学校
14　三室中学校
15　尾間木中学校
16　さくら草特別支援学校
17　浦和特別支援学校

年度	歴代区連会長
23年度	大熊　博
24年度	小坂 佐紀
25年度	金子 孝行
26年度	金子 孝行
27年度	今井 正樹
28年度	田中 豊太



さいたま市ＰＴＡ協議会緑区連合会は、平成２４年に美園小学校・さくら草特別支援学校が開校し、小学校１０校、中学校５校、特別支援学校２校、計１７校の学校で構成されています。緑区が発行した「緑区お宝１００選」にも代表されるような有形無形文化財を数多く有する緑の多いエリアで、子どもの成長には素晴らしい環境で、学校・地域・ＰＴＡの強い連携のもとに、未来の宝物である大切な子どもたちをサポートしています。

緑区連合会の自慢は何といっても「楽しみながら活動する」という方針です。子どもたちや学校のサポートを真剣に行いながらも、そこに楽しむ姿勢を決して忘れません。常に失敗を恐れないチャレンジ精神で活動を行うことで、大きな達成感と強い連帯感が生まれ、各学校の会長や役員の方々も、緑区連合会で活動できたことに感謝し、ＰＴＡ活動に携われたことを誇りに感じられるようになる連合会であると自負しています。

平成２６年度の関東ブロック研究大会さいたま市大会においては、研究発表で参加された柏崎小学校ＰＴＡ会長、川崎市ＰＴＡ連絡協議会前会長、講演会の講師(花まる学習会代表：高濱正伸氏)、緑区校長会の代表に参加していただき、予め用意した家庭の悩みを語り合うトークセッションを行いました。サイコロを使用してテーマを決めるという遊び心も相まって多くの参加者にとても好評をいただきました。また、平成２７年度の会長校長研修会では、「落語から学ぶ相手に伝わる話し方」をテーマに、さいたま市緑区出身である落語家古今亭志ん彌氏を招き、とても有意義な研修会となりました。

緑区連合会は「ＰＴＡの活動は真剣に楽しく」をモットーに活動しています。緑区連合会の素晴らしさを感じて頂けたら幸いです。



関ブロトークセッション


関ブロ分科会記念写真


落語家を招いての研修会



緑区の楽しい仲間

三室小学校

会長 田中 豊太　　校長 森　幹雄

会員数 716　児童数 875

三室小学校は、１４０年余りの歴史と伝統のある学校です。周辺には多くの史跡や閑静な住宅街が広がり、緑が多くとても自然豊かで、「かしこく・やさしく・たくましい」児童の育成に適した環境にあります。

三室小ＰＴＡは、本部役員と学年・専門・地区の３つの委員会で構成され、それぞれの役割の他、学校や地域の行事でも、活躍しています。学校行事の運動会では、防犯対策の為の活動だけではなく、ＰＴＡ競技に参加することで、頑張る子供達と共に盛り上がり、学校全体がひとつになります。地域の行事では、野外映画会やふれあい祭りなどがあります。子供達の安全や笑顔の為に、ＰＴＡが一丸となって、精一杯お手伝いをし、地域とのつながりも大切に、笑顔いっぱいで楽しく活動しています。

これからも、学校・家庭・地域との連携をより強化し、一致団結して、子供達が安心して生活でき、健やかに成長できる様、努めていきたいと思います。

年度	PTA会長	校 長
23年度	高橋 緑代	米山 文雄
24年度	齊藤美裕樹	米山 文雄
25年度	齊藤美裕樹	米山 文雄
26年度	田中 豊太	奥脇千鶴子
27年度	田中 豊太	奥脇千鶴子
28年度	田中 豊太	森　幹雄



運動会 本部役員



親子で楽しむ落語会（文化イベント）

尾間木小学校

会長 佐藤　度　　校長 久田 冨士子

会員数 784　児童数 951

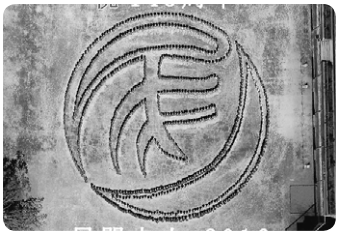
尾間木小学校は、明治５年に大牧学校として大牧村清泰寺旧舎に開校し、今年で開校１４５周年を迎えました。

尾間木小ＰＴＡは、学年総合、役員選考、とちのこ、ベルマーク、学習文化、広報、教育環境の各委員会から構成されており、活発な意見交換を行いながら活動しております。毎年秋には、とちのこ委員会を中心に、学校・家庭・地域社会の”ふれあいの場”として、全委員会参加の一大イベント「とちのこフェスティバル」を開催。防犯・安全活動では「おまぎっ子☆みまもり隊」として保護者が積極的に活動しております。また、ＰＴＡ総会につきましては、学校と連携して学校公開日に開催。大勢の保護者の方に参加していただきました。

近年のトピックとしては、昨年、有志による「とちのこ父組」が結成され、お父さん達も大活躍しております。

これからも、常に何がベストか考えるＰＴＡとして、子どもの笑顔を第一に活動をしてまいります。

年度	PTA会長	校 長
23年度	池野 隆一	松田 泰成
24年度	今井 正樹	松田 泰成
25年度	今井 正樹	久田冨士子
26年度	今井 正樹	久田冨士子
27年度	今井 正樹	久田冨士子
28年度	佐藤　度	久田冨士子



開校１４５周年記念航空写真



とちのこフェスティバルの様子

原山小学校

会長 中田 加奈　　校長 佐藤 不二雄

会員数 635　児童数 752

原山小学校は昨年度開校６０周年の節目を終え、本校が地域・保護者とともに発展してきたこと、そしてこれまで築きあげてきた伝統を大切にし、さらに充実した教育活動・ＰＴＡ活動の実践をめざしております。経営キーワードは～「希望」「安全・安心」そして「連携」＝学好～。そして、めざす学校像は『子どもたちが嬉々として登校し充実感に満ちて家路につく学校』です。

『あいさつと笑顔にあふれる学校』が合言葉－学校・保護者・地域の三者協力のあいさつ運動『ハッピーマンデー』は、子どもたちにも定着。大人と子どもが近づけるよいきっかけにもなりました。

ＰＴＡでは、ベルマーク活動が大変盛んに行われています。昨年度は全国３４位、埼玉県４位！子どもたちもクラス対抗戦で盛り上がっています。

年度	PTA会長	校 長
23年度	西ヶ谷一志	松澤　隆
24年度	浅倉 稔明	松澤　隆
25年度	浅倉 稔明	松澤　隆
26年度	浅倉 稔明	高村 達夫
27年度	浅倉 稔明	高村 達夫
28年度	中田 加奈	佐藤不二雄



原山ドリームバルーン



ＰＴＡベルマーク活動

大門小学校

会長 苫米地 次郎　　校長 石黒 真愁子

会員数 380　児童数 447

大門小学校は明治６年に創立され、今年で１４４年目を迎えます。歴史のある大門地域の皆様に見守られながら子ども達が成長していく、花とあいさつに囲まれた元気な小学校です。大門小ＰＴＡは、子ども達の為に何が出来るか、何をすべきかを常に考えて活動しております。毎年夏には、子ども達が校内で安全に遊んだり活動できる様に環境整備活動を実施しております。地域の方々や保護者のお手伝いを頂きながら、校内の危険箇所の除草をしたり、木々の剪定を子ども達と一緒に行います。また、秋には「秋のふれあい大門まつり」を実施しております。「秋のふれあい大門まつり」は、子ども達が地域の方々、保護者、教職員と楽しく１日を過ごしふれあう事を目的としています。また、大門まつりで得た収益金は、演劇鑑賞の補助に充てるなど、子ども達の為に使われます。この様に子ども達の成長を祈りながら、楽しくＰＴＡ活動を行っております。

年度	PTA会長	校 長
23年度	大熊　博	宮原　孝
24年度	小林 憲司	宮原　孝
25年度	柏木　光	宮原　孝
26年度	鈴木 秀幸	岡村 洋彦
27年度	原　孝順	岡村 洋彦
28年度	苫米地次郎	石黒真愁子



環境整備の様子



大門まつりの様子

野田小学校

会長 浅子 美衣子　　校長 三澤 仁生

会員数 127　児童数 174

豊かな自然環境に恵まれた野田小学校は、地域の皆様と共に長い歴史と伝統を育んでまいりました。

野田小学校ＰＴＡでは、学校・家庭・地域が連携し、子どもたちがいつも笑顔で過ごせるように様々な活動に力を入れています。ＰＴＡは、執行部、学年代表委員会、総務委員会、環境補導委員会、交通安全委員会、広報委員会、推薦委員会と、各地区から選出された地区理事の方で構成されています。

朝の交通安全指導、巡回活動、痴漢注意看板作成設置、通学路危険箇所の改善、広報紙発行、環境整備、学校行事協力などの活動を各委員会ごとに行っています。

学校行事の中でも、全校田植え・稲刈りは保護者の協力がとても必要な行事の一つです。子どもたちと一緒に田んぼの中に入り、貴重な体験をさせてもらっています。

ＰＴＡではこれからも、学校と地域と手を取り合い、子どもたちが笑顔で安心して学校生活がおくれる環境づくりを進めてまいります。

年度	PTA会長	校 長
23年度	本間美菜子	石塚 利夫
24年度	丸　薫	石塚 利夫
25年度	富田のり子	石塚 利夫
26年度	栗原 美幸	三澤 仁生
27年度	萩原 真美	三澤 仁生
28年度	浅子美衣子	三澤 仁生



環境整備作業の様子



全校田植えの様子

道祖土小学校

会長 井鍋 俊彦　　校長 増田 藤雄

会員数 612　児童数 733

道祖土小学校は市の南東部、緑区と浦和区の境に位置し、本年度で開校４２年目を迎えます。

本校は２面の広いグランドを持ち、校内の池にはザリガニが生息（時にはシラサギも飛来）。また様々な実のなる木、農園に花壇など、「さいどっ子」たちは恵まれた環境で勉強と遊びに励んでいます。そのさいどっ子ですが、とにかく「あいさつ」が素晴らしいこと。訪れる方々からもお褒めの言葉をいただいています。

道祖土小ＰＴＡは学年学級・厚生・校外指導・広報・推薦の各委員会から構成され、それぞれ活発に活動しています。ＰＴＡ活動の中でも特に大きなイベントが、毎年秋に開催する「さいどっ子まつり」です。ＰＴＡによる様々な出店、ミニショップ、先生や地域の方々による各種コーナーなど、子どもたちが毎年楽しみにしています。最近ではおやじの会によるポップコーン販売も開始し、こちらも人気。その他、地域の様々な活動にもＰＴＡとして協力しています。

今後は、持続可能なＰＴＡを踏まえて今の社会にあるべき形を模索しつつ、引き続き学校・保護者・地域で連携し、さいどっ子をサポートしてまいります。

年度	PTA会長	校 長
23年度	鈴木 悦子	小泉 勝義
24年度	鈴木 悦子	小泉 勝義
25年度	大島 睦美	井原 政幸
26年度	大島 睦美	井原 政幸
27年度	大島 睦美	増田 藤雄
28年度	井鍋 俊彦	増田 藤雄



さいどっ子まつりの様子（プラバン工作）



さいどっ子まつりの様子（どら焼き販売）

中尾小学校

会長 風間 恵子　　校長 岡　義行

会員数 570　児童数 742

中尾小学校は、今年開校３８周年を迎える学校です。学校の周りには、開校当初に地域の方が植えてくださった樹木が育ち、多くの緑に囲まれています。校地内には中尾川が流れ、児童がザリガニやメダカ等の観察をしています。校舎南側のグリーンランドでは、米や野菜の栽培や収穫などの体験学習を行っています。また、地域の多くの方が、ボランティアとして学校に係わってくれています。毎朝児童の登校を見守り、登校班と一緒に学校まで来てくれる防犯ボランティアをはじめとして図書や環境整備など多くのボランティアの方が子どもたちのために活動してくれています。

ＰＴＡ活動も、学年や学習文化などの６つの専門委員会を中心に活発に活動をしています。中でも毎年１１月に行われるふれあいフェスティバルでは、地域の方も一緒になって模擬店やバザーなどの催しを行います。当日は、多くの人が訪れ大きな盛り上がりを見せます。

年度	PTA会長	校 長
23年度	根本しのぶ	峯岸 洋行
24年度	榎本 明男	峯岸 洋行
25年度	榎本 明男	峯岸 洋行
26年度	榎本 明男	峯岸 洋行
27年度	榎本 明男	岡　義行
28年度	風間 恵子	岡　義行



地域の方に教えてもらう田植え



ふれあいフェスティバル

大牧小学校

会長 平岡 寿美枝　　校長 澤田 直樹

会員数 456　児童数 515

大牧小学校は、緑区のＪＲ武蔵野線・東浦和駅近くに開校し、３５周年目になります。学区内には、国の指定史跡である見沼通船堀や会津藩祖・保科正之を養育した見性院が眠る清泰寺、浦和くらしの博物館民家園などがあります。

大牧小ＰＴＡには、学習文化活動委員会・教育環境委員会・保健厚生委員会・広報委員会・生活安全委員会があり、保護者と教職員が協力し、子どもたちのために様々な活動をしています。学校の近くには「たっぴー畑」と呼ばれる学校ファームがあり、全家庭年に１回の当番制で草取りを行っています。また、秋には持久走会が実施され、学校の敷地外を走る子どもたちの安全確保のために、保護者が見守りを行っています。このように、ＰＴＡ活動を通じて子どもたちの活動の様子や成果を保護者に見てもらえるよい機会ができております。

見沼の自然を身近に感じながら、子どもたちが家庭・学校・地域の中で健やかに成長できるよう、より良いＰＴＡ活動ができるよう努めてまいります。

年度	PTA会長	校 長
23年度	森川 晴子	武井　悟
24年度	中司 真美	槙山 正春
25年度	中司 真美	槙山 正春
26年度	三ツ井雅弓	槙山 正春
27年度	三ツ井雅弓	澤田 直樹
28年度	平岡寿美枝	澤田 直樹



たっぴー畑（とうもろこし）



全校徒歩遠足

芝原小学校

会長 松本　淳　　校長 豊島　登

会員数 654　児童数 860

芝原小学校は昭和５８年に三室小学校より分離独立、緑豊かな見沼の大自然と武蔵国一宮氷川女體神社、馬場小室山遺跡などの歴史に囲まれた地にあります。

芝原小学校ＰＴＡは役員、クラス役員、学年委員会、文化広報委員会、保険厚生委員会、地区委員会からなり、運動会をはじめとする学校行事のお手伝い、地域育成会の様々な活動のお手伝い、巡回パトロール、広報紙『かがやき』の発行、給食試食会、通学安全検討会などを行い、「明るく　さわやかな子」を育むことをモットーに保護者、教職員、地域が連携を図りながら活動しています。

今後は芝原小学校が地域の中心的コミュニティとして発展していけるよう頑張ってまいります。

年度	PTA会長	校 長
23年度	金子 孝行	藤野　栄
24年度	金子 孝行	玉井 康仁
25年度	金子 孝行	玉井 康仁
26年度	金子 孝行	豊島　登
27年度	金子 孝行	豊島　登
28年度	松本　淳	豊島　登



みむろっ子まつりのお手伝い



運動会係　事前説明会の様子

美園小学校

会長 星野 祥太　　校長 槙山 正春

会員数 986　児童数 1,208

美園小学校は、今年で５周年を迎えた新しい学校です。近隣には大型複合施設やさいたまスタジアムもあり、活気ある環境の中にあります。

美園小ＰＴＡは、運営委員会を中心に、学級委員会・厚生委員会・広報委員会・地区安全委員会・卒業対策委員会で構成されています。全体での行事として、毎年行われる「MISONO フェスタ」に力を入れ、児童、教職員、保護者、地域の方々の交流を促進し、親睦を深めています。催し物、タオル人形製作、バザー、ゲーム、先生方の昔遊びなど、来場する皆さんが楽しめる内容になっています。

美園小は通学範囲が広く、児童数は千人を超えています。従って、通学班編成やパトロール体制の強化などもＰＴＡの重要な役割です。ＰＴＡだけでなく、ボランティアの方々の協力をいただきながら、学区全体で行っています。

また、美化にも力を入れており、年に３回の環境整備と花の植栽活動を行っています。他にも防犯パトロールなどをはじめとする、地域の活動などにも積極的に協力しています。歴史の浅い学校であり、ＰＴＡ組織も未成熟な部分はまだまだありますが、子どもたちの健全な成長と安全を見守るために、日々努力をしています。

年度	PTA会長	校 長
23年度		
24年度	安藤 和大	川本 順一
25年度	佐藤 昌吉	川本 順一
26年度	浅見 和正	川本 順一
27年度	安藤 和大	槙山 正春
28年度	星野 祥太	槙山 正春



ＭＩＳＯＮＯフェスタ



大運動会

原山中学校

会長 岡田 宏美　　校長 林　直紀

会員数 710　生徒数 684

原山中学校は、今年創立７０周年を迎えました。歴史と伝統に支えられ、中学校では珍しく同窓会、後援会があります。学校行事、勉強だけでなく部活動も全力で取り組む生徒たちは、いつも周りに感動を与えてくれます。そして県大会、関東大会へと勝ち進む部活を、同窓会や地域の皆様全ての家庭が協力してくださっている後援会が支援しています。地域に愛され、卒業生の誰もが誇りに思える素晴らしい学校です。

原中ＰＴＡは、運営を工夫し、委員の活動期間は必ずしも１年ではなく、ひとつの活動を担当すればそれでよい、という形に変えました。人手の必要な活動にはサポーターを募集します。委員ではない保護者も一緒になって、一人ひとりの負担を少なくし、多くの保護者に参加していただける組織を整えて、全員でＰＴＡ活動を行っていこうとするものです。どこの家庭も共働きの時代に合ったＰＴＡを目指しています。

年度	PTA会長	校 長
23年度	小坂 佐紀	金　清治
24年度	小坂 佐紀	金　清治
25年度	今井 陽子	矢内　洋
26年度	今井 陽子	矢内　洋
27年度	岡田 宏美	矢内　洋
28年度	岡田 宏美	林　直紀



花植え



高校見学会

東浦和中学校

会長 早松 礼子　　校長 柳澤 登紀男

会員数 549　生徒数 530

創立以来、７０年の歩みをもつ伝統ある学校です。

学校を取り巻く自然環境は、緑に囲まれ四季折々に変化する恵まれた自然が数多く残っています。また、国道４６３号線、第二産業道路が学区を通り、東北自動車道浦和インターが近いために比較的交通量の多い地域でもあります。

東浦和中ＰＴＡは、本部をはじめとして、総務・文化教育・広報・学年・校外指導の各委員会で構成し、本年度は「学校と家庭、地域の連携を深める事業の推進と充実」「心触れ合うあいさつ運動の推進」「地域ぐるみで子どもを育てる運動の推進協力（安全パトロール等）」「学校教育環境の整備・充実（緑化の推進）」「運営委員会だより発行」を重点として活動しています。

主な取組は、学校行事等及び「心触れ合うあいさつ運動」への協力や巡回活動などと各委員会主催の各活動です。各活動は、植栽や広報紙の発行、講習会の開催、協議会への参加などを行っています。

今後につきましても、家庭・学校・地域が連携して夢を追い、自らを高める生徒が育つ環境づくりに努めてまいります。

年度	PTA会長	校 長
23年度	白須 泰子	高橋 勝孝
24年度	牛島 陽子	高橋 勝孝
25年度	小野 雅子	野口　浩
26年度	上田 千代	野口　浩
27年度	上田 千代	柳澤登紀男
28年度	早松 礼子	柳澤登紀男



給食試食会の様子



高校見学会の様子

美園中学校

会長 貴田 謙一　　校長 阿久津 一浩

会員数 493　生徒数 523

市内一の広い学区を持つ美園中学校は、見沼の田園風景と四季折々の花々に囲まれ、その名の通り「美しい園：美園」の学校です。

ＰＴＡは、本部と６つの専門委員会～総務委員会・会員交流委員会・保健文化委員会・広報委員会・学年進路委員会・地区理事委員会～から構成され、主な活動は次の通りです。

会員交流委員会は教職員とＰＴＡ会員との親睦を図るために歓送迎会・新年会の企画をしています。保健文化委員会はヨガ教室開催でＰＴＡ会員の健康増進や、給食試食会を通して学校給食の向上の手助けをしています。広報委員会は広報紙を発行して広報活動を担い、学年進路委員会は保護者向け高校見学会とそれを高校訪問記にまとめて情報提供を行っています。

年度	PTA会長	校 長
23年度	内田 和浩	平田　功
24年度	内田 和浩	平田　功
25年度	坂本 桂司	平田　功
26年度	貴田 謙一	藤澤 太郎
27年度	貴田 謙一	藤澤 太郎
28年度	貴田 謙一	阿久津一浩

本校は長きにわたり、ニュージーランドとの国際交流活動を行なってきました。今年度からはオーストラリアで現地校との交流とホームステイを含む海外研修を行ないました。

このように様々な機会で協力し合い、子ども達の成長と教育の充実を手助けする活動をしています。



広報紙「みその」



高校訪問記

三室中学校

会長 伊橋　勲　　校長 落合　優

会員数 853　生徒数 864

平成２８年度の三室中学校ＰＴＡのテーマは、「創り出そう　みんな笑顔で　感動を」です。

ＰＴＡでは、子どもたちが健全な中学校生活が送ることができるよう、学校・家庭・地域が連携し日々の活動を積み重ねています。保護者全員で学校行事や地域行事へ参加協力をし、子どもたちと笑顔でふれあい感動を共有しています。「学校ファーム」では、保護者も一緒に除草作業を行い、そこで収穫された大根や里芋は地域の「三室ふれあい祭り」で毎年即完売しています。保護者は主催側お手伝いと来場者の駐輪場整理で大忙しです。朝のあいさつ運動では毎朝保護者が「おはよう」と声をかけ、下校時のパトロールも実施しています。「三室中の窓」では、地域の方々、三室小学校・芝原小学校の保護者の方々をお誘いして講座を開くなど、三室中学校を知っていただき、交流の場となっています。学校で「学び」家庭で「しつけ」地域で「育てる」この三者連携で心豊かな子どもたちの育成に協力を惜しまず活動して参ります。

年度	PTA会長	校 長
23年度	倉持 知哉	稲井 利雄
24年度	保坂知栄子	稲井 利雄
25年度	押田由起子	藤村 尚彦
26年度	徳永 正裕	藤村 尚彦
27年度	鴨志田順一	藤村 尚彦
28年度	伊橋　勲	落合　優


学校ファーム ジャガイモの収穫


三室ふれあい祭りにて

尾間木中学校

会長 荻島 紀代香　　校長 堀田 明良

会員数 620　生徒数 634

尾間木中学校は平成２年４月に開校し、本年度で２７年目を迎えた学校です。学区には国指定史跡見沼通船堀があり、歴史と自然に恵まれた地域でもあります。

尾間木中ＰＴＡは、本部を中心に総務・事業・教育環境・広報・役員選考の５つの委員会から構成されております。今年度は(１)昨年度に引き続き、全保護者による朝のあいさつ運動の実施。(２)「そなエリア東京」見学等の研修旅行、校内樹木の剪定作業、リサイクル活動、上級学校見学会、学校給食試食会などの各種事業の実施の継承と一層の充実を図る。(３)校内での保護者用名札着用の徹底等安心安全対策を推進し、防犯・防災・非行防止についての活動に力を入れる。(４)地域関係団体主催の講習会・展示会の開催に積極的に参加協力を行う。以上４点を柱として活動します。

このほかにも体育祭等の学校行事の協力を行うなど、家庭・学校・地域が連携し、「豊かな心をもち、たくましく生きる」生徒育成に寄与して参ります。

年度	PTA会長	校 長
23年度	榎本　昇	脇田 茂雄
24年度	榎本　昇	外園 倫生
25年度	榎本　昇	外園 倫生
26年度	小林 恵子	外園 倫生
27年度	安藤真実子	増田 直由
28年度	荻島紀代香	堀田 明良


高校見学会


給食試食会

さくら草特別支援学校

会長 宮本 三裕　　校長 佐藤 浩市

会員数 75　　児童数 32

さくら草特別支援学校は、今年度で創立５周年を迎えました。市内南東部に在住する児童生徒が通学しています。校舎は、閑静な住宅街に合わせ、低層で景観や環境に配慮した設計となっています。内部は、完全バリアフリーで、市内初の室内温水プールを設置し、障害特性に応じた指導を行っています。

本校ＰＴＡは、小学部から高等部までの在籍児童生徒数３２名、教職員４３名という小さい会ですが、学校教育目標「ノーマライゼーション社会において、もてる力を発揮し、共に生きる子どもを育てる」のもと、保護者と教職員が協力しながら夏休みプール開放、文化祭ゲームコーナーの企画運営、施設見学会などを実施しています。また、バザーや染色体験会、クリスマスリース作り講習会などを開催し、地域の方々との交流を大切にした活動に取り組んでいます。今後もますますＰＴＡ活動が活発になり、子どもたちが生き生きと学校生活を送れるよう新たな取組に積極的にチャレンジして参ります。

年度	PTA会長	校 長
23年度	（創立前）	（創立前）
24年度	髙濱 正伸	櫻井 康博
25年度	髙濱 正伸	櫻井 康博
26年度	半田 利一	米山 文雄
27年度	尾身　浩	米山 文雄
28年度	宮本 三裕	佐藤 浩市



第１回バザーの様子



クリスマスリース作り

埼玉県立浦和特別支援学校

会長 菊池 美智恵　　校長 小佐野 雅子

会員数 234　　児童数 238

浦和特別支援学校は、昭和５６年に開校した知的障害のある子供たちが通う県立の特別支援学校です。小学部・中学部・高等部があり、子供たちは将来の社会自立に向けて学習を行っています。大崎公園が隣接しており、見沼田んぼなどの自然に囲まれた環境で子供たちものびのびと学んでいます。

本校のＰＴＡは本部役員と学年委員とで構成され、学年委員は総務部・広報部・進路対策部のいずれかの専門部に属して活動しています。それぞれの専門部活動の他に、ＰＴＡとして一丸となって行う活動としては、本校の文化祭である「げんき祭り」でのバザーや、ＰＴＡ主催の「どんどん祭り」があります。

げんき祭りのバザーは生徒たちの買い物体験の場としても活かされています。またどんどん祭りは近隣の学校や地域の団体にも参加していただき、みんなで楽しめるコンサートとして開催をしています。

今後もより地域の方との関わりや交流を深めながら、子供たちの将来の社会参加につながるような活動を心掛けていきたいと思います。

年度	PTA会長	校 長
23年度	韮澤ゆかり	足立 和信
24年度	韮澤ゆかり	大崎　弘
25年度	藤倉 正代	大崎　弘
26年度	藤倉 正代	大崎　弘
27年度	菊池美智恵	小佐野雅子
28年度	菊池美智恵	小佐野雅子



げんき祭りバザーの様子



どんどん祭りの様子





高濱先生



H２８年度・市長を囲んで












第5代小坂会長を囲んで





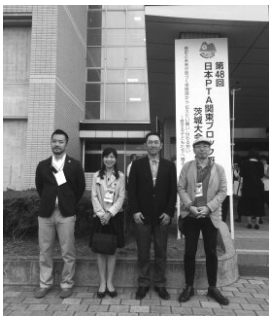





横浜関ブロ参加後記念写真


第6代金子会長





第8代田中会長








総会の模様






副会長会の様子



第7代今井会長

岩槻区連合会



1	岩槻小学校	12	上里小学校
2	太田小学校	13	西原小学校
3	川通小学校	14	城南小学校
4	柏崎小学校	15	岩槻中学校
5	和土小学校	16	川通中学校
6	新和小学校	17	城南中学校
7	慈恩寺小学校	18	慈恩寺中学校
8	河合小学校	19	城北中学校
9	東岩槻小学校	20	桜山中学校
10	城北小学校	21	柏陽中学校
11	徳力小学校	22	西原中学校

年度	歴代区連会長
23年度	新井 森夫
24年度	新井 森夫
25年度	新井 森夫
26年度	新井 森夫
27年度	高野 幸男
28年度	増岡 昌行

◆区連の特徴

岩槻区連合会は小学校１４校、中学校８校の２２校で組織し、他に区内の県立高等学校、特別支援学校、私立中学高等学校の５校を連絡協議校としております。各校の会長をはじめ、校長先生方と交流を深め、区内の子供たちが、のびのび有意義な学校生活が過ごせるよう、情報を共有し活動しております。

◆自慢の事業

会長会

年３回開催され、さいたま市ＰＴＡ協議会からの連絡事項を申し送りし、岩槻区連合会の事業の協議をしております。また小学校委員会、中学校委員会と別れて、各単会で現在起きてる問題や、各会長の悩み等を各委員会で話し合い問題解決に向る場を設けております。年に１回は単会の副会長も含め疑問点に区連の方で回答する場も設けております。

常任理事会

年３回開催しております。会長会で話し合われた事業や問題点を各校の校長先生方と協議し最終決定の場となっております。また、各学校での情報交換などを行っております。

管外視察研修

毎年１回、岩槻区内小中学校２２校のＰＴＡ役員が集まり日帰りの視察研修を行っております。区内２２校の役員の教養の向上及び親睦・交流を目的としております。毎年、区内ＰＴＡ役員が１５０名前後参加する大変有意義な事業です。

親善さいかつぼーる大会

岩槻区連合会では、年１回スポーツ大会を開催しております。２７年以前はビーチボール大会を開催しておりました。２７年度からは、埼玉県埼葛地区が発祥のさいかつぼーるに変更をしまして、地域で発祥のスポーツの発展を願うとともに、各単会の役員の親睦を目的として開催しております。まだまだマイナーなスポーツですが、地域にお世話になっておるＰＴＡとしては、できるだけ多くの方々にさいかつぼーるに触れあっていただき、地域発祥のスポーツを盛り上げていければと思っております。

講演会

毎年、いろいろな目線で活動できるように、ＰＴＡ役員が更なる発展をするために、様々な関係の講師をお呼びして、講演会を開催しております。ＰＴＡ会員の教養を高めるための事業です。

主任児童委員との交流会

岩槻区の主任児童委員の方々と年に１回交流会をしております。地域の子供たちを見守っていただいてる児童委員の皆様と交流し、ＰＴＡと児童委員の方々との関係を深め、地域の宝である子供たちを見守れればと思います。


管外視察研修


講演会


親善さいかつぼーる大会

岩槻小学校

会長 渡部 芳亮　　校長 吉田 睦代

会員数 302　児童数 402

岩槻小学校は、創立１４４年目を迎える歴史と伝統のある学校です。校庭にはさいたま市天然記念物に指定されている大銀杏が聳え子どもたちを長い間見守ってきました。この大銀杏や地域の方々に見守れら、素直で元気で明るい子どもたち４０２名が学んでいます。

本校のＰＴＡは、団結力があり、子どもたちのことを第一に考え献身的に活動しています。特にお父様方の協力体制が強力で、様々な場面で大活躍しています。運動会では先生方と一緒にテントの設営や撤去を行ったり、用具の後片付けを行ったり、学校行事の運営上の大きな力になっています。また、夏休みの終わりには、児童が気持ちよく学校生活を送れるよう、ＰＴＡ親子除草を行っています。多くの保護者が子どもたちと一緒に活動し、夏休み中子どもたちの登校が無く無機的な感じの校舎が一気に活気づき準備が万全に整いました。また、忘れてはいけないのがＰＴＡバザーです。焼きそば・豚汁・チョコバナナ・をはじめ、射的やヨーヨー釣りのコーナーもあり、子どもたちが楽しみにしている行事ですが、役員の方々は何回も打合せを行い綿密に準備をし毎回大盛況です。これからも岩槻小学校ＰＴＡは、子どもたちの笑顔のために力を結集して取り組みます。

年度	PTA会長	校 長
23年度	清水 昭仁	川村　潔
24年度	清水 昭仁	川村　潔
25年度	岩﨑 英男	加藤欽志朗
26年度	岩﨑 英男	加藤欽志朗
27年度	渡部 芳亮	吉田 睦代
28年度	渡部 芳亮	吉田 睦代



ＰＴＡバザー



ＰＴＡ親子除草

太田小学校

会長 黒田 好康　　校長 中川 昇次

会員数 592　児童数 713

太田小学校は、岩槻区のほぼ中央、江戸時代の岩槻城の城下に位置し、学区内には、城跡や藩校「遷喬館」、「時の鐘」等の史跡があり、岩槻の歴史を身近に感じられる環境にあります。

太田小ＰＴＡは、バザー、球技大会、家庭教育学級及び学年親睦会の開催、ベルマークの回収、広報紙の発行、地域協力等、活動は多岐にわたっておりますが、事業が終わるたびに「楽しかった！」と笑顔が増えるような活動を目指し、取り組んでいます。特に、１０月に行われるバザーでは、おやじの会による焼きそばやタピオカジュースなど、数種類の美味しい模擬店や子どもたちに人気のゲームコーナーを設置し、毎年大勢の方に足を運んでいただき、好評を博しております。

太田小は平成２９年度、開校５０周年を迎えます。本校を育て、支えていただいた皆さまへの恩返しと共に、将来長きにわたり、子どもたちが笑顔で太田小の歴史を紡いでいくことを願い、この節目の年をお祝いしたいと思っています。

年度	PTA会長	校 長
23年度	佐藤 正志	桑原啓一郎
24年度	佐藤 正志	桑原啓一郎
25年度	佐藤 正志	桑原啓一郎
26年度	田中 泰規	中川 昇次
27年度	黒田 好康	中川 昇次
28年度	黒田 好康	中川 昇次



太田小キャラクター 太（おお）たん



おやじも活躍！

川通小学校

会長 志村 まゆみ　　校長 新井 宏美

会員数 128　児童数 165

元荒川に面した川通小学校は、今年度から全学年が単学級の小さな学校です。緑に囲まれているだけでなく、近隣に茅葺き屋根の家屋も残っていれば、遠くにかすかに見えるスカイツリー。川通小学校の特色は、他にもあります。地域の皆様のご厚意で田畑をお借りし、毎年学年ごとに色々な作物を育てます。５年生になると、田植えの体験をします。長靴を履き泥んこになりながら、教えてもらったとおり１本ずつ丁寧に苗を植え、トンボが飛ぶ秋になると稲刈りです。後に、そのお米でおにぎりパーティーをします。冬に行われる持久走大会にも、川通小らしいものがあります。これだけ自然に恵まれていますので、児童の走る距離に端数が出ます。外周は、田んぼの区切りの砂利道です。１・２年生は、１,０５０メートル。３・４年生は、１,２５０メートル。５・６年生は、１,５００メートルと川通小学校ならではの持久走大会です。また、毎年驚かされるのはリタイヤする児童がほとんどいないことです。どっしりと構えた川通小学校は、川小っ子一人ひとりを暖かく見守る、そんな小学校です。

年度	PTA会長	校 長
23年度	伊澤 典子	萩原　昇
24年度	須賀 典子	中村 勝光
25年度	津島 浩美	中村 勝光
26年度	津島 浩美	中村 勝光
27年度	津島 浩美	新井 宏美
28年度	志村まゆみ	新井 宏美



美味しい米を育てるぞっ



風もあぜ道何のその

柏崎小学校

会長 小泉 真悟　　校長 長島 淑子

会員数 208　児童数 278

柏崎小学校は、岩槻区の西、大宮区との境に位置し、田畑に囲まれた緑豊かな環境にあり、創立１４３年目の伝統校、校内随所に歴史の重みが感じられます。

地域の方々も卒業生が多く、母校の学校行事には積極的に関わってくださり、学校・保護者・地域が常に連携協力しております。

我々ＰＴＡは、本部・保体・教養・広報・各支部で構成されており、それぞれ自覚をもって務めておりますが、特に２学期のバザーは皆で協力する一大イベントであります。保護者はもとより地域の皆様にも、昔遊びの場を設けていただいたり、新鮮な野菜を提供いただいたり、毎回大いに盛り上がります。

年度	PTA会長	校 長
23年度	岡田 年榮	駒宮 寿夫
24年度	岡田 年榮	駒宮 寿夫
25年度	岡田 年榮	駒宮 寿夫
26年度	岡田 年榮	長島 淑子
27年度	小泉 真悟	長島 淑子
28年度	小泉 真悟	長島 淑子

また、本校の特色ある行事といえば、毎月の「ことばの集い・音楽集会」が挙げられます。学年毎に、全児童の前で詩を群読したり、自分たちで選んだ曲を演奏したりします。少し緊張しながらも、真剣に取り組んでいる子どもたちの様子は、実に頼もしく微笑ましいものです。

学校目標は「しっかり生きる」。しっかり成長する「柏っ子」の為に、我々ＰＴＡは、今後も積極的に活動して参ります。



ことばの集いの様子


音楽集会の様子

和土小学校

会長 木村　敦　　校長 遅塚 恵美子

会員数 193　児童数 255

和土小学校は、創立１４３年の歴史ある学校で、校区は豊かな自然に恵まれ、地域には、文化財に指定されている八幡神社の【古式子ども土俵入り】など、多くの行事が引き継がれています。また、「米作り体験」等、この地域の特色を活かした体験活動にも取り組んでいます。

校内には、環境教育を目的として設置された、無事に「かえる」の意味も持つ【かえる池】があります。そして春夏秋冬に関わらず、毎年何人かはかえる池に落ちる児童が居ますが、必ず家には無事に帰ります(笑)

和土小学校ＰＴＡとしましては、「子どもたちが健やかに成長していくため」にＰＴＡ活動に取り組んでいくことはもちろんですが、まずは保護者の皆さんが笑顔で楽しく参加できる活動にしていきたいと思っています。

今後も家庭・地域・学校が連携し、「ひとみ輝く和土っ子」が育つ環境づくりを目指していきます。

年度	PTA会長	校 長
23年度	吉岡 正彦	五嶌 幸夫
24年度	吉岡 正彦	小島 和男
25年度	吉岡 正彦	小島 和男
26年度	吉岡 正彦	小島 和男
27年度	木村　敦	小島 和男
28年度	木村　敦	遅塚恵美子


古式子ども土俵入り


かえる池の雪景色

新和小学校

会長 濱野　恒　　校長 吉野 寿一

会員数 142　児童数 191

新和小学校は、さいたま市南東部の高台に位置し、緑豊かな環境に囲まれた地域にあります。また、開校１２５年を迎えた歴史のある学校です。農業が盛んな地域であり、毎年、地域の農家の方からサツマイモ、クワイ、小松菜、米等の特産物の栽培を体験して学んでいます。

学区が広く、遠くから時間をかけて登校してくる児童も多いため、毎朝、保護者による通学路での立哨指導を行っています。「バザー」では児童、会員数が少ない中、多くの保護者と教職員の御協力を頂き、力を合わせて開催し、会員相互の親交を深めています。「資源回収」では、多くの地域でお父さん達が中心となり、軽トラック等で各家庭の軒先まで廻り、資源の回収を行っています。

年度	PTA会長	校 長
23年度	増岡 昌行	伊藤 憲男
24年度	増岡 昌行	伊藤 憲男
25年度	長田 泰明	伊藤 憲男
26年度	長田 泰明	吉野 寿一
27年度	長田 泰明	吉野 寿一
28年度	濱野　恒	吉野 寿一

学校、保護者、地域の方々が手を取り合い、学校の教育目標『豊かな心を持ち、自己の能力を最大限に発揮できる、心身共に健全な子どもを育成する』環境整備に努めて参ります。ＰＴＡ活動を通じて保護者自身が学び、楽しみ、子どもと共に成長できる事を目標として活動していきます。


開校１２５年写真撮影


バザー準備の様子

慈恩寺小学校

会長 中里　康　　校長 瀬戸口 秋彦

会員数 333　児童数 397

慈恩寺小学校は、岩槻区の北東部に位置し、白岡市、蓮田市、春日部市に隣接したとても学区の広い学校です。

校庭には明治２５年の開校時に植えられた樹齢１２４年のとても大きな桜の木が植えられています。

ＰＴＡ活動としては特に学校、通学路における子供たちの安全確保に取り組んでいて、学校や地域の方々にもご協力をいただきながら、行政への要望書の提出等を積極的に行い、横断歩道、グリーンベルトの整備や新規に歩行者信号の設置などが行われました。

現在はＷＨＯの推進する安全な教育環境づくりを目指す学校に与えられる国際認証「インターナショナルセーフスクール（ＩＳＳ）」の取得に学校、地域と協力しながら取り組んでいます。

学校教育目標である「きらっと輝く慈小っ子の育成」を目指し、これからも青少年育成会をはじめとする地域の行事やお祭りなど、子供たちの心にとても大きな影響を与える活動に積極的に参加していきたいです。

年度	PTA会長	校 長
23年度	眞中 義治	佐々木 浩
24年度	山口 佳代	小阪　治
25年度	中里　康	小阪　治
26年度	中里　康	小阪　治
27年度	中里　康	小阪　治
28年度	中里　康	瀬戸口秋彦



ＩＳＳ事前審査の様子


心肺蘇生法学習の様子

河合小学校

会長 岡安 竜矢　　校長 三島 公夫

会員数 205　児童数 269

本校の朝は、子どもたちの元気な「おはようございます」のあいさつで始まります。５・６年生は、登校するとそのまま校門や昇降口に並んで、後輩たちに爽やかな声であいさつをすることが日課となっています。お互いにハイタッチをしたりちょっとした会話をしたりと、心に染み入るあいさつ運動として定着しています。

また、歴代のＰＴＡ会長に田んぼをお借りし、毎年、米作りのご指導をいただいています。田植えで田んぼの土に触れ、稲刈りで収穫の喜びを味わう体験は、本校の伝統として引き継がれ、子どもたちの「ふるさと河合」への誇りと愛情を育てる大切な機会となっています。

河合小ＰＴＡは、子どもと教職員と保護者と地域をつなぐ大切な架け橋として、これからも一歩一歩確実に歩んでいきます。

年度	PTA会長	校 長
23年度	石山 勝広	樺嶋　進
24年度	遠藤 哲夫	樺嶋　進
25年度	清水 真澄	坂田 真澄
26年度	栗原 一勝	坂田 真澄
27年度	栗原 一勝	三島 公夫
28年度	岡安 竜矢	三島 公夫


朝のあいさつ運動


春の田植え

東岩槻小学校

会長 青山 朋美　　校長 野津 吉宏

会員数 281　児童数 318

東岩槻小学校は、岩槻区の北部に位置し、豊かな自然に恵まれ、花や緑に囲まれた美しい学校です。子どもたちは、交流学習や共同学習を実践し、誰とでも仲良く遊び、豊かな人間性をはぐくんでいます。

東岩槻小ＰＴＡは、本部・学年部・広報部・文化部・交通安全部・環境事業部・ベルマーク部で構成されています。運動会や持久走記録会など学校行事の手伝いはもちろん、子どもたちが主体となって開催する「すわっ子まつり」にも参加し、子どもたちと一緒にイベントを盛り上げています。また、地域の行事（東岩槻フェスティバル・東岩槻地区体育祭・東岩槻祭りなど）や防犯活動（一年生下校見守り、立哨活動・パトロールなど）にも積極的に参加しています。これらＰＴＡ活動への理解を深めてもらうため、手作りのＰＴＡ広報紙により保護者、地域の方々に情報発信しています。これからも、「すわっ子」の笑顔あふれる学校にするために、学校・保護者・地域の連携をより一層深めていきたいと思います。

年度	PTA会長	校 長
23年度	鈴木 治美	石川 信和
24年度	鈴木 治美	石川 信和
25年度	齋藤 和美	石川 信和
26年度	齋藤 和美	井山 直之
27年度	青山 朋美	井山 直之
28年度	青山 朋美	野津 吉宏


すわっ子まつりの様子



手作りの広報紙

城北小学校

会長 山田 久美子　　校長 石橋 慎一郎

会員数 609　児童数 727

城北小学校は閑静な住宅街に位置し、開校４１年の学校です。岩槻区内では児童数が最も多い小学校です。平成２２年度には広い校庭の西側に、児童・ＰＴＡ・地域の方々と共に多様な苗木を植樹し「じょうほくの森」をつくりました。また、平成２７年度には校庭の南側に開校４０周年の記念植樹を行い、「じょうほくの森」の植樹が完了しました。皆さまに親しまれる森として育てていきたいと思います。

城北小学校ＰＴＡは、本部、学年委員会、広報委員会、文化体育委員会、地域活動委員会で構成され、学校教育の振興、児童の健やかな成長、会員相互の親睦・教養の向上を目的とし、誰もが参加しやすい活動を目指し、様々な活動を行っております。

年度	PTA会長	校 長
23年度	大塚 耕司	小笠原且久
24年度	大塚 耕司	湯沢 保紀
25年度	大塚 耕司	湯沢 保紀
26年度	大塚 耕司	湯沢 保紀
27年度	岩井あすか	石橋慎一郎
28年度	山田久美子	石橋慎一郎

今年度は特に通学路の安全を確認し、必要な見直しを行うなどの活動を、地域活動委員会中心に進めました。この活動を通して学校や地域との連携や協力も一層深まりました。今後も目標に向かって、学校・児童・保護者・地域の絆を深めることを大切にしながら、ＰＴＡ活動に取り組んでいきたいと考えています。



親子除草の様子



通学路の調査（交通量・環境）

徳力小学校

会長 千葉 理史　　校長 坂本　論

会員数 170　児童数 221

さいたま市ＰＴＡ協議会１５周年、誠におめでとうございます！！そこに相重なるように、我ら徳力小学校も４０周年を迎えました！私自身にとっても母校であり、１０周年を共に過ごした徳力小学校は、さいたま市東方の岩槻区と春日部市の境にあり、さいたま市で最も東に位置しています。

そんな徳力小学校は、児童の数も段々と減少の一途をたどり、今や６年間のほとんどをクラス替えのない形で過ごしていくこともあるくらい小さな小学校ではありますが、とても多くの防犯ボランティアをはじめ、地域の方々と会員の皆様方の熱い情熱から、ＰＴＡとの連携が構築されています。それは正に「チームトクリキ」でなによりも深く、「トクリキパワー」でどこよりも強い絆をもった子ども達と地域の結束力であります。そうした大きな絆を大きな支えにして、必ず大きく羽ばたいてくれることと確信し、私達ＰＴＡからも「僕らの永遠の絆」という言葉を添えた卒業記念品を毎年、贈呈しています。

年度	PTA会長	校 長
23年度	新井 森夫	吉田 睦代
24年度	千葉 理史	吉田 睦代
25年度	千葉 理史	吉田 睦代
26年度	千葉 理史	吉田 睦代
27年度	千葉 理史	坂本　論
28年度	千葉 理史	坂本　論



ＰＴＡ卒業記念品



クリーン作戦親子除草

上里小学校

会長 小島 克子　　校長 渡邉　勉

会員数 322　児童数 396

上里小学校は、四季折々の花が植えられた花壇や、ビオトープがあり、花と緑にあふれた学校です。夏には学校で育てたホタルがビオトープを舞い、毎年地域の方々を招き、ホタル観賞会を行っています。

上里小ＰＴＡは、保護者、先生方、そして地域の方々と連携し、様々な活動を行っています。なかでも、本校創立３５周年を機に始まった「東岩槻フェスティバル」は、近隣の小学校と協力をし、東岩槻地区の人々が交流・親睦を図り、絆を深める場となっています。フェスティバルでは、本校金管クラブの演奏、近隣中学校吹奏楽部の演奏、また小中学校合同演奏や、模擬店、福祉体験コーナー、フリーマーケットなど、子どもたちも毎年楽しみにしている行事となっています。

今後も家庭・学校・地域が連携した「チーム上里小」は、地域の宝・未来の宝である子どもたちが元気に育つ環境を協力してつくっていきます。

年度	PTA会長	校 長
23年度	岡田由美子	中山 時次
24年度	岡田由美子	益田 淳子
25年度	植田 政子	益田 淳子
26年度	岩上 真理	渡邉　勉
27年度	小島 克子	渡邉　勉
28年度	小島 克子	渡邉　勉



４０周年記念キャラクター



東岩槻フェスティバル

西原小学校

会長 佐藤 彰紘　　校長 柳沼　勉

会員数 592　児童数 712

西原小学校は岩槻駅に近い好立地でありながら、近くには緑地公園や児童センターもあり、子供たちが伸び伸びと遊び、学べる小学校です。

西原小学校ＰＴＡは「繋がりの強さ」が強みです。例えば登下校の立哨では、毎朝の登校時に１０名以上のＰＴＡ会員が子供たちの安全を見守り、下校時には複数の自治会の方が輪番で子供たちの安全を見守ってくれています。ＰＴＡで対応が困難なときは学校の先生方も率先して立哨のお手伝いをしてくれます。このように、ＰＴＡ、地域の方々、教職員の方々が一丸となって子供たちの成長や安全を見守ってくれる、そんな暖かい「繋がりの強さ」が西原小学校ＰＴＡの強みです。

年度	PTA会長	校 長
23年度	高野 幸男	高橋 信行
24年度	高野 幸男	高橋 信行
25年度	岡　淳信	竹田 忠一
26年度	岡　淳信	竹田 忠一
27年度	岡　淳信	竹田 忠一
28年度	佐藤 彰紘	柳沼　勉

他にも教職員とＰＴＡが模擬店やゲームを行う「西原フェスティバル」や、「親善スポーツ大会」を実施するなど、活発なＰＴＡ活動を行っています。

今後も西原小ＰＴＡは、子供たちが伸び伸びと学び遊べるよう、地域、教職員、ＰＴＡの「繋がり」を大切に、それを推進する触媒になっていきたいと思います。



下校時の児童の見守り



西原フェスティバル

城南小学校

会長 林　秀明　　校長 髙野 英俊

会員数 300　児童数 383

城南小学校は、今年度、開校以来３６周年を迎えました。９月１日現在、在籍児童３８３名、教職員３９名の中規模校です。「元気、やる気、勇気」を合言葉に、子どもたち一人ひとりが輝く学校を目指し、保護者・地域の方々、教職員が手を取り合い、声を掛け合いして日頃の教育活動が営まれています。

また、昨年度より、さいたま市教育委員会の研究指定を受け、子どもたちの学力の向上に係る研究実践を進めています。一方で、芸術活動にも重点を置き、和太鼓クラブや全校音楽会「どんぐりコンサート」の演奏に、多くの皆様から高い評価をいただいています。

年度	PTA会長	校 長
23年度	高谷 俊之	引間 和彦
24年度	高谷 俊之	引間 和彦
25年度	林　秀明	引間 和彦
26年度	林　秀明	髙野 英俊
27年度	林　秀明	髙野 英俊
28年度	林　秀明	髙野 英俊

城南小ＰＴＡは、バザー・資源回収等を行い、運動会など学校主催の行事のサポートも行っています。ＰＴＡの自慢は、役員選出をくじで決めているにもかかわらず、皆責任感を持って活動に取り組むところです。今後も学校と協力し、「子どもたちのために」と言う思いで、ＰＴＡ活動に励んで行きたいと思います。



城南小「希望（ゆめ）のまち」の合唱とダンス



城南小和太鼓クラブ

岩槻中学校

会長 江原 大輔　　校長 松井 育夫

会員数 547　生徒数 591

本校は、昭和２２年４月１日新学制施行により開設され、創立７０年目を迎える歴史と伝統のある学校です。緑豊かで広い校地に恵まれた教育環境の中で、通常学級１６クラス・特別支援学級２クラスの合計５９１名の生徒が学生生活を送っています。生徒は明るい挨拶を交わし、活力と笑顔に溢れ、学習や部活動に主体的に取り組んでいます。また、『心豊かで優しい生徒・自ら学ぶ賢い生徒・心身ともにたくましい生徒』を合言葉に体育祭・文化祭・合唱祭の岩中三大祭りに大活躍です。

岩槻中学校は、保護者や地域の方々のご支援を頂きながら、生徒一人ひとりを大切にした教育活動を実践し、信頼される学校づくりを目指しています。

年度	PTA会長	校 長
23年度	中島 勇治	白田 勝美
24年度	浜野 雅司	白田 勝美
25年度	菊池 章雄	小林 成行
26年度	横田 剛志	小林 成行
27年度	横田 剛志	小林 成行
28年度	江原 大輔	松井 育夫



体育祭



合唱祭

川通中学校

会長 川嶋 真奈美　　校長 矢部　尚

会員数 258　生徒数 267

川通中学校は、岩槻区の南東にあり豊かな自然に囲まれた場所にあります。

今年７０周年を迎えました。

本校ＰＴＡは本部、学年、広報、厚生、交通、バザーの６つの委員会に分かれて活動しています。生徒数が少ないため保護者によるあいさつ当番はもれなく回ってきます。活動の一つであるバザーは、全委員会で協力して進めています。また、生徒もボランティアとして参加しています。地域の方々に提供していただいた農産物も評判です。他にも、ＰＴＡも地域のイベントに協力しており、地域と密着した良い連携であると自負しています。

年度	PTA会長	校 長
23年度	高橋 広子	竹居 秀子
24年度	高橋 広子	竹居 秀子
25年度	田中久美子	島村　暁
26年度	川嶋真奈美	島村　暁
27年度	川嶋真奈美	島村　暁
28年度	川嶋真奈美	矢部　尚

学校の校訓である「夢を実現」に向かってスローガンの「一生懸命はかっこいい」を胸に保護者、先生、地域の方々と連携し未来を担う生徒たちのために頑張っていきたいと思います。



あいさつ当番の様子



バザー。生徒ボランティアと。

城南中学校

会長 増岡 昌行　　校長 赤木 完治

会員数 211　生徒数 229

城南中学校は岩槻区の南部にあります。校舎から目と鼻の先には「埼玉スタジアム２００２」があり自然豊かな学校です。今年で開校７０周年を迎え校地には、たくさんの桜が春に満開の花を咲かせ、新入生を迎えています。

城南中ＰＴＡは、厚生部・安全教養部・広報部・地区理事・学年理事で構成されています。「ＰＴＡバザー」は、厚生部が主体となり役員全員で協力して行っています。地域の野菜や花も多く出品され、毎年多くの方に喜んでいただいています。

秋には学年理事を中心に「全学年活動」として、各界で活躍するプロのミュージシャンや落語家などを招き、そのステージを体育館で鑑賞します。本校の卒業生が出演されることもあり、活動を通して子どもたちの将来のエールになればと願っています。

これからも、学校・地域・保護者が協力を深め、子どもたちのためのＰＴＡ活動を進めていきたいと思います。

年度	PTA会長	校 長
23年度	星　和彦	根本 政廣
24年度	星　和彦	石山 大介
25年度	星　和彦	石山 大介
26年度	船木 陽子	石山 大介
27年度	増岡 昌行	石山 大介
28年度	増岡 昌行	赤木 完治



満開の城南桜



ＰＴＡバザー

慈恩寺中学校

会長 町田 美和　　校長 松戸政世史

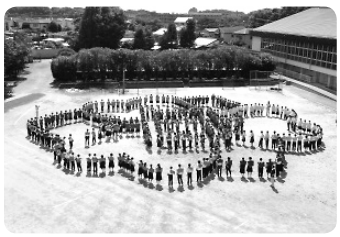
会員数 284　生徒数 305

慈恩寺中学校は、岩槻区北部に位置し、蓮田市、白岡市、春日部市と隣接しています。周囲には多くの緑や、歴史ある慈恩寺観音や玄奘塔があります。一方、近代的な大きな工場もあり、１年生が１学期に、地域めぐりを行い、郷土の理解を深めています。

慈恩寺中学校ＰＴＡは本部役員・総務委員・広報委員・地区委員で構成されています。通常学級９クラス、特別支援学級２クラスの計１１クラスという小規模校なので、ＰＴＡ活動を行うのに、それぞれの負担が少なくありません。そういう状況でも、ＰＴＡバザー、地域防災連絡会、地区懇談会、除草活動、各種学校行事への協力等惜しむことなく、活動しています。

今年度は開校７０周年という節目で、記念式典も開催されます。これからも地域の学校として、ますます学校・家庭・地域が連携し、健やかな生徒の育成のために活動していきます。

年度	PTA会長	校 長
23年度	新川 祐子	加藤 明良
24年度	新井 森夫	加藤 明良
25年度	新井 森夫	加藤 明良
26年度	新井 森夫	乾　光伸
27年度	町田 美和	乾　光伸
28年度	町田 美和	松戸政世史



開校７０周年記念人文字



ＰＴＡバザー

城北中学校

会長 大石 美加　　校長 田中 民雄

会員数 565　生徒数 583

城北中学校は、昭和４６年４月１日に当時の岩槻市立岩槻中学校から分離し、岩槻中学校の校舎を間借りして開校しました。同年７月２日に現在地にて現校舎の地鎮祭が行われ、この校舎建設開始日を開校記念日としました。昭和４７年３月３０日に新校舎に移転し、同年４月１日に河合中学校を廃校、統合し現在の城北中学校となりました。昭和６０年１月３０日には第２グランドの新設工事が完成し、平成１７年４月１日にさいたま市と岩槻市の合併に伴い、現在のさいたま市立城北中学校に改称されました。今年度で４６周年となります。

本校は、静かな環境に恵まれ、グランドも広く、テニスコートが４面あるところが自慢です。城北中ＰＴＡは、学年委員会、文化委員会、広報委員会、支団委員会、本部委員会で構成されています。その中の代表的な活動の一つに、学級委員会の活動として、保護者、教員、生徒での『朝のあいさつ運動』があり、子供達の健全育成に取り組んでおります。

他にも、地域のイベントにＰＴＡが参加・協力しており、今後も家庭・学校・地域が連携し、子供達がより良い環境で学校生活が過ごせるように努めてまいります。

年度	PTA会長	校 長
23年度	小島 洋子	渡部 隆男
24年度	小田島留美	渡部 隆男
25年度	小田島留美	渡部 隆男
26年度	栗原登喜子	田中 民雄
27年度	栗原登喜子	田中 民雄
28年度	大石 美加	田中 民雄



広いグランド



朝のあいさつ運動

桜山中学校

会長 齋藤 和美　　校長 井山 直之

会員数 185　生徒数 177

桜山中学校は、昭和５５年岩槻市慈恩寺地区に開校し、校名に由来する桜の木は約５０本、校門へのアプローチは「希望の坂」と呼ばれ、竹林もある、緑に囲まれた豊かな環境にあります。さいたま市で一番生徒数が少ない中学校で、先生方が生徒一人ひとりに寄り添い、明るく家族的な雰囲気が特色です。

ＰＴＡは、執行部・学年部・広報部・文化厚生部・環境部で構成されています。

昭和６３年より実施された「あいさつ運動」は、現在ＰＴＡと生徒会が連携して毎朝行われています。登校してくる生徒の顔を見ながら、声を聞きながら、元気をもらいながら、笑顔であいさつし、見守ります。また、校内及び地域のクリーン活動や環境整備（タケノコ堀もあります）は、地域の方々の協力も得ながら行っています。

日々変化する、子供たちを取り巻く環境を整え、自信と誇りを持ち、地域に愛される桜山中生の成長をサポートしていきたいと思います。

年度	PTA会長	校 長
23年度	澁谷美枝子	小林 広利
24年度	澁谷美枝子	小林 広利
25年度	野中亜貴子	阿久津一浩
26年度	野中亜貴子	阿久津一浩
27年度	野中亜貴子	阿久津一浩
28年度	齋藤 和美	井山 直之



あいさつ運動



クリーン活動

柏陽中学校

会長 倉田 広一　　校長 河井　尚

会員数 365　生徒数 370

本校は「柏崎の地に立つ、太陽のように明るく勢いのある学校」との願いで、「柏陽中学校」と命名されました。周囲は緑に囲まれ、四季折々の風情が満喫できます。

柏陽中ＰＴＡは学年委員・広報委員・教養委員・バザー委員・校外委員・支部で構成されています。

今年３５周年を迎えた柏陽中の校庭にはいちょうの木があります。毎年沢山の銀杏が実り、これを保護者、職員、生徒が協力して収穫・皮むき・乾燥させ、バザーで販売しています。また地域の方々から野菜やお米などを提供していただいています。学校の自然の恵みと地域の方の協力で、毎年バザーは大盛況です。

また近隣の小学校２校のＰＴＡと三校ＰＴＡ連絡協議会を年に３回開催しています。資源回収を共同で行い、パトロールの情報も共有して、小中の垣根を超えて連携しています。講義・演習も行い、親睦を深め、相談しやすい関係をつくり子供たちの為に活動しています。

年度	PTA会長	校 長
23年度	村田 光章	今溝 良司
24年度	赤沼 忠夫	今溝 良司
25年度	赤沼 忠夫	今溝 良司
26年度	赤沼 忠夫	今溝 良司
27年度	倉田 広一	河井　尚
28年度	倉田 広一	河井　尚



バザーでの銀杏販売



三校ＰＴＡ連絡協議会

西原中学校

会長 岡　淳信　　校長 中村 英雄

会員数 302　生徒数 331

西原中学校は、岩槻区に位置し、西側は見沼区に隣接しています。また、南東約１ｋｍの所に東武野田線岩槻駅があり学校周辺には畑や雑木林などが広がる緑豊かな落ち着いた自然環境にあります。

西原中ＰＴＡは、本部役員、専門委員会(学年・教養、体育、広報、校外指導、福祉厚生、地区)交通安全保護者の会で構成されており、学校、地域と協力し、様々な行事を開催しております。さいかつぼーる大会では、保護者と先生方が、楽しい時間を過ごし懇親を深めており、西原フェスティバルでは、子どもたちと関わり、保護者と先生方が協力して模擬店を開き、物づくりと売り買いの体験を通して達成感と感謝の気持ちを学んでもらうとともに、保護者にも学校の様子を知っていただく良い機会になっております。

他にも、地域運動会等のイベントにＰＴＡが協力しており、今後も家庭・学校・地域が連携し、子どもたちが溌剌と学べる環境づくりを行ってまいります。

年度	PTA会長	校 長
23年度	厚地 浩一	富田　聡
24年度	厚地 浩一	富田　聡
25年度	厚地 浩一	赤木 完治
26年度	髙野 幸男	赤木 完治
27年度	髙野 幸男	赤木 完治
28年度	岡　淳信	中村 英雄



さいかつぼーる大会の様子



西原フェステバルの様子









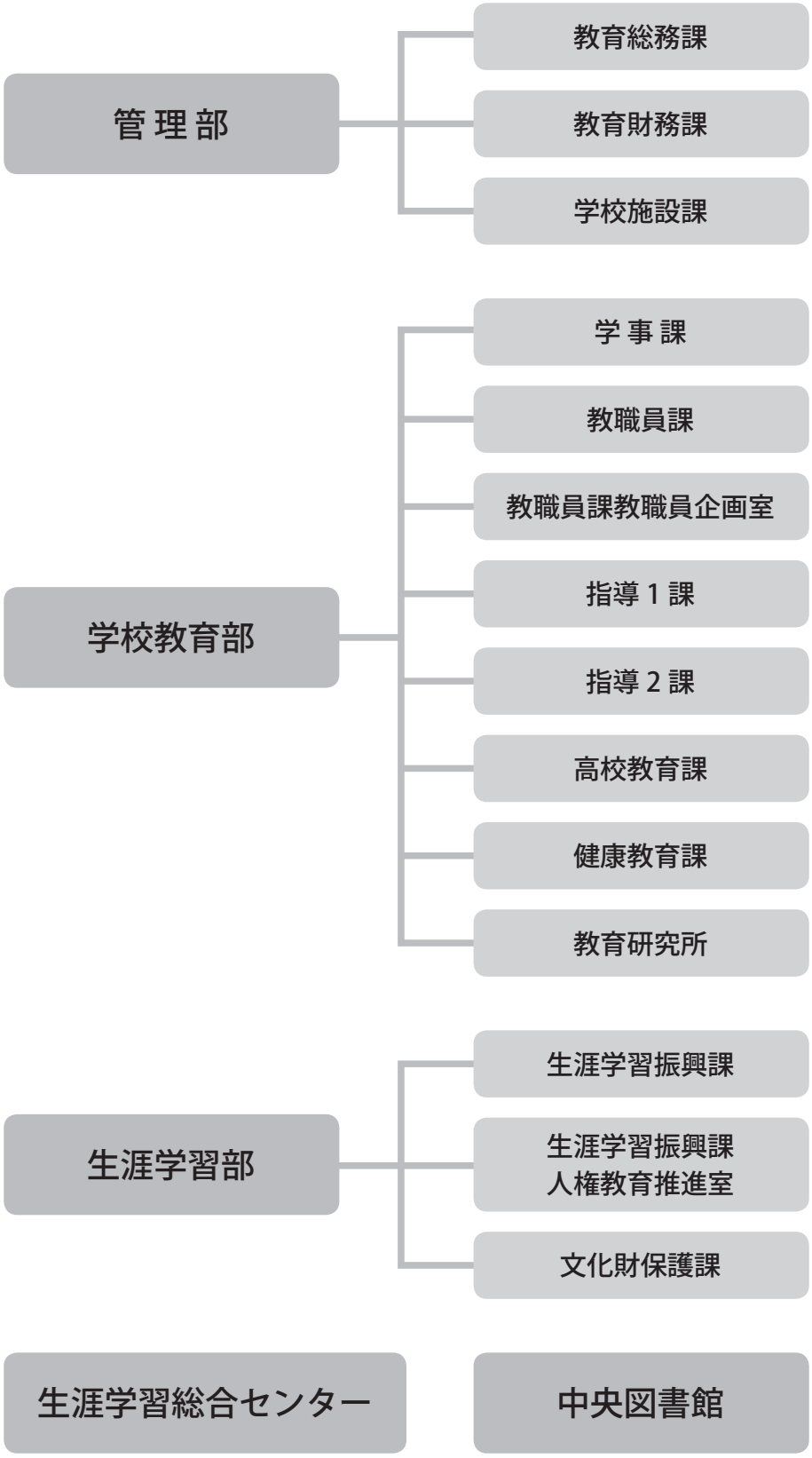




教育委員会の紹介

教育委員会は、教育の政治的中立性と安定性を確保しながら、教育・文化の振興を図るために設置された執行機関です。

教育委員会には以下の組織等が置かれています。



管理部

教育総務課

電話　048-829-1623

教育総務課は、教育委員の各種活動や教育委員会会議が円滑に行われるために、連絡調整や資料収集・提供、会議の書記などの事務補助を行っています。また、重要な教育施策の調査・立案などの政策業務、文書や法規などの総務事務及び市費職員等に係る人事業務を所掌し、事務局内の業務の適切な執行を図っています。

教育財務課

電話　048-829-1635

教育財務課では、教育委員会事務局の円滑な運営を目的として、局内の予算、決算等の取りまとめや学校財務事務の管理及び指導・助言を行っています。また、市立全小・中・特別支援学校の維持管理・運営や教育効果を高めるために必要な消耗品や校用備品、教材等の購入をはじめ、光熱水費の支払い、機械警備等の業務委託などを行っています。

学校施設課

電話　048-829-1642

学校施設課では、児童生徒の安全・安心を確保するとともに、より良い教育環境を提供するため、学校施設を管理しています。

施設の修繕をはじめ、各種設備の保守点検業務委託・大規模改修工事や、整備計画の策定、国庫補助に関する事務なども行っています。

学校教育部

学事課

電話　048-829-1646

学事課では、教育環境の向上と教育機会の均等化のため、通学区域及び指定校変更・区域外就学制度等に関する業務を行っています。また、就学援助及び奨学金制度等の教育費の支援に係る業務を行い、義務教育の円滑な実施や有用な人材の育成を進めています。

教職員課

電話　048-829-1653

市立学校（高等学校を除く。）の教職員に係る人事、服務及び給与に関する業務を行っています。

教職員課教職員企画室

電話　048-829-1693

教職員企画室では、県費負担教職員の給与負担等の権限移譲に向け、教職員に係る人事・給与等の諸制度について調整等を行っています。

指導１課

電話　048-829-1659

指導１課では、幼児教育、小学校教育、中学校教育にかかわる事業を行っています。

指導２課

電話　048-829-1665

学校教育推進、生徒指導総合計画、特別支援教育推進、教育指導充実、特別支援学校管理運営、教育相談の事業を行います。

高校教育課

電話　048-829-1671

高校教育課では、さいたま市立高等学校に係る業務を行います。

健康教育課

電話　048-829-1678

健康教育課では、児童生徒の心身の健康の保持のため、「学校保健」、「学校安全」、「学校における食育」の各分野において、家庭・地域・関係機関等との連携強化に努め、組織的・計画的に健康教育を推進しています。

教育研究所

さいたま市浦和区岸町六丁目１３番１５号　　電話　048-838-0781

教育研究所では、教職員を対象にキャリアステージ等に応じた多様な研修を実施しています。また、全国や市独自の学習状況調査を実施し、その分析結果から、指導方法の工夫改善を提言しています。さらに、市立小・中・特別支援学校へのＩＣＴ機器の整備と、その活用及び情報モラル教育を推進しています。

生涯学習部

生涯学習振興課

電話　048-829-1705

生涯学習振興課では、生涯学習環境の整備を進めるため、生涯学習の振興に関する企画・調査、生涯学習事業の後援や振興・啓発に関することなどを行っています。

生涯学習振興課人権教育推進室

電話　048-829-1708

生涯学習振興課人権教育推進室では、人権・同和問題の早期解決のため、市民の人権意識の高揚と同和問題の正しい理解を図るとともに、学校における人権教育の一層の推進を図るため、各種の人権教育推進事業を実施しています。

文化財保護課

電話　048-829-1723

市内文化財の保存及び活用を図るための事業を行っています。

生涯学習総合センター

さいたま市大宮区桜木町１－10－18　シーノ大宮センタープラザ７階　　電話　048-643-5651

生涯学習総合センターでは、市内59公民館の主催事業の統括を始め、市民の学習ニーズに対応した学習機会の提供及び学習活動等の支援を行い、親の学習事業、さいたま市民大学、その他全市域を対象とした事業を実施しています。また、安全にかつ安心して学ぶことができるように公民館の環境整備を推進しています。

中央図書館

さいたま市浦和区東高砂町11－1　　電話　048-871-2100

中央図書館では、「さいたま市図書館ビジョン」において、さいたま市の図書館を「地域の知の拠点」として位置づけ、その役割を果たしていくため、以下の４つの目標を掲げております。

・知的好奇心に応える図書館
・生きる力を支える図書館
・市民とともに歩む図書館
・誰もが安心して使える図書館

また、上記４つの目標を実現していくための22の基本方針を定め、25年度から取り組みを推進しております。

市Ｐ協を支えた方々

〈〈 理事名簿 〉〉

平成２４年度			
会　長		磯田 和男	常盤中学校
副会長		山田 祐司	桜木中学校
		鵜沢 勇	見沼小学校
		船木 まさこ	七里中学校
		高島 清	上落合小学校
		加藤 清孝	沼影小学校
常任理事		辻　功	馬宮東小学校
		西山 功	日進中学校
		岡﨑 和彦	与野東中学校
		榎本 雅昭	大久保中学校
		小坂 佐紀	原山中学校
		新井 森夫	慈恩寺中学校
理　事	事業委員会	河原 友香	大宮南小学校
		武藤 敏男	中島小学校
		野上 一昭	南浦和小学校
		伊藤 幹雄	土屋中学校
		磯田 修	つばさ小学校
		近藤 千絵子	与野本町小学校
		積田 鉄也	本太中学校
		内田 和浩	美園中学校
		遠藤 哲夫	河合小学校
	広報・情報委員会	村田 晴美	大谷口中学校
		飯野 貴之	大宮西小学校
		米山 愼司	田島中学校
		都築 浩二	日進小学校
		石原 啓一	芝川小学校
		平田 昭臣	七里小学校
		池田 和彦	木崎中学校
		金子 孝行	芝原小学校
		髙野 幸男	西原小学校

平成２３年度			
会　長		磯田 和男	常盤中学校
副会長		山田 祐司	桜木中学校
		鵜沢 勇	見沼小学校
		船木 まさこ	七里中学校
		高島 清	上落合小学校
		加藤 清孝	沼影小学校
常任理事		辻　功	馬宮東小学校
		都築 浩二	日進小学校
		小山 哲司	八王子中学校
		井原 光太郎	上大久保中学校
		田所 龍雄	内谷中学校
		大熊 博	大門小学校
		新井 森夫	徳力小学校
理　事	事業委員会	柴田 貴代子	市立特別支援学校
		西山 功	日進中学校
		河原 友香	大宮南小学校
		岡﨑 和彦	与野東中学校
		武藤 敏男	中島小学校
		積田 鉄也	木崎小学校
		小林 直太	大谷場中学校
		金子 孝行	芝原小学校
		千島 洋子	城北中学校
	広報・情報委員会	飯野 貴之	大宮西小学校
		日野 亮輔	東大成小学校
		中村 信市	第二東中学校
		相澤 秀行	春岡小学校
		米山 愼司	田島中学校
		池田 和彦	木崎中学校
		西ヶ谷 一志	原山小学校
		髙野 幸男	西原小学校

平成２６年度			
会　長		鵜沢　勇	土呂中学校
副会長		平田　昭臣	七里小学校
		高島　清	与野東中学校
		榎本　雅昭	大久保中学校
		野上　一昭	南浦和小学校
		新井　森夫	慈恩寺中学校
常任理事		津田　泰史	土屋中学校
		三牧　淳也	宮原小学校
		河原　友香	大宮南中学校
		青羽　章仁	与野八幡小学校
		丸山　史人	木崎小学校
		金子　孝行	芝原小学校
理　事	事業委員会	川本　泰正	本太小学校
		小島　章禎	栄和小学校
		中島　徳二	沼影小学校
		岡部　勉	大宮西小学校
		小川　大二郎	芝川小学校
		鈴木　二美子	七里中学校
		菅野　雅代	上落合小学校
		貴田　謙一	美園中学校
		岡田　年榮	柏崎小学校
	広報・情報委員会	榎本　明男	中尾小学校
		岩田　哲也	春野小学校
		髙野　幸男	西原中学校
		青木　弘幸	馬宮東小学校
		宮下　慎一	泰平中学校
		川田　祐弘	桜木中学校
		今川　夏如	神田小学校
		牧野　綾姫	常盤中学校
		手塚　健一	大谷場中学校

平成２５年度			
会　長		鵜沢　勇	土呂中学校
副会長		山田　祐司	桜木中学校
		平田　昭臣	七里小学校
		高島　清	上落合小学校
		新井　森夫	慈恩寺中学校
常任理事		荒井　清司	宮前中学校
		小川　智幸	日進北小学校
		石原　啓一	第二東中学校
		川西　美紀	与野南中学校
		榎本　雅昭	大久保中学校
		丸山　史人	木崎小学校
		野上　一昭	南浦和小学校
		金子　孝行	芝原小学校
理　事	事業委員会	川田　祐弘	桜木小学校
		津田　泰史	土屋中学校
		川本　泰正	本太小学校
		杉本　孝夫	春里中学校
		青羽　章仁	与野八幡小学校
		北爪　郁哉	新開小学校
		中島　徳二	沼影小学校
		浅倉　稔明	原山小学校
		星　　和彦	城南中学校
	広報・情報委員会	飯塚　博之	大宮別所小学校
		高柴　瀬里香	仲本小学校
		榎本　明男	中尾小学校
		安田　博之	栄小学校
		宮澤　隆仁	蓮沼小学校
		小島　章禎	栄和小学校
		手塚　健一	大谷場中学校
		岡　　淳信	西原小学校

平成２８年度			
会　長		青羽　章仁	与野八幡小学校
副会長		鈴木二美子	七里中学校
		高島　清	与野東中学校
		菅野　雅代	上落合小学校
		丸山　史人	木崎小学校
		野上　一昭	白幡中学校
常任理事		鶴　　英雄	宮前小学校
		石川　広之	大宮別所小学校
		小川　大二郎	芝川小学校
		今川　夏如	神田小学校
		田中　豊太	三室小学校
		増岡　昌行	城南中学校
理　事	事業委員会	杉本　浩一	大谷場中学校
		平田　昭臣	七里小学校
		高澤　茂	田島小学校
		南　　彰男	大宮西中学校
		山中　誉之	日進中学校
		遠藤　孝明	桜木中学校
		紅谷　弘二	上木崎小学校
		伊楯　勲	三室中学校
		齋藤　和美	桜山中学校
	広報・情報委員会	原　　綾	中島小学校
		佐藤　修	大成中学校
		浅野　敬尚	常盤北小学校
		椿井　克昌	馬宮西小学校
		今井　健太	日進小学校
		坂東　敦	片柳小学校
		廣澤　勝幸	浦和別所小学校
		貴田　謙一	美園中学校
		中里　康	慈恩寺小学校

平成２７年度			
会　長		鵜沢　勇	土呂中学校
副会長		岩田　哲也	春野小学校
		青羽　章仁	与野八幡小学校
		高島　清	与野東中学校
		丸山　史人	木崎小学校
		野上　一昭	白幡中学校
常任理事		青木　弘幸	馬宮東小学校
		磯田　修	つばさ小学校
		川田　祐弘	桜木中学校
		今川　夏如	神田小学校
		今井　正樹	尾間木小学校
		髙野　幸男	西原中学校
理　事	事業委員会	岡部　勉	大宮西小学校
		鈴木二美子	七里中学校
		菅野　雅代	上落合小学校
		工藤　威人	上小小学校
		高澤　茂	田島小学校
		奈良　真侍	大東小学校
		加藤　清孝	内谷中学校
		貴田　謙一	美園中学校
		横田　剛志	岩槻中学校
	広報・情報委員会	榎本　明男	中尾小学校
		鶴　　英雄	宮前小学校
		杉本　浩一	大谷場中学校
		三牧　淳也	宮原小学校
		佐藤　修	大成中学校
		牛木　忠久	片柳中学校
		原　　綾	中島小学校
		浅野　敬尚	常盤北小学校
		川嶋　真奈美	川通中学校

創立15周年記念事業実行委員会　組織図

会　長
実行委員会会長
青羽　章仁

実行委員長
岩田　哲也

相談役
鵜沢　勇

事務局
福田　節子　　潤田　桂子
伊藤　直美

記念誌担当
副会長　丸山　史人

交流祝賀会担当
副会長　高島　清

広報情報委員会

委員長　原　綾	
副委員長　佐藤　修	
副委員長　浅野　敬尚	
椿井　克昌	今井　健太
坂東　敦	廣澤　勝幸
貴田　謙一	中里　康
佐久間　健志	三牧　淳也
横田　松博	合谷　竜一
安藤　崇男	井澤　孝行
渡辺　操	安藤　幸子
井鍋　俊彦	浜野　弥生

運営部会

鈴木　二美子	中吉　由貴
佐々木　雅治	太田　幸代
宮澤　隆仁	杉本　孝夫
牛木　忠久	

実行委員

青木　弘幸	磯田　修
川田　祐弘	戸田　靖隆
今川　夏如	野上　一昭
今井　正樹	髙野　幸男
菅野　雅代	鶴　英雄
石川　広之	小川　大二郎
田中　豊太	増岡　昌行

事業委員会

委員長　杉本　浩一	
副委員長　平田　昭臣	
副委員長　高澤　茂	
南　彰男	山中　誉之
遠藤　孝明	紅谷　弘二
伊橋　勲	齋藤　和美
関根　邦明	島村　道明
工藤　威人	西部　洋二
鳥井　義基	高橋　公一
臺　聡子	林　薫
荻島　紀代香	畑山　礼子

・事務局のご案内・

〒330−8501　さいたま市大宮区大門町３−１
大宮区役所　東館１階

TEL・FAX
048−647−4401　048−647−4414

E-Mail
hotline@saitama-city-pta.jp

市Ｐ協　ホームページ
http://www.saitama-city-pta.jp

